



Simply Better Connections

RBSデバイス & RBSコンフィグレーター ATEN会議室予約システム ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベースに作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどがございましたら、お手数ですが ATEN ジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会 (FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

本製品は、FCC (連邦通信委員会) 規則のPart15に準拠したデジタル装置 Class Aの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供するためのものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC (米国連邦通信委員会) 規則のPart15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、全ての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意事項

本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告

この装置を居住地域で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。



カナダ産業省による宣言

Class Aの本デジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-003 (A) / NMB-003 (A)

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

ユーザー情報

ユーザーの皆様へ

このマニュアルに記載されている全ての情報、ドキュメント、および仕様は、製造元から事前に通知されることなく変更される場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者（メーカー、代理店、または販売店は除く）が、必要な全てのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担するものとします。

また、この装置に対する許可されていない改造や使用方法によって生じる無線やTV受信などの干渉についても製造業者は責任を負いません。これらの電波障害の対応はユーザー責任です。

製造業者は、動作前に正しい電圧設定が選択されていない場合には、このシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいことを確認してください。

同梱品

全てのアイテムが正常に動作していることを確認してください。問題が発生した場合は、販売店にお問い合わせください。

VK401

- ◆ VK401本体 × 1
- ◆ ネジ × 2
- ◆ クイックスタートガイド × 1

VK430

最新パッケージは、発売当初の内容から若干変更されています。購入時期によって、内容が異なりますのでご注意ください。

最新パッケージ

- ◆ VK430本体(壁掛けキット取り付け済み) × 1
- ◆ ウォールマウントキット × 1
- ◆ ガラス壁面取り付け用3Mテープ × 2
- ◆ 90° RJ-45ケーブルアダプター × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

旧パッケージ

- ◆ VK430本体(壁掛けキット取り付け済み) × 1
- ◆ LEDバー × 2
- ◆ LEDバー用ネジ × 4
- ◆ コンクリート壁面取り付け用ネジ&ネジアンカー × 4

- ◆ ガラス壁面取り付け用3Mテープ×2
- ◆ クイックスタートガイド×1

VR610

- ◆ VR610本体 ×1
- ◆ PIRケーブル×2
- ◆ クイックスタートガイド×1

目次

適合性に関する宣言.....	i
ユーザー情報.....	iii
ユーザーの皆様へ.....	iii
同梱品.....	iv
VK401.....	iv
VK430.....	iv
VR610.....	v
目次.....	vi
本マニュアルについて.....	x
マニュアル表記について.....	xii
第1章 はじめに.....	1
概要.....	1
会議室予約システムとVK430について.....	1
ATENアクセス・インスペクター (VK401).....	2
VR610.....	2
特長.....	4
RBSコンフィグレーター.....	4
ATENアクセス・インスペクター (VK401).....	4
VK430.....	5
VR610.....	6
システム要件.....	7
スタートアップ・タスク.....	8
ATEN VK430とカレンダーサーバーのセットアップ.....	8
VR610のセットアップ.....	9
VK401のセットアップ.....	10
アクセサリ.....	12
第2章 ハードウェアのセットアップ.....	13
ATENアクセス・インスペクター VK401.....	13

製品各部名称	13
VK430にVK401を取り付けるには	14
カード番号の取得	15
ATEN VK430	16
製品本体各部名称	16
VK430の取り付け	18
VR610	20
製品本体各部名称	20
VR610のセットアップ	22
第3章 RBSプロファイルの設定	23
RBSコンフィグレーターのインストールとアップデート	23
RBSコンフィグレーターのメイン画面	25
VR610のプロファイル	27
新規デバイス用プロファイルの追加	27
VR610のプロファイルの設定	29
VR610のマップビューの設定	35
VK430のプロファイル	41
新規パネルプロファイルの追加	41
パネルプロファイル名の編集とパネルプロファイルの複製・削除	42
パネルプロファイルの設定	43
GUIデザイン	44
予約設定	47
第4章 カレンダーサーバー	48
Microsoft 365	48
セットアップの概要	48
Microsoft 365 管理センター	49
ユーザーアカウントの追加	49
認証方法の決定	51
会議室(リソース)アカウントの追加	52
ユーザーアカウントを代理人として追加するには	54
多要素認証(MFA)の無効化	55
Microsoft Entraの設定(アカウント認証情報を使用する場合)	57
Microsoft Entraの設定(クライアントシークレットキーを使用する場合)	62
ATEN RBSコンフィグレーターにおけるMicrosoft 365の設定	70

Microsoft Exchange Server	75
セットアップの概要.....	75
Microsoft Exchange Serverのバージョン確認.....	76
Microsoft Exchange 2013/2016/2019.....	77
Microsoft Exchange 2010.....	91
ATEN RBSコンフィグレーターにおけるMicrosoft Exchangeの設定.....	105
Google Workspace	108
Google Workspace を使用した会議室管理設定.....	109
パネルメッセージ	120
切断メッセージ.....	120
サポート連絡先.....	121
第5章 VR610とVK430の操作	122
VK430の操作	123
パネルのメイン画面.....	123
会議スケジュールの表示.....	125
会議室の予約.....	127
予約の取り消し.....	129
管理者設定.....	130
VR610ディスプレイの操作	136
コンポーネントの概要.....	136
VR610に接続しているディスプレイから会議室予約.....	137
第6章 デバイス管理	139
表示端末・VK430の管理(RBSコンフィグレーター経由)	139
RBSコンフィグレーターでデバイスを読み込むには.....	139
デバイス設定オプション.....	140
予約端末にVK430を追加するには.....	143
予約端末にプロフィールをアップロードするには.....	144
一括設定.....	146
VK430のファームウェアアップグレード.....	148
VR610のファームウェアアップグレード(RBSコンフィグレーター経由).....	150
アプリのアップデート.....	151
ログインパスワードの設定とパネルパスワードの管理.....	153
VR610の管理(ウェブコンソール経由)	157
ウェブコンソールの概要.....	157
ダッシュボード.....	158

全般設定	159
システムログのエクスポート	161
アクセスキーとロックの設定	161
デバイスのネットワーク設定	162
ディスプレイの解像度と回転の設定	164
VK430の接続状態の表示	164
SSLの有効化	165

付録..... 167

安全にお使いいただくために 167

全般	167
----------	-----

仕様..... 170

VK401	170
-------------	-----

VK430	171
-------------	-----

VR610	172
-------------	-----

本マニュアルについて

本マニュアルは、ATEN会議室予約システムの活用ガイドです。各機器のセットアップや操作方法、RBSコンフィグレーターによる画面設定など、システム全体の使い方を解説します。

本書の対象となるデバイスおよびソフトウェアは次のとおりです。

型番	製品名
VK401	アクセス・インスペクター
VK430	10.1インチ 会議室予約システム(RBS)パネル
VR610	会議室予約表示端末 VR610
RBS Configurator	会議室予約システム(RBS)コンフィグレーター

マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに

本章では、ATEN会議室予約システムの目的、主な機能、および各部の名称について紹介します。

第2章 ハードウェアのセットアップ

各ハードウェア概要と、セットアップに必要な手順を説明します。

第3章 RBSプロファイルの設定

本章では、ATEN RBSコンフィグレーターのインストール手順、インターフェースの概要、および利用可能な機能について詳しく説明します。

第4章 カレンダーサーバー

本章では、Microsoft 365、Exchange、Google Workspaceなどのカレンダーサーバーと連携し、すべての会議室スケジュールを効率的に管理する方法を解説します。

第5章 VR610とVK430の操作

本章では、ディスプレイやVK430を通じて行えるスケジュール表示、部屋の予約・確認、会議のキャンセルなどの操作について説明します。

第6章 デバイスの管理

本章では、プロファイルの切り替え、ファームウェアのアップグレード、システム・ネットワーク設定などの管理作業をリモートで行う方法を説明します。

付録

本章では、ATEN会議室予約システムの仕様および技術情報を提供します。


注意:

- ◆ 本機や接続機器の破損を防ぐため、本書をよく読み、設置・操作手順に従ってください。
- ◆ ATENでは、最新仕様に対応したファームウェアや関連ドキュメントを随時公開しています。最新のATEN RBS関連資料は、以下のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.aten.com/global/en/>

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

- [] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。
 - 1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
 - ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
 - 連続する選択オプション(メニューやダイアログボックスなど)を示します。矢印は操作の手順を示します。例えば「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択することを意味します。
-  重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

会議室予約システムとVK430について

ATEN会議室予約システムは、Microsoft 365、Exchange、Google Workspaceなどと連携するネットワーク会議室管理システムです。全会議室のスケジュールリング、空室割り当て、予約、利用状況の表示などを効率的に行えます。

ATEN会議室予約システムは、各会議室に設置するVK430と、VR610やカレンダーサーバーの設定を行うRBSコンフィグレーターで構成されています。

ATEN会議室予約システムでは、会議中でも各会議室の空き状況確認、予約、キャンセル、延長が行えます。

VK430では、数回のタップで会議室の空き時間を確認し、希望の時間に簡単に予約できます。

アドミニストレーターはRBSコンフィグレーターを使って、各VK430のデザインや設定プロファイルを調整できます。

ATEN会議室予約システムは、カレンダーサーバーと連携する効率的なイーサネットベースの管理システムで、会議室や役員室、教室などの予約管理に最適なソリューションです。

ATENアクセス・インスペクター(VK401)

VK401は、VK430/VK330に対応した非接触型カードリーダーです。13.56MHz帯で動作し、ISO 14443A/B・ISO 15693規格に対応。MifareやFelicaなどのスマートカードによる認証で、会議室の不正利用などを防止します。

ATEN Unizonでユーザープロファイルが設定されていれば、VK430/VK330に接続されたVK401でカードをスキャンすることで、認証済みのユーザーのみがチェックイン可能になります。さらに、VKコントロールシステムと統合された空間管理エコシステムを活用すれば、会議室のロック／解除も制御可能となり、自動化を促進できます。また、VK401は出席者リストや会議時間などのデータ収集にも対応しており、日次・週次・月次・四半期単位でのレポート配信により、会議管理の効率化を実現します。

VK401は、非接触アクセスが求められるポストパンデミック時代において、会議室管理のセキュリティ・衛生・運用性を高める重要なツールです。既存のアクセス制御システムに追加することで、より堅牢なセキュリティを実現できます。

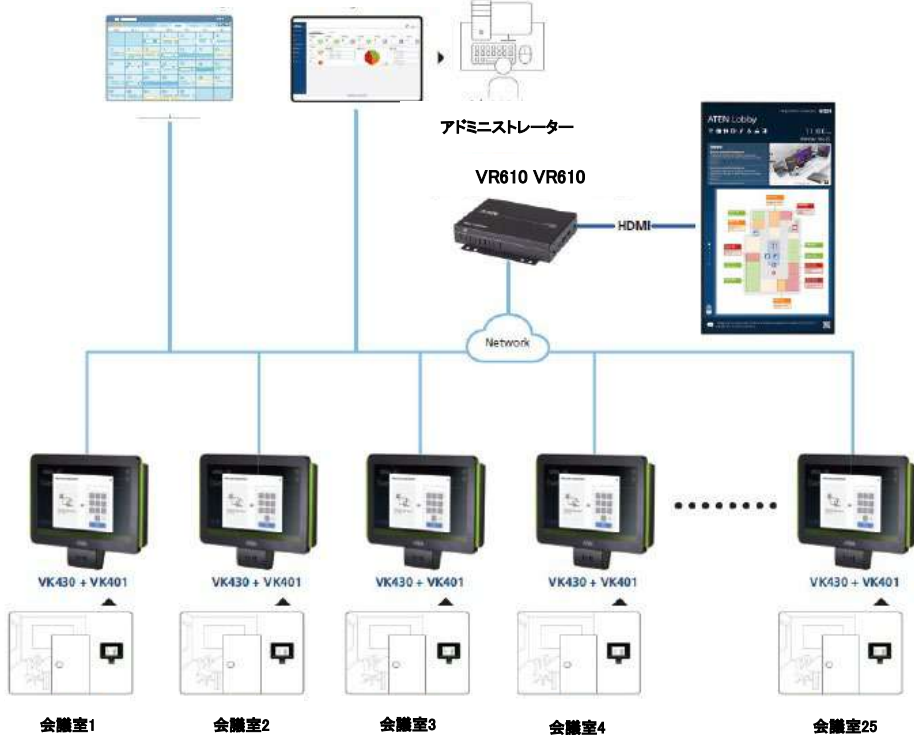
VR610

VR610は会議室の空き状況を取得し、タッチ液晶ディスプレイ等に予約情報を表示するサイネージ端末です。表示はリスト形式とマップ形式で簡単に切り替えができます。

VR610では、空き状況に加え、テキスト・動画・画像・ウェブページ形式でニュースやお知らせも表示できます。

カレンダーサーバー
(Microsoft 365、Google Workspace、
Microsoft Exchange)

ATEN Unizon



特長

RBSコンフィグレーター

- ◆ 直感的なGUIで各端末のデザインなどを簡単に設定できるアプリ
 - ◆ ロゴ・背景・カレンダーレイアウトなどのプロフィール設定
 - ◆ スリープ時の画面の明るさ・表示言語・音量などのシステム設定
 - ◆ ファームウェア更新やプロフィールのアップロード機能
- ◆ アップロード前に試せるシミュレーター搭載
- ◆ 柔軟な予約設定で多様な運用シナリオに対応
- ◆ Microsoft 365／Google Workspace／Exchangeなど主要カレンダーに対応
- ◆ ミーティング条件に合った会議室を自動提案
- ◆ コーポレートカラーやロゴによるレイアウトカスタマイズが可能

ATENアクセス・インスペクター(VK401)

- ◆ VK430／VK330に対応した非接触型カードリーダーオプション
- ◆ 動作周波数 - 13.56MHz
- ◆ ISO 14443A/B および ISO 15693に対応
- ◆ Mifare・FeliCaスマートカード読み取り対応
- ◆ 非接触型アクセス制御で高いセキュリティと衛生性を確保
 - 認証ユーザーのみがカードスキャンで予約・チェックイン・ロック操作が可能
 - 出席者リストや会議時間のデータ収集に対応
 - 会議記録を集中管理し、指定ユーザーに日次・週次・月次・四半期単位でレポート送信可能

VK430

- ◆ 10.1インチ 静電容量式タッチパネル
- ◆ Microsoft 365、Google Workspace、Exchange Serverなどのカレンダーサーバーと連携
- ◆ RBSコンフィグレーター対応：一括アップグレード、予約オプション・カレンダー設定カスタマイズ
- ◆ VR610連携対応：部屋の状態やフロアプランを外部ディスプレイに表示可能
- ◆ VK401併用でカードアクセスによる会議室予約・チェックインが可能
- ◆ ATEN Unizonによる統合管理に対応（リアルタイム監視・使用状況分析・アプリ一括アップデート）
- ◆ TCPプロトコル対応：サードパーティー製システムとの連携可能
- ◆ PoE対応：1本のLANケーブルで電力とデータを供給
- ◆ LEDライトバー搭載：点灯色をカスタマイズ可能、会議室の使用状況を視覚的に表示
- ◆ 壁取り付け用マウントキット・3M VHB™テープ付属
- ◆ 75×75 mm VESA規格対応で柔軟な設置が可能
- ◆ TCP CLI準拠

注意：

- ◆ ATEN Unizon使用時：RBSアプリはv1.3.123以降に更新してください。
 - ◆ VK401使用時：RBSコンフィグレーターおよびRBSアプリはv1.6以降が必要です。
 - ◆ VR610使用時：RBSコンフィグレーターおよびRBSアプリはv1.7以降が必要です。
 - ◆ ATEN Unizonの詳細は、専用ユーザーマニュアルをご参照ください。
-

VR610

- ◆ VK430で予約した会議室の状況・お知らせをHDMI接続のディスプレイにリアルタイム表示
- ◆ 会議室情報を2つの形式で表示
 - マップ表示: 場所案内と予約状況を表示
 - リスト表示: 詳細一覧表示
- ◆ 表示コンテンツ(ロゴ、テキスト、画像、動画、ウェブページ、レイアウト)はRBSコンフィグレーターでカスタマイズ可能
- ◆ USB-C・USB Type-Aポート搭載、タッチパネルディスプレイ接続時はVR610から直接予約操作が可能
- ◆ デュアルCPU搭載により、RBSコンフィグレーター・VK430との通信やマルチタスク処理に対応
- ◆ 4K表示対応で鮮明なコンテンツ表示
- ◆ PoE対応により、給電と通信をLANケーブル1本で一元化
- ◆ 取り外し可能なブラケット付属、モニター背面などへの柔軟な取り付けが可能

システム要件

以下のシステム環境を準備し、これらが下記の最小要件を満たしていることを確認してください。

- ◆ **ATEN会議室予約システムの対象施設(以下ハードウェアが必要)**
 - ◆ 各部屋に10.1インチVK43を1台設置
 - ◆ 各部屋にPoE+ポート1か所を用意
- ◆ **次の仕様を満たしたコンピューター(ATEN RBSコンフィグレーター実行用のミニマム構成となります)**
 - ◆ OS:Windows 10/11
 - ◆ プロセッサー: intel台12世代 core i5以上のスペック
 - ◆ メモリ:8GB RAM
 - ◆ ストレージ:インストール用に500MBのハードディスク空き容量

スタートアップ・タスク

ATEN VK430とカレンダーサーバーのセットアップ

ATEN会議室予約システムの設定を始めるには、以下の流れでタスクを実行してください。

番号	スタートアップ・タスク	手順の詳細
ハードウェアのセットアップ		
1	管理対象の各部屋に、VK430を取り付けます。	p.18「VK430のセットアップ」
ソフトウェアのインストール		
2	VK430にネットワーク接続できるPCに、設定ツール「ATEN RBSコンフィグレーター」をインストールします。	p.23「RBSコンフィグレーターのインストールとアップデート」
VK430&カレンダーサーバーの設定		
3	セットアップ済みのVK430に、レイアウトとテーマスタイルを設定します。	p.41「RBSパネルのプロファイル」
4	必要に応じてネットワーク設定を行います（初期設定ではVK430のDHCPが有効になっています）。	p.131「ネットワーク設定」
5	ATEN会議室予約システムのカレンダーサーバーを設定する。	第4章「カレンダーサーバー」
6	設定したプロファイルと設定をVK430にアップロードする。	p.144「VR610/VK430にプロファイルをアップロードするには」

VR610のセットアップ

VR610をセットアップするには、次の手順に従って作業を行ってください。

番号	スタートアップ・タスク	手順の詳細
事前準備		
1	VK430とRBSアプリのバージョンを確認し、必要に応じてアップグレードを実施します。 (VK430はファームウェアv1.11.18e以降、RBSアプリはv1.7以降にアップグレードしてください。)	p.148「VK430のファームウェアアップグレード」
2	RBSコンフィグレーターのバージョンを確認し、必要に応じてv1.7以降にアップグレードしてください。	p.23「RBSコンフィグレーターのインストールとアップグレード」
ハードウェアのセットアップ		
3	VR610とディスプレイをセットアップする。	p.22「VR610のセットアップ」
表示レイアウトの設定		
4	VR610のディスプレイ用に、表示レイアウト(プロファイル)を設計・設定します。	p.23「RBSプロファイルの設定」
5	VR610の連携デバイスにVK430を追加する。	
6	作成したプロファイルをVR610にアップロードする。	p.144「VR610/VK430にプロファイルをアップロードするには」

VK401のセットアップ

VK401をATEN会議室予約システムに合わせてセットアップするには、次のタスクを実行してください。

番号	スタートアップ・タスク	手順の詳細
準備		
1	ATEN Unizonのセットアップをして、UnizonプラットフォームにVK430を追加しているか確認してください。	ATEN Unizon ユーザーマニュアル
2	次のシステムおよびデバイスが、対応バージョンにアップデートされていること。	-
	◆ VK430のファームウェア (v1.11.17k以降)	本マニュアルにおけるp.148 「VK430のファームウェアアップグレード」
	◆ VK430アプリ (v1.6.152以降)	本マニュアルにおけるp.151 「VK430アプリのアップデート」
	◆ RBSコンフィグレーター (v1.6以降)	p.23「RBSコンフィグレーターのインストールとアップデート」
	◆ VK430のファームウェア (v.1.1.17n以降)	ATENコントロールシステムのマニュアルにおける「第2章 ハードウェアのセットアップ」
	◆ ATENタッチパネルアプリ (v.3.7.362以降)	
	◆ ATEN Unizon (v2.4以降)	ATEN Unizon ユーザーマニュアル
	◆ ATENコントロールシステム (v3.7以降)	ATENコントロールシステムのマニュアル
ハードウェアのセットアップ		
3	VK430をセットアップする。	p.18「VK430のセットアップ」
4	アクセスカードによる入室制限が必要な会議室には、設置されている各VK430にVK401を取り付けます。	p.14「VK430にアクセス・インスペクターを取り付けるには」

番号	スタートアップ・タスク	手順の詳細
システム設定		
5	ATEN Unizonでユーザーとグループを追加する。	ATEN Unizon ユーザーマニュアル
6	RBSコンフィグレーターで、各部屋に対して次の設定を定義する。 ◆ 本人確認方法の選択。 ◆ チェックイン権限の設定 ◆ ログイン通知の設定(有効または無効)	p.140「デバイス設定オプション」
7	設定済みのプロファイルをVK430にアップロードする。	p.144「VR610/VK430にプロファイルをアップロードするには」

アクセサリ

必要に応じて、以下に示す互換性のある電源アダプターや電源ケーブルを購入してください(オプション)。詳細については、ATENの販売店にお問い合わせください。

型番	説明	地域
0AD8-8012-33MG	電源アダプターのみ。ACケーブルは別途ご用意ください。	日本
LIN2-418K-D12G	電源ケーブル	A
LIN2-418K-E12G	電源ケーブル	E
LIN2-418K-D16G	電源ケーブル	J
LIN2-418K-F11G	電源ケーブル	U
LIN2-418K-N12G	電源ケーブル	I
LIN2-418K-G11G	電源ケーブル	G
LIN2-418K-Z11G	電源ケーブル	Z
LIN2-418K-K11G	電源ケーブル	K

第2章 ハードウェアのセットアップ

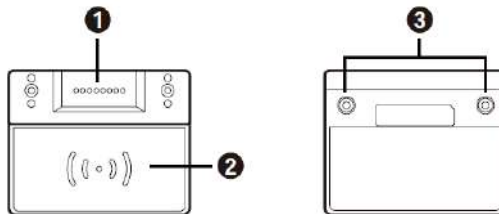


このデバイスの設置に関する重要な安全上の注意は、p.167「安全にお使いいただくために」に記載されています。作業の前に、必ず目を通してください。

この章では、各デバイスのハードウェア設定と、その基本構成の一部について説明します。

ATENアクセス・インスペクター VK401

製品各部名称

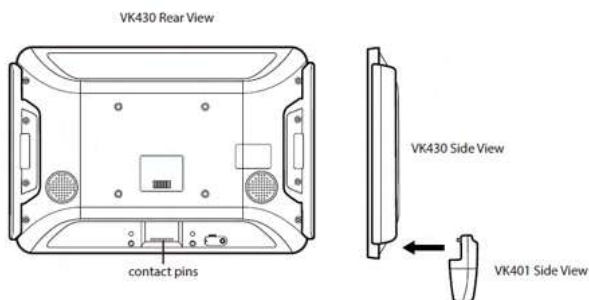


番号	名称	説明
1	接続ピン	検出されたデータをVK430に伝送します。
2	検出エリア	アクセスカードを検出します。
3	ネジ穴	製品パッケージに同梱されたネジと、このネジ穴を使って、VK401をVK430に取り付けます。

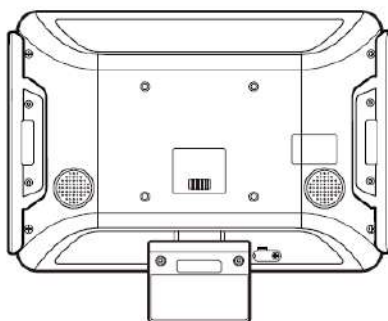
VK430にVK401を取り付けるには

VK401の取り付けを行う前に、VK430の電源をオフにし、電源に接続されていないことを確認してください。

1. VK401を背面からVK430に取り付けます。このとき、下図のように、VK401の接続ピンと、VK430の接続ピンが向かい合うようにします。




2. 製品パッケージに同梱された2本のネジを使用して、VK401をVK430に固定します。

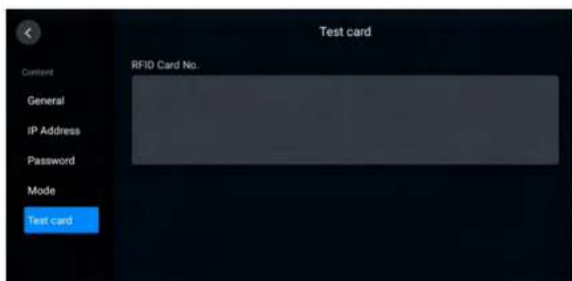


3. VK430を電源に接続し、本体の電源スイッチをオンにしてください。

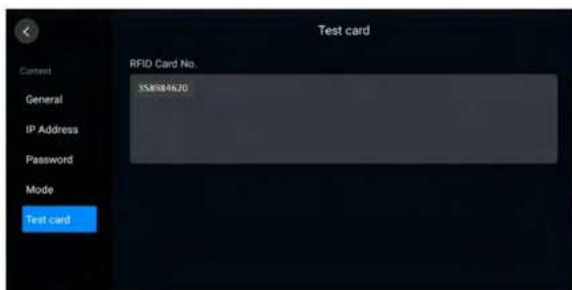
カード番号の取得

カード番号の確認や、対応カードの動作テストには、カードテスト機能を使用します。

1. VK401を取り付け済のVK430が少なくとも1台セットアップされていることを確認します。詳細は、p.14「VK430にアクセス・インスペクターを取り付けるには」を参照してください。
2. VK430で  をタップしたら、アドミニストレーターのパスワードを入力してログインします。
3. 左メニューから「カードのテスト」をタップし、画面を開きます。

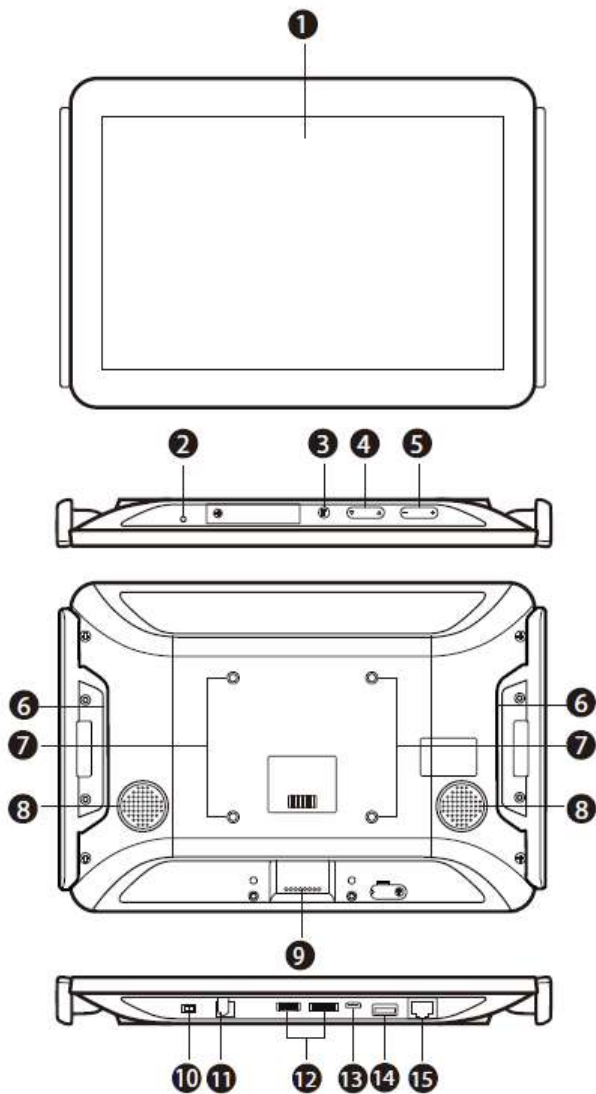


4. カードをスキャンし、カード番号が表示されれば対応カードとして認識されています。



ATEN VK430

製品本体各部名称

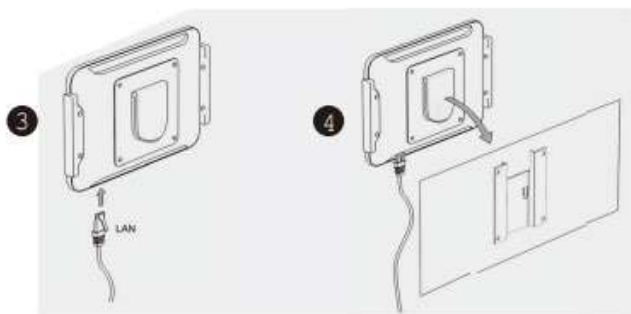
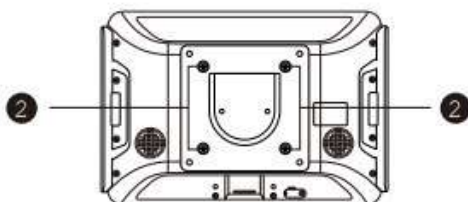
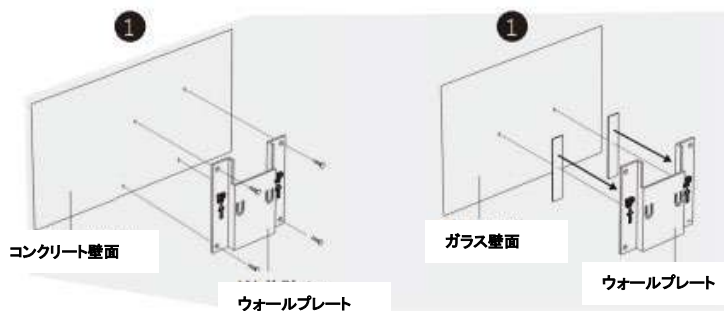


番号	名称	説明
1	タッチパネル部	タップすると、対応する会議室を設定または予約します。
2	ステータスLED	タッチパネルの電源が入っているときに点灯します。
3	機能ボタン	このボタンを押すと設定画面にアクセスします。
4	輝度(+ および -)	ディスプレイの明るさを調整します。
5	音量(+ および -)	タッチパネルの音量を調節します。
6	ステレオオーディオ出力	ステレオオーディオ出力に接続します。
7	パネルプレート用 ネジ穴	パネルプレートの固定に使用します。
8	スピーカー	動作中の操作を示すビープ音が出力されます。
9	接続ピン	データを送受信するアクセス・インスペクターを接続します。
10	電源スイッチ	タッチパネルの電源をオンまたはオフに切り替えます。
11	電源ジャック	電源に接続します。
12	予約済み(デバッグ用)	これらのポートはデバッグ用に予約されています。何も接続しないでください。
13	USB Micro-Bポート	デバッグ用に予約済みです。
14	USB Type-Aポート	ATEN RBSアプリやファームウェアのアップデートに使用します。
15	PoE対応LANポート	ネットワークに接続し、PoE経由で電源を供給します。

VK430の取り付け

VK430は、左右にLEDライトバーを備えた状態で出荷されます。75×75mmのVESA規格に準拠しており、各種マウントアクセサリーにも対応しています。

VK430を壁面に取り付けるには、次の手順に従って作業を行ってください。



1. ウォールプレートを壁面に固定します。

◆ **ハードウォール(コンクリートなど)**:同梱のネジ(必要に応じてアンカーも)を使い、矢印が上向きになるよう取り付けます。

◆ **ガラス壁面**:同梱のテープでウォールプレート背面に貼り付け、矢印が上向きになるようガラスに押し付けて接着します。

重要:

テープ接着後、3~5秒しっかり押し付け、24時間以上乾燥させてください。テープはいかなる壁面との接着を保証するものではありません。不安定な強度と感じた場合は、テープでの固定は中止し、ビス止めなどに替えて固定してください。

2. パネルプレートを短ネジでVK430の背面に取り付けます。
3. 給電とネットワーク接続のため、同梱のイーサネットケーブルと90° RJ-45ケーブルを使い、PoEスイッチまたはPoEインジェクターに接続します。

注意:

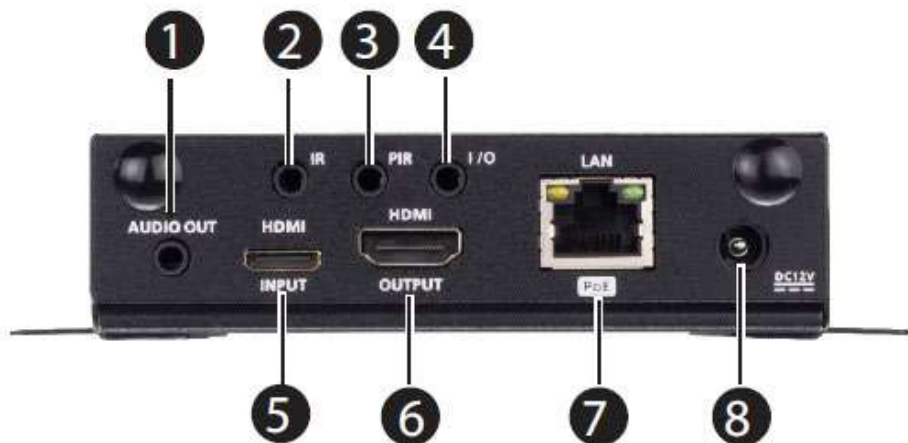
VK430に十分な電源が供給されていることを確認してください(DC 12V、17.8W、60.70BTU、またはPoE 20W、68.24BTU)。電源が不十分であると、ファームウェアやアプリのアップグレードのような処理でエラーが発生するおそれがあります。

4. VK430をスライドさせてウォールプレートに取り付けます。
5. 本体の電源スイッチを入れて起動します。
初回起動時は、VK430はオフラインとなり、カレンダーサーバーには接続されません。
設定には、ATEN RBSコンフィグレーターでプロファイルを作成し、アップロードする必要があります。p.23「RBSプロファイルの設定」を参照してください。

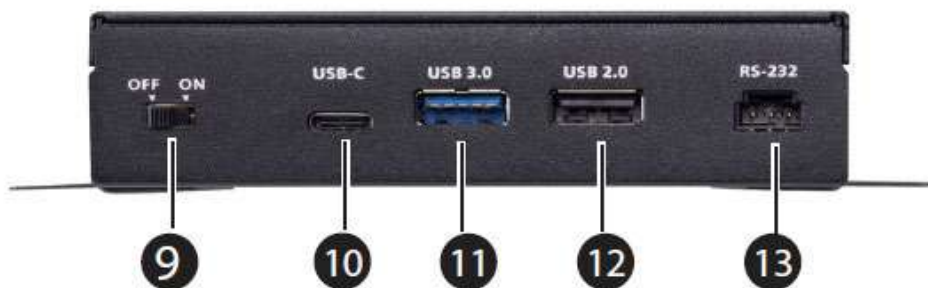
VR610

製品本体各部名称

左側



右側



番号	名称	説明
1	オーディオ出力	将来的な開発のために予約されています。
2	IR	将来的な開発のために予約されています。
3	PIR	将来的な開発のために予約されています。
4	I/O	将来的な開発のために予約されています。
5	HDMI入力	マルチメディアプレーヤーから HDMI コンテンツを受信します。 将来的な開発のために予約されています。
6	HDMI出力	タッチパネルまたは非接触パネルに接続し、設定済みコンテンツを表示します。システムは8ビット色深度の4K 60Hzディスプレイに対応しています。
7	Ethernet/PoE	VR610をネットワークまたはPoE スイッチ/インジェクターに接続して、電力を供給し、ネットワークにアクセスします。
8	電源	必要に応じてACアダプターを接続してください(別売品)
9	電源スイッチ	<p>本体の電源をオンまたはオフに切り替えます。本体の下にあるLEDを使用して、デバイスの電源状態を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ オフ: 機器の電源がオフになっています。 ◆ オン(緑): 機器の電源がオンになっていて、準備ができています。 ◆ オン(オレンジ): 機器の電源がオンになっていて、準備中であることを示します。
10	USB-C	キーボード、マウス、タッチディスプレイのUSB周辺機器に接続します。
11	USB 3.0	
12	USB 2.0	
13	RS-232シリアルポート	将来的な開発のために予約されています。

VR610のセットアップ

1. タッチ対応ディスプレイまたは液晶ディスプレイを、VR610のHDMI出力ポートに接続します。

注意:

起動後にHDMIケーブルを接続すると、画面表示に約30秒かかります。そのため、表示準備中にHDMIケーブルを抜かないようにご注意ください。

2. ディスプレイを端末に接続します。
 - ◆ タッチ対応ディスプレイ使用時: ディスプレイをUSBポートに接続
 - ◆ 液晶ディスプレイ使用時: キーボードとマウスをUSBポートに接続(入力を操作をする場合のみ)
3. LANポートにイーサネットケーブルを接続し、PoEスイッチまたはPoEインジェクターからネットワークと電源を供給します。
4. VR610本体の電源スイッチをオンにします。

第3章

RBSプロフィールの設定

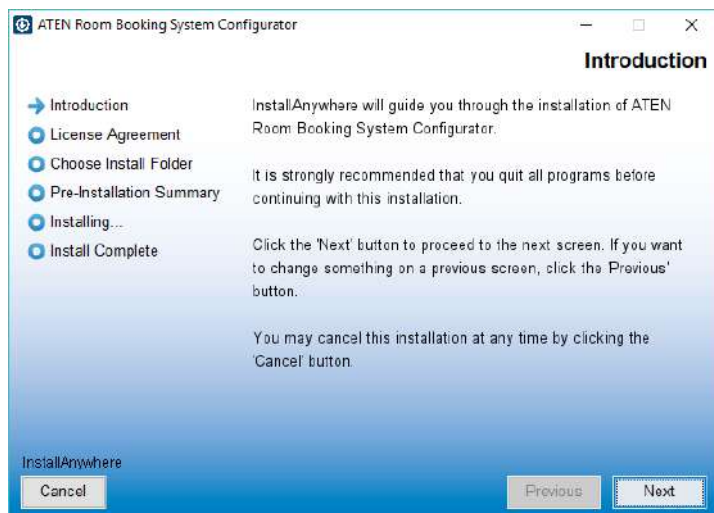
ATEN RBSコンフィグレーターは、VK430やVR610の画面をデザインし、各端末をMicrosoft 365、Exchange、Google Workspaceなどのカレンダーサーバーへ接続する設定を簡単にできる、GUIベースの管理ソフトウェアです。

RBSコンフィグレーターのインストールとアップデート

会議室予約システムとハードウェアデバイスにネットワーク経由でアクセスできるPCまたはノートPCに、RBSコンフィグレーターをインストールしてください。インストールやアップデートは、以下の手順に従って実施します。

1. RBSコンフィグレーターをダウンロードしてください。
 - a) ATENダウンロードページにアクセスしてください。
<http://www.aten.com/global/en/support-and-downloads/downloads/>
 - b) 「RBS Configurator」を検索してください。そうすると、RBSコンフィグレーターのダウンロード一覧が表示されます。
 - c) 「RBS_Configurator_Setup_vx.x.xxx.exe」をダウンロードしてください。

2. セットアップファイルを実行してください。次に、画面の指示に従ってRBSコンフィグレーターをインストールしてください。



注意:

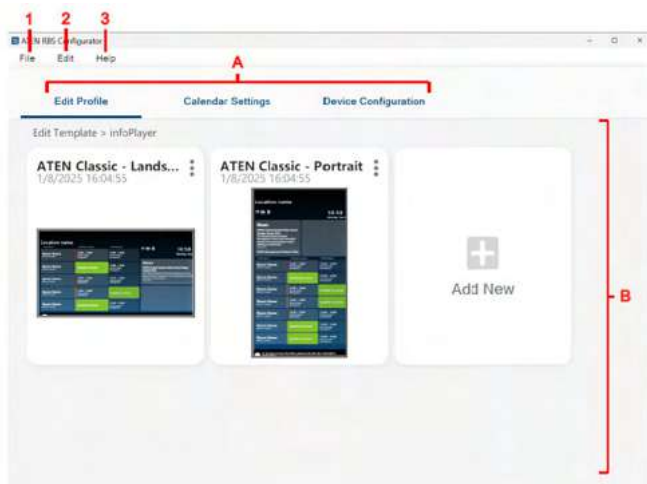
ライセンス契約の画面で、手続きを進める前に、ライセンス契約の条件をよく読み、同意してください。

3. インストールが完了したら、「完了」をクリックして操作を終了してください。



RBSコンフィグレーターのメイン画面

ソフトウェアを起動して、ATEN会議室予約システムの設定を開始してください。以下は、RBSコンフィグレーターの参考用のスクリーンショットです。



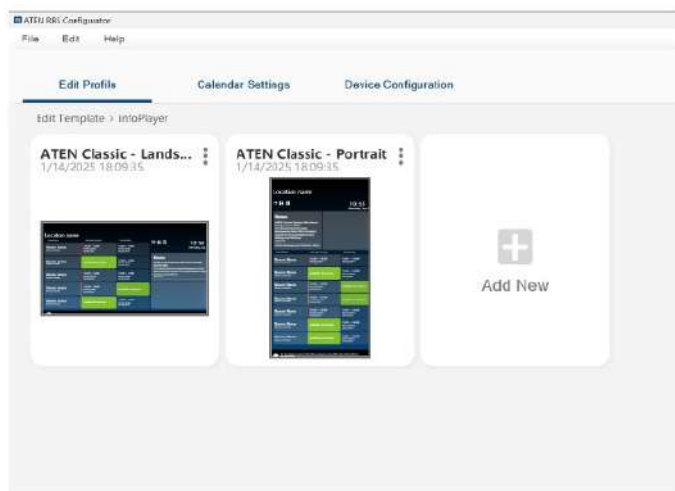
番号	項目	説明
A	タブメニュー	タブメニューを使用して、次のビューを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">◆ プロフィール編集: VK430(会議室用)またはVR610(ロビー用)のレイアウトデザインを定義・編集します。ロビーテンプレートまたはルームテンプレートを選択して操作します。◆ カレンダー設定: カレンダーサーバー連携に必要な設定を行います。◆ デバイス設定: ネットワーク経由でVK430や表示端末にプロフィールをアップロードまたは編集します。
B	インタラクティブ表示	このセクションは、選択したタブメニュー項目を反映するメイン作業領域です。

番号	項目	説明
1	ファイル	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新規プロジェクト:現在のプロジェクトを消去し、新しいプロジェクトを開始します。 ◆ プロジェクトを開く:以前に保存したプロジェクトファイルを開きます。 ◆ 保存:現在のプロジェクトを保存します。 ◆ 名前を付けて保存:現在のプロジェクトを新規プロジェクトファイルとして保存します。 ◆ 終了:RBSコンフィグレーターを終了して画面を閉じます。
2	編集	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 言語:RBSコンフィグレーターの言語を変更します。
3	ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ RBSコンフィグレーターについて:RBSコンフィグレーターの情報を表示します。

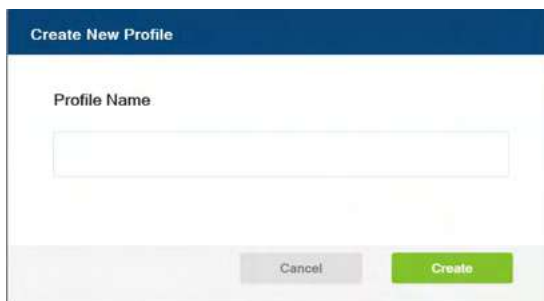
VR610のプロファイル

新規デバイス用プロファイルの追加

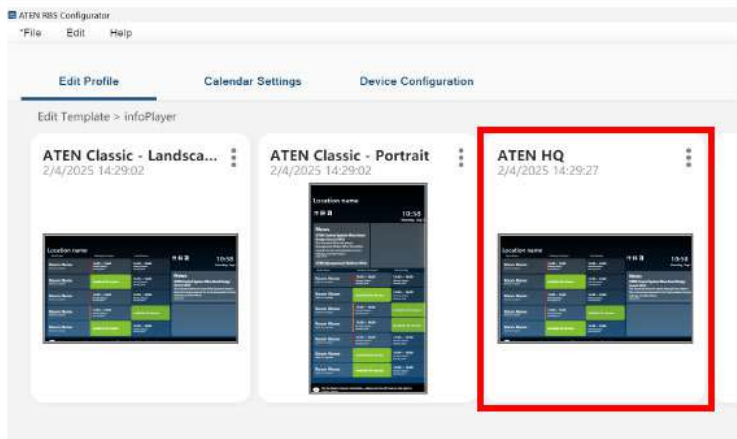
1. RBSコンフィグレーターで「プロファイルの編集」をクリックし、「ロビーテンプレート」を選択します。



2. 「新規追加」をクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。



3. ポップアップダイアログでプロファイル名を入力し、「作成」をクリックします。これで表示端末用のプロファイルが作成されます。



VR610のプロファイルの設定

設定パネルの概要

表示端末のプロファイルを編集するには、「プロファイルの編集」>「ロビーテンプレート」に進み、編集したいプロファイルをクリックします。ページが表示され、設定を行えます。

The screenshot displays the 'ATEN Classic - Profile' configuration interface. The main area is titled 'Lobby Preview' and shows a 'Location name' field. Below this, there is a 'News' section with a title 'ATEN Control System Wins Good Design Award 2022' and a date '2022-07-01'. Underneath is an 'ATEN Management Platform Wins' section with a table of room availability. A red box 'A' highlights this table. The table has three columns: 'Room Name', 'Meeting in Progress', and 'Next Meeting'. The rows show various room names and their availability status (e.g., 'Available 30 minutes', 'Meeting in Progress', 'Available 25 minutes'). A red box 'B' highlights the 'Lobby Preview' tab. To the right, there is a 'Booking Settings' panel with a red box 'C' highlighting it. This panel includes sections for 'Main Page', 'Sub Page', 'Status Color' (with color swatches for Available, Reserved, Occupied), 'Announcements' (with a content field and a QR code field), and 'Background' (with a 'Main Page' dropdown).

Room Name	Meeting in Progress	Next Meeting
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host
Room Name Starts in 2 minutes	Available 30 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	Available 25 minutes
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	Available 25 minutes
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host
Room Name Starts in 2 minutes	Available 30 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host
Room Name Starts in 2 minutes	Available 30 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host

設定パネルは主に3つのセクションから構成されています。利用可能な設定とその機能の説明については、以下の表を参照してください。

番号	項目	説明
A	プロフィールプレビュー	ディスプレイのプレビューを表示します。
B	表示モード	<input type="checkbox"/> クリックすると、リストビュー(デフォルト)とマップビューを切り替えられます。 <input type="checkbox"/> マップを編集するには、マップビューに切り替え、「マップの編集」ボタンをクリックしてください。詳細は、p.37「マップの設定」を参照してください。
C	インターフェースと予約設定	以下が含まれます。 <input type="checkbox"/> GUIデザイン :レイアウト、表示内容、ビジュアル設定を編集します。詳細は、p.44「GUIデザイン」を参照してください。 <input type="checkbox"/> 予約設定 :プロフィールの予約関連の設定を行います。詳細は、p.47「予約設定」を参照してください。

VR610のディスプレイ設定

1. RBSコンフィグレーターで「プロフィールの編集」>「ロビーテンプレート」に進みます。
2. 対象のプロフィールをクリックして、設定パネルを開きます。
3. 必要に応じて、GUIデザインや予約設定を編集します。

■ GUIデザイン

項目	サブ項目	説明
パネル設定	表示方向	ディスプレイの設置向きに応じて、以下から選択します。 <input type="checkbox"/> 縦向き <input type="checkbox"/> 横向き
	表示モード	表示端末のディスプレイに設定する表示モードを選択します。 <input type="checkbox"/> リストビュー:会議室の状態を一覧表示します。 <input type="checkbox"/> マップビュー:アップロードされたフロアマップ上に会議室の状態を表示します。 <input type="checkbox"/> 両方(リスト&マップ):リストビューとマップビューを切り替えられるようにします。
	デフォルト表示モード	プロフィールのデフォルト表示モードを設定します。
日付と時刻	日付形式	表示端末のディスプレイに表示する日付の形式を設定します。
	時刻形式	表示端末のディスプレイに表示する時刻の形式を設定します。
ブランド/ロゴのアップロード	企業ロゴ	ブランドロゴ画像(.jpgまたは.png、最大60×624ピクセル)をアップロードします。この画像は、表示端末のディスプレイの右上に表示されます。
	スローガン	表示端末のディスプレイに表示する企業スローガンを入力します。
背景	メインページ	カラーパレットから色を選択して、表示端末のディスプレイのメインページの背景を定義します。
	サブページ	表示端末のディスプレイのサブページの表示色を設定します。

項目	サブ項目	説明
ステータス色	使用可能	表示端末のディスプレイで現在使用可能な会議室を表す色を設定します。
	予約済み	表示端末のディスプレイで現在予約済みの会議室を表す色を設定します。
	使用中	表示端末のディスプレイで現在使用中の会議室を表す色を設定します。
お知らせ	内容	表示するお知らせを入力します。
	QRコードまたはアイコン	QRコードをアップロードします。このQRコードは、登録フォームや表示端末の利用者に提供される補足情報です。
施設サイン	有効	施設サインを表示または非表示にします。
	IP検出	表示する施設サインをクリックして選択します。

項目	サブ項目	説明
ウィジェット		<p>端末ディスプレイに表示するウィジェットの数と種類を設定します。各ウィジェットで以下を定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ニュース:「編集」をクリックして、タイトル、内容、日付を追加します。 <input type="checkbox"/> メディア(画像またはビデオ): <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> メディア比率とソースを設定 <input type="checkbox"/> ビデオ要件: <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> H.264形式、拡張子.mov/.mkv / .mp4。ウィジェットで400MB以内、プロファイル全体は450MB以下にすること。 <input type="checkbox"/> 画像要件: <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> jpg、.png、またはwebp形式。 <input type="checkbox"/> ウィジェットで400MB以内、プロファイル全体は450MB以下にすること。 <input type="checkbox"/> 注意:接続ディスプレイ解像度により異なる。 例: 1920 × 1080の場合、ウィジェット1つなら 595 × 459(横向き) / 1047 × 588(縦向き)など。 <input type="checkbox"/> URL:「入力URL」欄にウェブページのURLを入力。

■ 予約設定

項目	サブ項目	説明
会議室情報	タイトルの表示方法	表示端末のディスプレイの「進行中の会議/次の会議」列に表示されるタイトルを定義します。適用後の状態を確認するには、設定パネルのプレビューを参照してください。
	サブタイトルの表示方法	表示端末のディスプレイの「進行中の会議/次の会議」列に表示されるサブタイトルを定義します。適用後の状態を確認するには、設定パネルのプレビューを参照してください。
業務時間		表示端末に業務時間を設定します。

VR610のマップビューの設定

画面構成について

VR610はデフォルトではリストビューが使用され、ディスプレイの専用エリアに会議室の使用状況と会議情報を表示します。すべての会議室とその詳細、今後の予定が一覧表示されます。

リストビュー

The screenshot shows the 'Lobby Preview' interface. At the top, there is a 'List view' dropdown menu. Below it, the 'Location name' is displayed. The time is 10:58 on Monday, Sep 25. There are icons for a fork and knife, two people, and a building. A 'News' section is visible, featuring articles about ATEN Control System and ATEN Management Platform. Below the news, a table displays meeting room information:

Room Name	Meeting In Progress	Next Meeting
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host
Room Name Starts in 2 minutes	Available 30 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	Available 25 minutes
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	Available 25 minutes
Room Name Starts in 2 minutes	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host	14:30 ~ 16:00 Meeting Subject Meeting Host

また、リストビューからマップビューに切り替えて情報表示できます。マップビューでは、フロア図に会議室の場所と使用状況が表示されます。この機能を使用するには、事前にフロアマップのデータ設定とアップロードが必要です。

マップビュー



リストビューとマップビューの切り替え

事前にマップビューを設定しておくことで、リストビューとマップビューの両方を利用可能にし、必要に応じて表示を切り替えることができます。



マップの設定

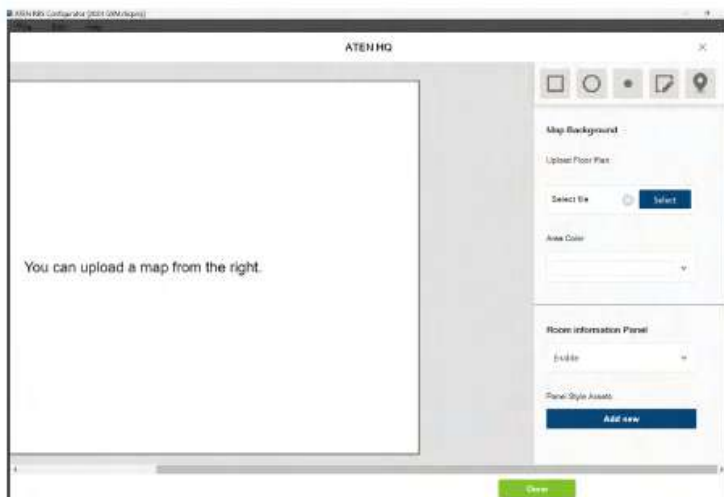
1. RBSコンフィグレーターで、「プロファイルの編集」>「ロビーテンプレート」に進みます。
2. 新しいプロファイルを追加する場合は「新規追加」、既存のプロファイル編集する場合は対象プロファイルをクリックします。
3. 表示されたウィンドウで「マップの編集」をクリックします。

注意:

「マップの編集」ボタンが表示されない場合は、ロビープレビュー（プレビューパネル上部の設定）がマップビューに設定されているかを確認してください。






そうすると、マップエディターウィンドウが表示されます。



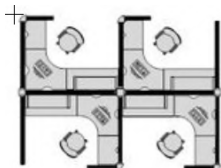
4. フロア図(マップ)を追加するには、「**選択**」をクリックして参照し、アップロードします。
5. 会議室の情報ボックス(会議室名や予約詳細の表示)を追加し、予約ステータス(利用可能・予約済み・利用中)を示す色を変更するには、各会議室やスペースのアウトラインを設定してください。

注意: 情報ボックスのみを表示する場合は、この手順をスキップして次に進みます。

- a) ターゲットとなるスペースの形状に応じて、以下のツールのいずれかをクリックします。

ツール	機能
	長方形のスペースの輪郭を描き、情報ボックスを追加します。
	円形のスペースの輪郭を描き、情報ボックスを追加します。
	フリーフォームのスペースの輪郭を描き、情報ボックスを追加します。

- b) マウスをマップに移動します。そうすると、マウスの位置を示す十字が表示されます。



- c) 会議室の上でマウスをドラッグアンドドロップして描画します。そうすると、アウトラインボックスと情報ボックスが表示され、相互に重なります。

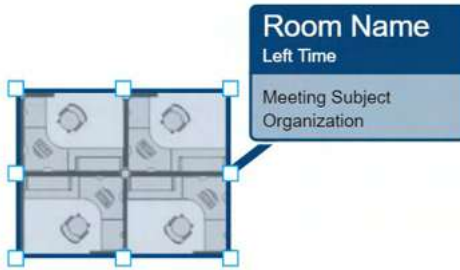


注意: 情報ボックスにはデフォルトで会議室名、残り時間、議題、組織名が表示されます。スタイルをカスタマイズまたは新規作成するには、マップエディターウィンドウの「パネルスタイル・アセット」設定から「**新規追加**」をクリックします。



- d) 情報ボックス(会議室名ボックス)をドラッグアンドドロップして適切な場所に移動します。



- e) アウトラインボックスのサイズを調整するには、ボックスを再度クリックします。調整するには、側面をドラッグします。



注意:「会議室情報パネル」設定を無効にすることで情報ボックスを非表示にできます。

6. 情報ボックスのみを表示するには、をクリックしてマップ上に情報ボックスを追加します。
7. 施設サインを追加するには、をクリックしてポップアップメニューからアイコンを選択して、マップ上の地点をクリックして施設を追加します。

Panel Assets



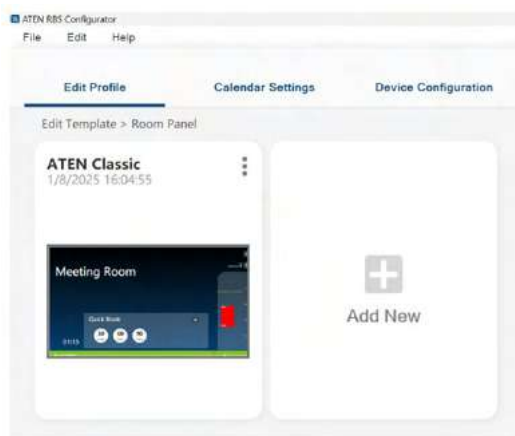
8. 「完了」をクリックして設定を保存します。

VK430のプロファイル

ATEN RBSコンフィグレーターの「プロファイルの編集」タブでは、レイアウトデザインのカスタマイズや、管理対象のVK430に適用する予約設定を行えます。

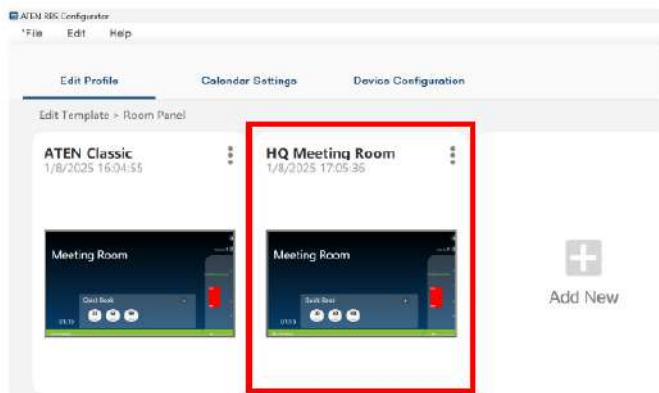
新規パネルプロファイルの追加

1. RBSコンフィグレーターで、「**プロファイルの編集**」をクリックして、「**部屋のテンプレート**」を選択します。そうすると、下図のような画面が表示されます。




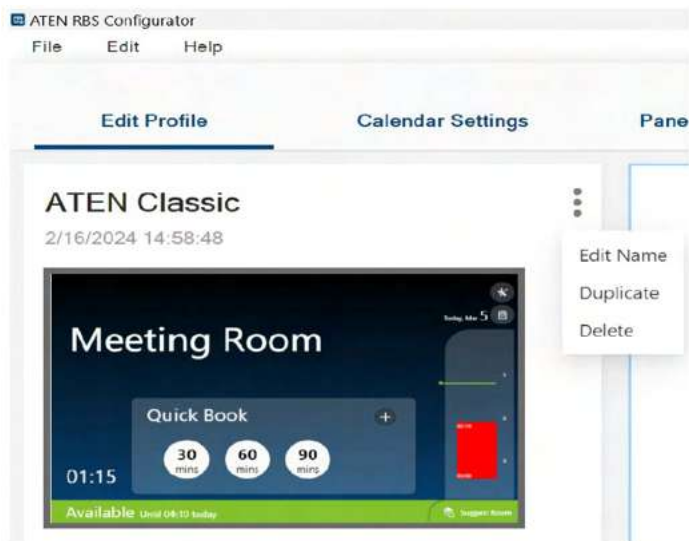
2. 「**新規追加**」をクリックします。そうすると、下図のようなダイアログボックスが表示されます。

3. ポップアップダイアログボックスでプロフィールに名前を付けたら、「作成」をクリックします。そうすると、パネルプロフィールが作成されます。



パネルプロフィール名の編集とパネルプロフィールの複製・削除

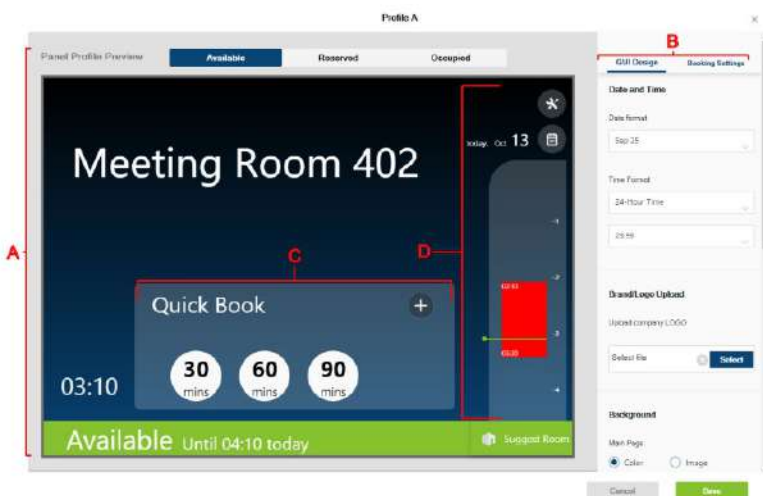
RBSコンフィグレーターで、パネルプロフィールの「」ボタンをクリックすると、次のオプションを利用することができます。



項目	説明
名前の編集	プロフィールの名前を編集します。
複製	プロフィールの複製を作成します。
削除	プロフィールを削除します。

パネルプロフィールの設定

RBSコンフィグレーターで、「プロフィールの編集」>「ルームテンプレート」を選択し、目的のプロファイルをクリックして開始します。そうすると、次の画面が表示されます。



番号	項目	説明
A	パネルプロフィールのプレビュー	適用したプロフィールのレイアウトプレビューが表示されます。
B	インターフェースと予約設定	ここには以下が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ GUIデザイン:プロフィールのレイアウトデザイン関連の設定を行います。 ◆ 予約設定:プロフィールの予約関連の設定を行います。
C	チェックインパネル	会議室へのチェックインとクイック予約に使用します。
D	日次スケジュールエリア	その日の会議室の予約スケジュールを表示します。

GUIデザイン

概要

項目	サブ項目	説明
日時	日付形式	VK430に日付を表示する形式を設定します。
	時刻形式	VK430で時間を表示する形式を設定します。
ブランド/ロゴのアップロード	企業ロゴのアップロード	企業ロゴイメージをアップロードします(*.jpg、*.jpeg、*.png、または*.bmpの形式で、最大140×970ピクセル。VK430の左上に表示されます)。
背景	メイン画面	色を選択するか、最大1280×732ピクセルのイメージ(*.jpg、*.jpeg、*.png、または*.bmp)をアップロードして、VK430におけるメイン画面の背景を定義します。
	ぼかし背景	有効にすると、背景をグラデーションカラーで表示します。詳細はp.45「ぼかし背景」を参照してください。
	サブ画面	VK430のサブ画面の表示スタイルを設定します。
時刻の色		VK430に表示される時刻の色を設定します。
チェックインパネルの色		VK430のチェックインパネルの色を設定します。
日次スケジュールエリア	アイコンの色	VK430の日次スケジュールエリアのアイコンの色を設定します。
	表示スタイル	VK430の日次スケジュールエリアの表示スタイルと色を設定します。
ステータス色	使用可能	会議室が使用可能な場合におけるVK430のLEDバーの色とステータス色を設定します。
	予約済み	会議が予約されている場合におけるVK430のLEDバーの色とステータス色を設定します。
	使用中	会議室が使用中の場合におけるVK430のLEDバーの色とステータス色を設定します。
会議の情報		<ul style="list-style-type: none">◆ 現在行われている会議の概要が、チェックインパネルの右上に情報アイコンで表示されます。◆ 会議がパネルから予約されている場合は、会議をキャンセルすることができます(「会議の削除」ボタンを使用)。

項目	サブ項目	説明
状態変更までのカウントダウン表示		会議ステータスバーにある次の会議室の状態の表示時間(分)を表示します。現在の部屋の状態に応じて、表示される情報が異なります。下記はその例です。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用可能 本日15:00まで ◆ 予約済み 2分後に開始 ◆ 使用中 あと13分で終了
スクリーンセーバー	スクリーンセーバー表示までの時間	VK430が一定時間アイドル状態になるとスクリーンセーバーが起動します。デフォルトでは有効になっており、5分以上操作がない場合にスクリーンセーバーが自動で表示されるよう設定されています。
	テキスト色	スクリーンセーバーのテキスト色を設定します。

ぼかし背景

「ぼかし背景」を使うと、下図のように背景にグラデーションカラーを適用することで、クイック予約のコントロールを際立たせることができます。

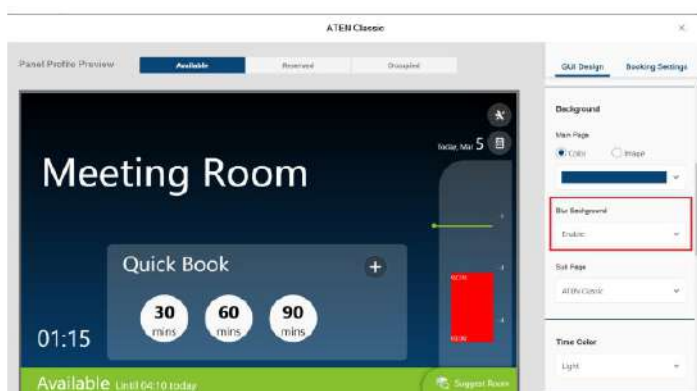


グラデーションの効果を使わず、指定された背景を使用する場合は、ぼかし背景の機能を無効にします。



設定を変更するには:

1. RBSコンフィグレーターでプロファイルファイルを開きます
2. 設定を変更したいテンプレートをクリックすると、設定画面が表示されます。
3. 「GUIデザイン」を下にスクロールし、「ぼかし背景」の項目を確認してください。



4. 設定を終えたら、「保存」をクリックして変更内容を適用します。

予約設定

項目	サブ項目	説明
クイック予約、会議室のサジェスト、カレンダー予約		VK430でクイック予約オプションを使用できるようにします。
使用状況の最適化	時間内にチェックインされなかった場合は会議室を自動的に解放	有効にすると、次の機能が使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定められた時間内にチェックインされない場合、自動的に会議室を解放して利用効率を高めます。 ◆ 会議の延長、アーリーチェックイン(予定前倒しでの利用)、レイトチェックイン(予定から遅延しての利用)が可能になります。 無効の場合は、チェックインが行われない限り会議室はキャンセルされず、アーリーチェックイン、レイトチェックイン、予約延長も利用できません。
	会議の延長	有効にすると、進行中の会議を延長できます。
	アーリー・チェックイン可能時間	アーリー・チェックインまでに許可された時間を設定します。
	確保	レイト・チェックインが解放されるまで確保できる時間を設定します。
議題の下に次を表示		会議のテーマの下に、 会議のホスト または 会議の詳細 を表示します。「 無効 」を選択すると、この部分が空欄で表示されます。
業務時間	カレンダーサーバー	接続されているカレンダーサーバーで指定されている業務時間を採用します。
	手動	会議室予約システムの業務時間を設定します。
	輝度	業務時間外のVK430の明るさを設定します。

変更を有効にするには、「**保存**」をクリックしてください。

第4章

カレンダーサーバー

本章では、Microsoft 365、Exchange Server、Google WorkspaceなどのカレンダーとATEN会議室予約システムの連携方法を解説します。連携により、VK430などが監視している会議室スケジュールを一元で管理できます。

Microsoft 365

セットアップの概要

Microsoft 365 カレンダーを使用する場合は、次の手順で設定してください。

1. Microsoft 365の管理者アカウントを使用します。

a) Microsoft 365カレンダーサーバー経由で会議室を予約する全ユーザーのアカウントを追加してください。

手順の詳細については、p.49「ユーザーアカウントの追加」を参照してください。

b) 使用する認証方法を決定してください。

詳細については、p.51「認証方法の決定」を参照してください。

c) 会議室予約システムで管理する施設ごとに、リソースアカウントを追加し、パスワードを設定してください。

詳細については、p.51「認証方法の決定」を参照してください。

d) アカウント情報を使用して認証するには、ユーザーアカウントを代理人として追加してください。

手順の詳細については、p.52「会議室(リソース)アカウントの追加」を参照してください。

e) アカウント情報を使用して認証するには、多要素認証(MFA)を無効にしてください。

手順の詳細については、p.52「会議室(リソース)アカウントの追加」を

参照してください。

- f) Microsoft Entraを通じて、APP IDを登録し、会議室予約システムに必要なAPI権限を追加します。詳細な手順については、以下を参照してください。

- ◆ p.57「Microsoft Entraの設定(アカウント認証情報を使用する場合)」
- ◆ p.62「Microsoft Entraの設定(クライアントのシークレットキーを使用する場合)」

2. ATEN RBSコンフィグレーターで、次の操作を行ってください。

- a) アカウントの設定を行います。詳細については、p.70「アカウント設定」を参照してください。
- b) 会議室のグルーピングを設定します。これは、VK430のサジェスト機能で利用可能な会議室を絞り込む際に便利です。詳細については、p.71「会議室のグルーピング設定」を参照してください。

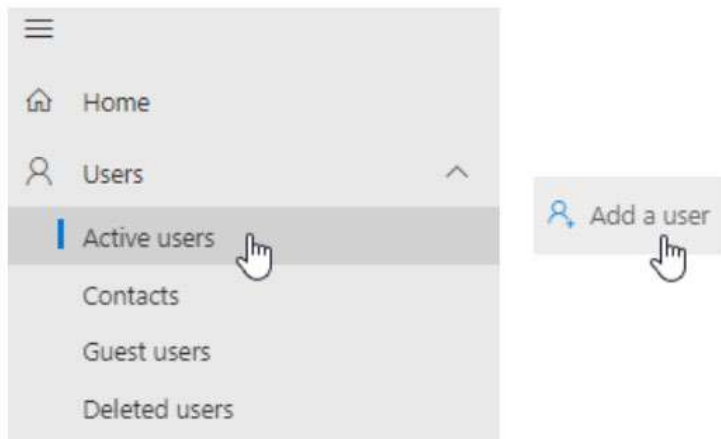
Microsoft 365 管理センター

まず、Microsoft 365の管理者アカウントの認証情報で「<https://admin.microsoft.com/>」にログインしてください。

ユーザーアカウントの追加

Microsoft 365カレンダーサーバーを介して会議室のリソースを予約できるユーザーアカウントを追加するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. Microsoft 365 管理センターで、ナビゲーションメニューから「ユーザー」>「アクティブユーザー」の順に進み、「ユーザーの追加」をクリックしてください。



2. ユーザーの基本情報を入力したら、「次へ」をクリックしてください。

A screenshot of the 'Add a user' wizard in Windows. The 'Set up the basics' step is active. The form contains the following fields: 'First name' (Tiffany), 'Last name' (empty), 'Display name' (Tiffany), 'Username' (Tiffany), and 'Domain' (rbgpm.onmicrosoft.com). A 'Next' button is highlighted in blue at the bottom, and a 'Cancel' button is visible on the right.

3. 購入したライセンスの種類に応じて、利用できるオプションが異なります。「Exchange Online」に対応したものを選択してください。
4. 画面上の指示に従ってユーザーアカウントの作成を行ってください。

認証方法の決定

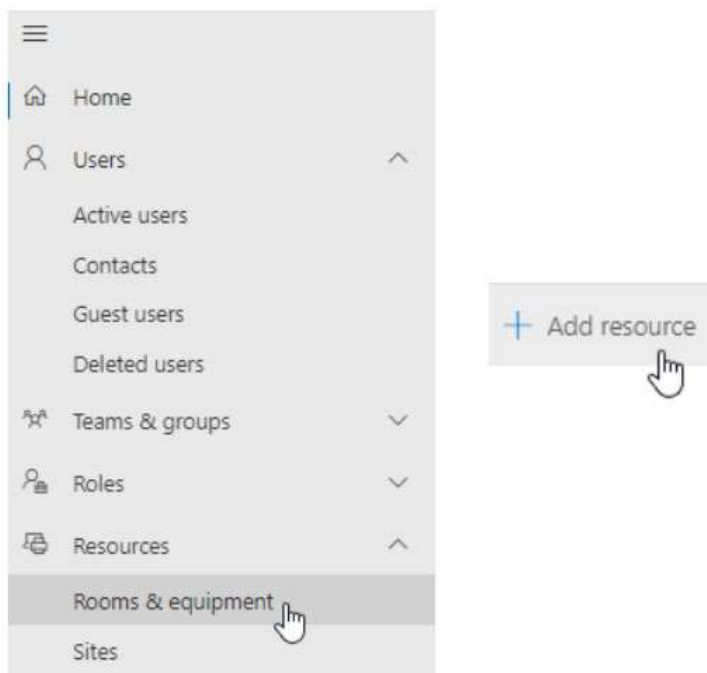
カレンダーサーバーの認証方法のうち、アカウントの認証情報と、クライアントのシークレットキーのどちらを使うのかを決定してください。2つの方法のメリットとデメリットを比較するには、次の表をご覧ください。

	アカウント認証情報を使用する場合	クライアントのシークレットキーを使用する場合
メリット	アカウント認証情報が変更されない限り、認証情報を定期的にアップロードする必要がない。	<ul style="list-style-type: none">◆ 多要素認証機能を無効にする必要がない。◆ ネットワーク環境に応じて柔軟に対応可能。
デメリット	多要素認証を有効にしなければならない（企業によってはセキュリティ上の懸念から、承認されない場合があり得る）。	RBSコンフィグレーターに対して、クライアントのシークレットキーを定期的にアップロードする必要がある（Microsoft 365での設定に応じて、3～24カ月ごとに対応が必要）。

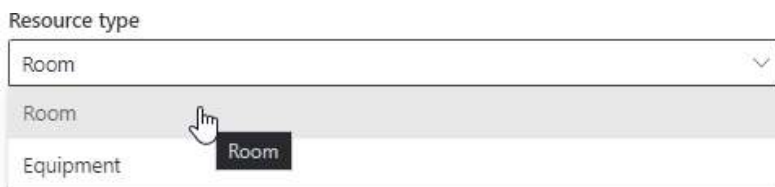
会議室(リソース)アカウントの追加

ATEN RBS管理の各会議室アカウント追加とパスワード設定手順は次の通りです

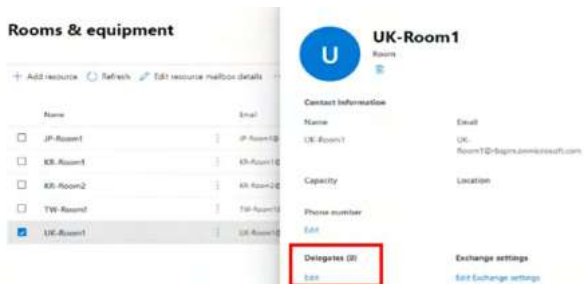
1. Microsoft 365 管理センターで、[リソース]>[会議室 & 装置]>[リソースの追加]をクリックします。



2. 「リソースの種類」で「会議室」を選択し、画面の指示に従って会議室アカウントを作成します。



3. 作成後の会議室を右クリックし「編集」から代理人を追加します(予約権限のため、各部屋に代理人を追加してください)。



4. [ユーザー]>[アクティブユーザー]から、該当する会議室アカウントの「パスワードのリセット」をクリックし、画面指示に従い設定します。

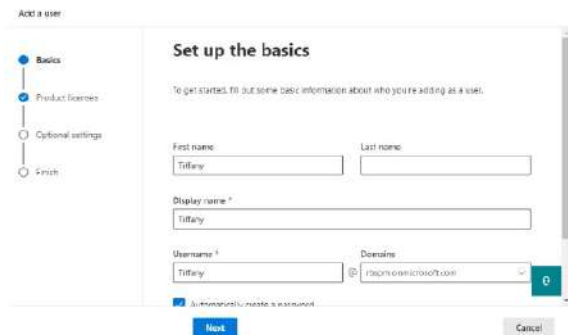
注意:

すべての会議室アカウントにパスワードが設定されていることを確認してください。

ユーザーアカウントを代理人として追加するには

認証にアカウント情報を使用する場合は、以下の手順で代理人を追加します。

1. Microsoft 365管理センターの[ユーザー]>[アクティブユーザー]から、[ユーザーの追加]をクリックします。
2. 基本情報を入力し、[次へ]をクリックします。

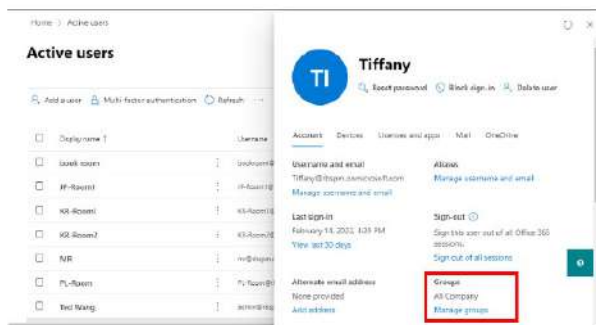


The screenshot shows the 'Set up the basics' form for adding a user. The form is titled 'Set up the basics' and includes the following fields:

- First name: Tiffany
- Last name: [Empty]
- Display name: Tiffany
- Username: Tiffany
- Domain: tiffany@microsoft.com

At the bottom of the form, there is a 'Next' button and a 'Cancel' button. A small blue box at the bottom left contains the text 'Add a new user to this account'.

3. ライセンス選択時に「Exchange Online」対応のライセンスを選びます。
4. 画面の指示に従ってアカウント作成を完了します。
5. 作成したユーザー(代理人)を「全ての会社グループ」に割り当てます。



The screenshot shows the 'Active users' list and the user profile for 'Tiffany'. The 'Active users' list is on the left, and the user profile is on the right. The 'Groups' section is highlighted with a red box, showing 'All Company' and 'Exchange group'.

Display name	Username
Jane Cooper	jcooper@
MF-Rosen	mfr@ms
KR-Rosen	kr@ms
SR-Rosen	sr@ms
NB	nb@ms
PL-Rosen	pl@ms
Tim Wang	twang@ms

Tiffany

- Account
- Devices
- Licenses and apps
- Mail
- OneDrive

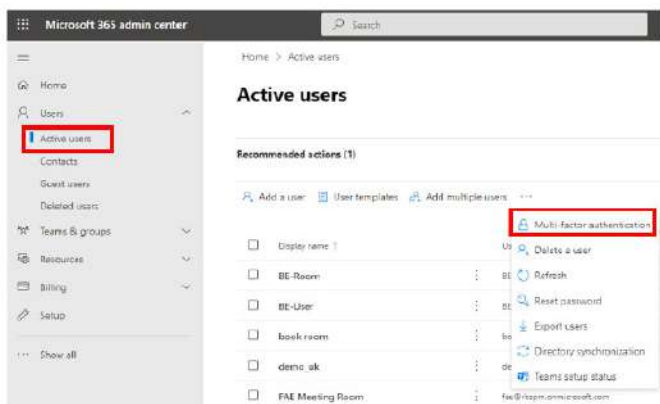
Groups

- All Company
- Exchange group

多要素認証(MFA)の無効化

アカウント資格情報による認証時のMFA無効化手順：

1. Microsoft 365管理センターで[ユーザー]>[アクティブユーザー]>[多要素認証]を選択します。



2. 「従来のユーザーごとのMFA」をクリックします。

Configure multifactor authentication (MFA)

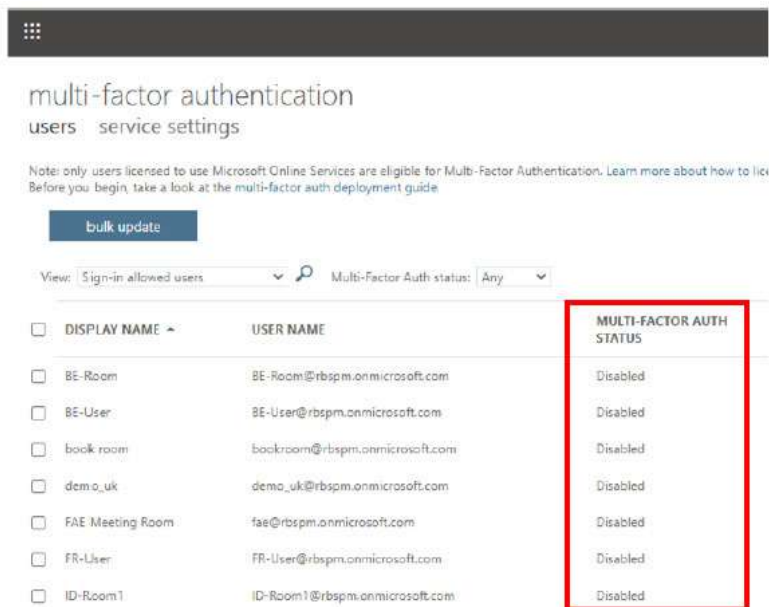
Secure your organization against breaches due to lost or stolen credentials. MFA immediately increases account security by prompting for multiple forms of verification to prove a user's identity when they sign in to an app or other company resource. This prompt could be to enter a code on the user's mobile device or to provide a fingerprint scan. MFA is enabled through Conditional Access, security defaults, or per-user MFA. This guide will provide the recommended MFA option for your org, based on your licenses and existing configuration.

① Conditional Access policies detected, select **Manage** to edit the policies. Not what you're looking for? To configure MFA on a individual per-users level, select **Legacy per-user MFA**.

Manage

✔ Completed

3. 代理人アカウントおよびリソースアカウントのMFAを無効にします。



multi-factor authentication

users service settings

Note: only users licensed to use Microsoft Online Services are eligible for Multi-Factor Authentication. Learn more about how to license. Before you begin, take a look at the multi-factor auth deployment guide.

bulk update

View: Sign-in allowed users Multi-Factor Auth status: Any

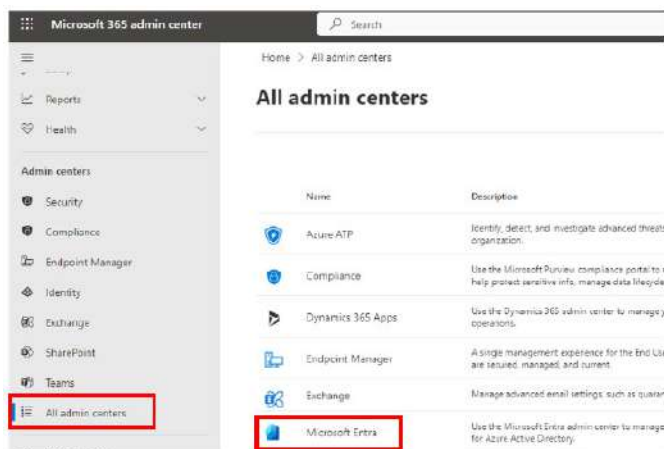
DISPLAY NAME	USER NAME	MULTI-FACTOR AUTH STATUS
BE-Room	BE-Room@rbspm.onmicrosoft.com	Disabled
BE-User	BE-User@rbspm.onmicrosoft.com	Disabled
book room	bookroom@rbspm.onmicrosoft.com	Disabled
dema_uk	dema_uk@rbspm.onmicrosoft.com	Disabled
FAE Meeting Room	fae@rbspm.onmicrosoft.com	Disabled
FR-User	FR-User@rbspm.onmicrosoft.com	Disabled
ID-Room1	ID-Room1@rbspm.onmicrosoft.com	Disabled

Microsoft Entraの設定(アカウント認証情報を使用する場合)

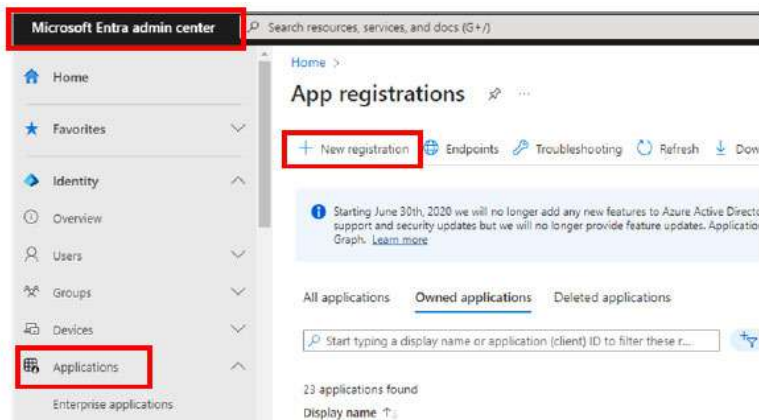
アプリの登録

ATEN会議室予約システム用アプリケーションIDを取得する手順:

1. Microsoft 365管理センターの[すべての管理センター]から[Microsoft Entra]を選択します。



2. [Microsoft Entra 管理センター]>[アプリケーション]>[アプリの登録]へ移動し、[新規登録]をクリックします。



3. 任意の名前を入力し、「サポートされているアカウントの種類」で「この組織

ディレクトリー内のアカウントのみ」を選択して[登録]をクリックします。

Register an application ...

* Name
The user-facing display name for this application (this can be changed later).

RBS_APP ✓

Supported account types
Who can use this application or access this API?

Accounts in this organizational directory only (rbspm only - Single tenant)

Accounts in any organizational directory (Any Azure AD directory - Multitenant)

Accounts in any organizational directory (Any Azure AD directory - Multitenant) and personal Microsoft accounts (e.g. Skype, Xbox)

Personal Microsoft accounts only

[Help me choose...](#)

By proceeding, you agree to the Microsoft Platform Policies ☑

Register

- 登録後、表示されたアプリケーションIDを控えます(後ほどATEN RBSコンフィグレーターで使用します)。

^ Essentials

Display name
RBS_APP

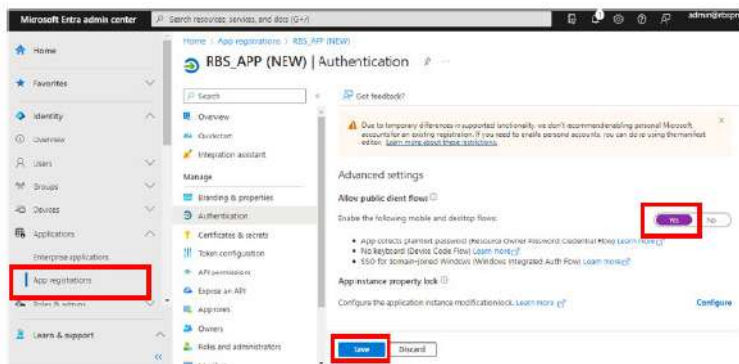
Application (client) ID
01051040-4d76-4030-9e7b-d15d25f07500

Object ID
d0d70b35-6fbc-4b64-8a2e-dd494d50e557

Directory (tenant) ID
71e11b53-4063-4d3e-89c1-c2029f0d751f

Supported account types
My organization only

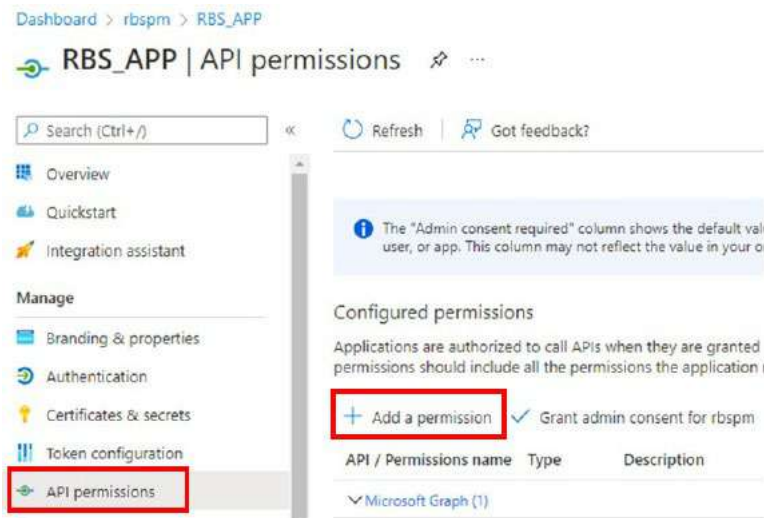
- [認証]画面で「パブリッククライアントフローを許可する」を[はい]に設定し、[保存]をクリックします。



API権限の追加

アプリ登録後、次の手順でAPI権限を追加します：


1. [APIのアクセス許可]>[アクセス許可の追加]>[Microsoft Graph]>[委任されたアクセス許可]を選択します。



Select an API

Microsoft APIs APIs my organization uses My APIs

Commonly used Microsoft APIs

 **Microsoft Graph**

Take advantage of the tremendous amount of data in Office 365, Enterprise Mobility + Security, and Windows 10. Access Azure AD, Excel, Intune, Outlook/Exchange, OneDrive, OneNote, SharePoint, Planner, and more through a single endpoint.

Request API permissions

< All APIs

 Microsoft Graph
<https://graph.microsoft.com/> Docs 

What type of permissions does your application require?

Delegated permissions

Your application needs to access the API as the signed-in user.

Application permissions

Your application runs as a background service or daemon without a signed-in user.

2. 次の7つの権限を選択してください。

◆ カレンダーに関する権限(4つ)

- Calendars.Read
- Calendars.Read.Shared
- Calendars.ReadWrite
- Calendars.ReadWrite. Shared

◆ 場所に関する権限(1つ)

- Place.Read.All

◆ ユーザーに関する権限(2つ)

- User.Read
- User.Read.All

3. 権限を選択し、「権限を追加」をクリックしてします。

Request API permissions

Delegated permissions
Your application needs to access the API as the signed-in user.

Application permissions
Your application runs as a background service or daemon without a signed-in user.

Select permissions: collapse all

calendar

Permission	Admin consent required
Calendars.Read (i)	Yes
Calendars.ReadBasic.All (i)	Yes
Calendars.ReadWrite (i)	Yes

Add permissions Discard

4. [管理者権限を付与]をクリックし、確認画面で[はい]をクリックして設定を完了します。

+ Add a permission: Grant admin consent for rbspm

API / Permissions na...	Type	Description	Admin consent req...	Status
Calendars.Read	Delegated	Read user calendars	No	Granted for rbspm
Calendars.Read.Sha	Delegated	Read user and shared calendars	No	Granted for rbspm

Grant admin consent confirmation.

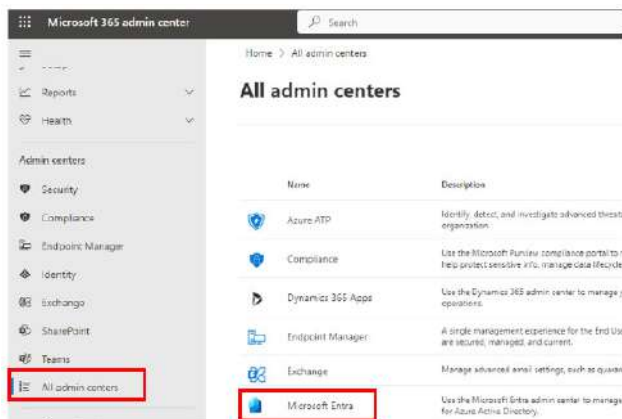
Do you want to grant consent for the requested permissions for all accounts in aten3562? This will update any existing admin consent records this below.

Microsoft Entraの設定(クライアントシークレットキーを使用する場合)

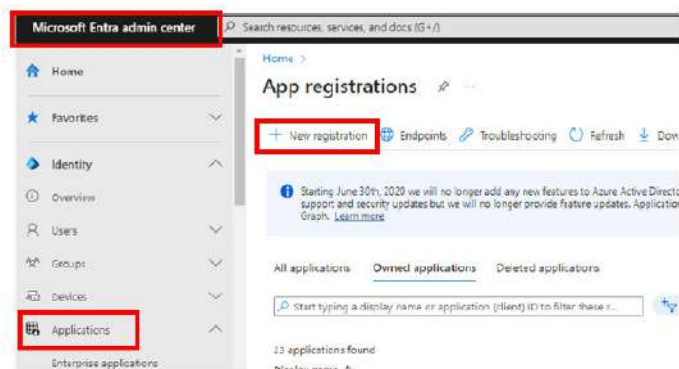
アプリの登録

ATEN会議室予約システム用アプリケーションID取得手順:

1. Microsoft 365管理センターの[すべての管理センター]から[Microsoft Entra]を選択します。



2. [Microsoft Entra 管理センター]>[アプリケーション]>[アプリの登録]で[新規登録]をクリックします。



3. 任意の名前を入力し、「サポートされているアカウントの種類」を「この組織ディレクトリー内のアカウントのみ」とし、[登録]をクリックします。

Register an application

Name

The user-facing display name for this application (this can be changed later).

RBS_APP

Supported account types

Who can use this application or access this API?

Accounts in this organizational directory only (Recommended - Single tenant)

Accounts in any organizational directory (Any Azure AD directory - Multitenant)

Personal Microsoft accounts only

Help me choose...

By proceeding, you agree to the Microsoft Platform Policies

Register

4. 登録後、表示される「アプリケーション(クライアント)ID」と「ディレクトリー(テナント)ID」を控えます(後ほどATEN RBSコンフィグレーターで使用します)。

Essentials

Display name

RBS_APP

Application (client) ID

010510e0-4076-4030-9e7d-015025f0f7500

Object ID

d3d70b35-6fbc-4b64-9e2e-dd494d50e557

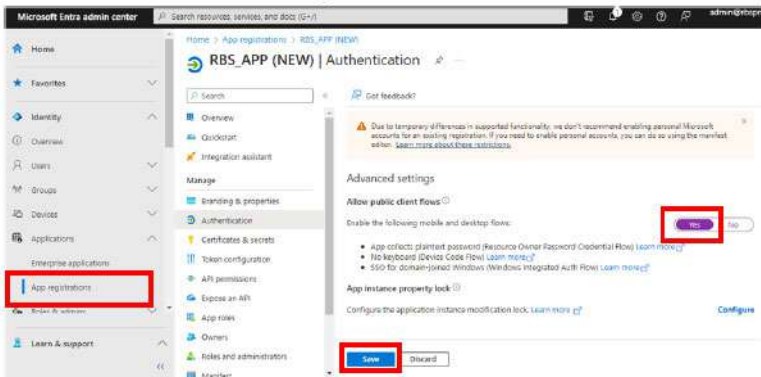
Directory (tenant) ID

71e11250-4285-442e-89cf-c2229f0d7721f

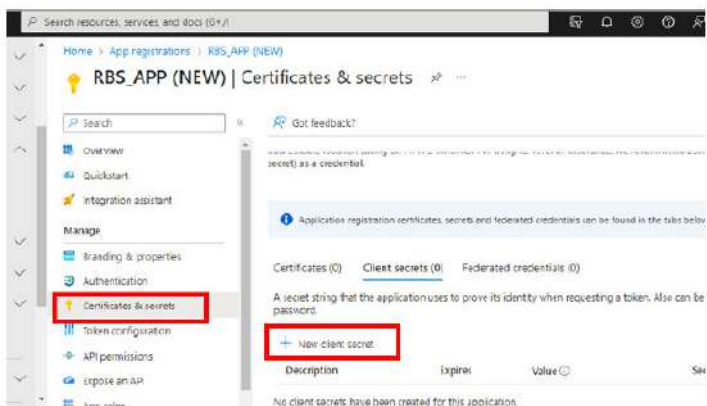
Supported account types

My organization only

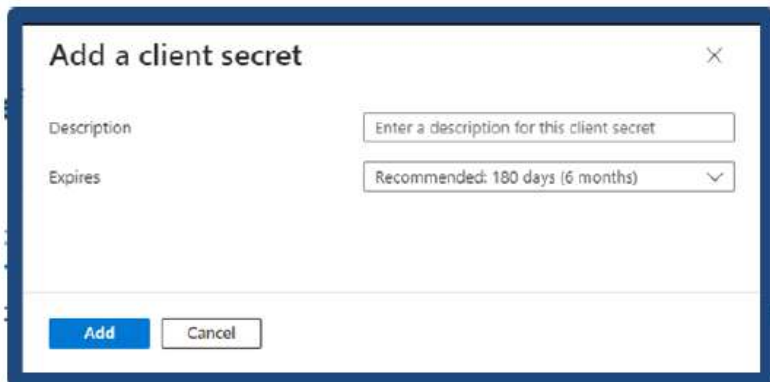
5. [認証]で「パブリッククライアントフローを許可する」を[はい]に設定し、[保存]をクリックします。



6. [証明書とシークレット]から[新しいクライアントシークレット]をクリックします。



- 表示されたダイアログでシークレットの「説明」と「有効期限」を入力し、[追加]をクリックします。



The image shows a dialog box titled "Add a client secret". It has a close button (X) in the top right corner. There are two input fields: "Description" with a placeholder text "Enter a description for this client secret" and "Expires" with a dropdown menu showing "Recommended: 180 days (6 months)". At the bottom, there are two buttons: "Add" (highlighted in blue) and "Cancel".

注意:

クライアントシークレットの期限が切れた場合、新しいシークレットを作成し、更新プロファイルをRBSコンフィグレーターにアップロードしてください。

- 作成されたクライアントシークレットを必ずコピーして保存します。

重要:

このキーは別の画面に移動すると確認できなくなるため、この時点で必ず保存してください。

Search resources, services, and docs (G+)

Home > App registrations > RBS_APP (NEW)

RBS_APP (NEW) | Certificates & secrets

Search

Get feedback?

secret) as a credential.

Application registration certificates, secrets and federated credentials can be found in the tabs below.

Certificates (0) **Client secrets (1)** Federated credentials (0)

A secret string that the application uses to prove its identity when requesting a token. Also can be used as a password.

+ New client secret

Description	Expires	Value
RBS_secret code	7/27/2024	86q8Q-PIRt15oKpYRS.a982...

API権限の追加

次の手順でAPI権限を設定します:

1. [APIのアクセス許可]>[アクセス許可の追加]>[Microsoft Graph]>[委任されたアクセス許可]を選択します。

Dashboard > rbspm > RBS_APP

RBS_APP | API permissions

Search (Ctrl+/) Refresh Got feedback?

Overview
Quickstart
Integration assistant

Manage

- Branding & properties
- Authentication
- Certificates & secrets
- Token configuration
- API permissions**

The "Admin consent required" column shows the default value user, or app. This column may not reflect the value in your app.

Configured permissions

Applications are authorized to call APIs when they are granted permissions should include all the permissions the application is authorized to call.

+ Add a permission ✓ Grant admin consent for rbspm

API / Permissions name	Type	Description
Microsoft Graph (1)		

Select an API

Microsoft APIs APIs my organization uses My APIs

Commonly used Microsoft APIs

Microsoft Graph
Take advantage of the tremendous amount of data in Office 365, Enterprise Mobility + Security, and Windows 10. Access Azure AD, Excel, Intune, Outlook/Exchange, OneDrive, OneNote, SharePoint, Planner, and more through a single endpoint.

Request API permissions

Microsoft Graph
<https://graph.microsoft.com/> Docs

What type of permissions does your application require?

Delegated permissions
Your application needs to access the API as the signed-in user.

Application permissions
Your application runs as a background service or daemon without a signed-in user.

2. 次の5つの権限を選択してください。

◆ カレンダーに関する権限(3つ)

- Calendars.Read
- Calendars.ReabBasic.All
- Calendars.ReadWrite

◆ 場所に関する権限(1つ)

- Place.Read.All

◆ ユーザーに関する権限(1つ)

- User.Read.All

権限選択後、[権限を追加]をクリックします。



最後に[管理者権限を付与]をクリックし、表示される画面で[はい]をクリックして完了します。

+ Add a permission Grant admin consent for rbaspni

API / Permissions na...	Type	Description	Admin consent req...	Status
Microsoft Graph (7)				
Calendars.Read	Delegated	Read user calendars	No	<input checked="" type="checkbox"/> Granted for rbaspni
Calendars.Read.Sha	Delegated	Read user and shared calendars	No	<input checked="" type="checkbox"/> Granted for rbaspni

Grant admin consent confirmation.

Do you want to grant consent for the requested permissions for all accounts in aten3562? This will update any existing admin consent records this below.

ATEN RBSコンフィグレーターにおけるMicrosoft 365の設定

アカウント設定

1. RBSコンフィグレーターで、[カレンダー設定]>[Microsoft 365]を開きます。

Microsoft 365
Specify the delegated account you created for the resource rooms.

Authentication Method: account credentials

Delegate Account: [Input Field]

Delegate Password: [Input Field]

Application ID: [Input Field]

Room Grouping: Disable

2. 認証方法を選択し、それぞれ以下の項目を入力します。

3. アカウント認証情報を使用する場合

- **代理人アカウント:** Microsoft 365のリソースに割り当てられた代理人の名前を入力。
- **代理人パスワード:** 代理人アカウントのパスワードを入力
- **アプリケーションID:** Microsoft Entraで登録したATEN RBSのアプリケーションIDを入力。

◆ クライアントシークレットキー

詳細は、p.62「アプリの登録」を参照。

- **アプリケーションID:** ATEN会議室予約システムのアプリケーションIDを入力。
- **テナントID:** Microsoft Entraで取得したテナント(ディレクトリー)IDを入力。
- **シークレットコード:** 作成したクライアントシークレットを入力

会議室のグルーピング設定

会議室グルーピングを設定すると、利用可能な会議室の表示を特定の範囲に絞り込めます

- a) RBSコンフィグレーターの[カレンダー設定]>[Microsoft 365]で、以下の表示オプションを選択します。
 - **無効:** 全ての利用可能な会議室を表示します。
 - **カレンダーサーバーの設定に基づいて表示する:** 同じ配布グループ内の会議室を表示します。
 - **Unizonデプロイツリーの設定に基づいて表示する:** 最後から3番目の階層(例: 建物)の利用可能な会議室を、最後から2番目の階層(例: フロア)ごとに表示します。



2. 「Unizonデプロイツリーの設定に基づいて表示」を選択する場合、Unizonで該当階層(2番目と3番目)に名称が設定されていることを確認します。
3. 「カレンダーサーバーの設定に基づいて表示」を選択する場合、以下の手順で配布グループを作成します。
 - a) PowerShellに接続します。
 - b) 配布グループを作成し、指定したコマンドで会議室をグループに割り当てます。

設定アクション	コマンド
新規配布グループを作成する	New-DistributionGroup roomlist -RoomList 注意: 「roomlist」は新規配布グループの名前の一例です。
配布グループを削除する	Remove-DistributionGroup "roomlist" 注意: 配布グループは、ダブルクォーテーションで囲んでください。また、ここで言う「roomlist」は、設定の一例です。

作成済み配布グループを確認する	Get-DistributionGroup
会議室を配布グループに配置する	Add-DistributionGroupMember -Identity "roomlist" -Member room account 注意: 「roomlist」および「room account」は、ターゲットとなる配布グループと会議室アカウントをそれぞれ表しています。
配布グループにある作成済みの会議室を確認する	Get-DistributionGroupMember -Identity "roomlist" 注意: 配布グループは、ダブルクォーテーションで囲んでください。また、ここで言う「roomlist」は、設定の一例です。

設定アクション	コマンド
配布グループから会議室アカウントを削除する	Remove-DistributionGroupMember -Identity "roomlist" -Member room account 注意: 「roomlist」および「room account」は、ターゲットとなる配布グループと会議室アカウントをそれぞれ表しています。

- c) 各会議室に対して、フロア情報を追加してください。

設定アクション	コマンド
会議室に対して、フロア情報を追加する	Set-Place room account -Floor x -FloorLabel "characters and numbers" 注意: フロアラベルは、ダブルクォーテーションで囲んでください。また、「characters and numbers」は、設定の一例です。
フロア情報を確認する	Get-Place room account FL

注意:

カレンダーサーバーに変更が反映されるまでに最大で24時間かかる場合があります。

Microsoft Exchange Server

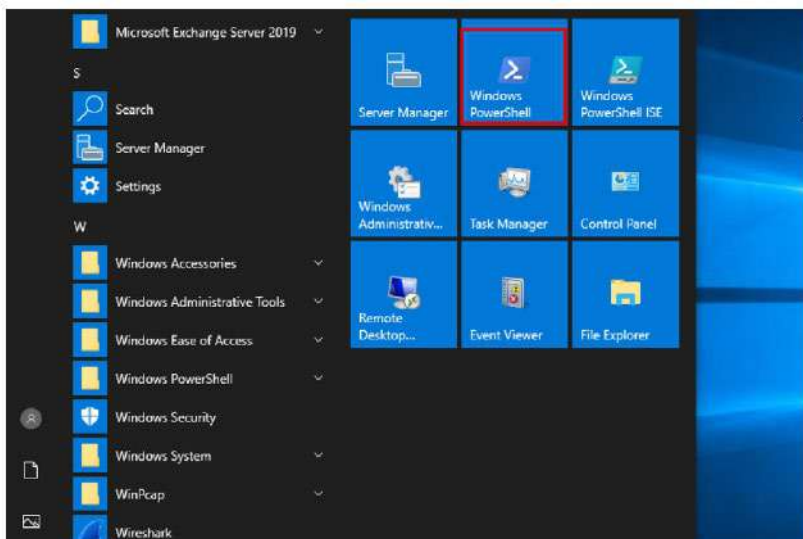
セットアップの概要

Microsoft Exchange Serverを使用してATEN会議室予約システムを管理するには、次のセットアップ作業を完了させてください。

番号	Microsoft Exchange Server	
	2013 / 2016 / 2019	2010
1	Microsoft Exchange Serverのバージョンを確認する(p.76参照)。	
2	ホスト名を探す(p.77参照)。	ホスト名を探す(p.91参照)。
3	会議室メールボックスを作成する(p.80参照)。	会議室メールボックスを作成する(p.94参照)。
4	会議室メールボックスを配布グループに追加する(p.82参照)。	会議室メールボックスを配布グループに追加する(p.96参照)。
5	認証方法を決定し、必要な設定を完了させる(p.86参照)。	認証方法を決定し、必要な設定を完了させる(p.99参照)。
6	認証にアカウント情報を使用する場合は、代理人メールボックスを作成する(p.87参照)。	認証にアカウント情報を使用する場合は、代理人メールボックスを作成する(p.100参照)。
7	<ul style="list-style-type: none">◆ 認証にアカウント情報を使用する場合は、会議室のパスワードをリセットする(p.88参照)。◆ アカウント権限を偽装するには、偽装権限を設定する(p.89参照)。	<ul style="list-style-type: none">◆ 認証にアカウント情報を使用する場合は、会議室のパスワードをリセットする(p.102参照)。◆ アカウント権限を偽装するには、偽装権限を設定する(p.104参照)。
8	ATEN RBSコンフィグレーターでアカウント設定と会議室のグルーピングを行う(p.106参照)。	

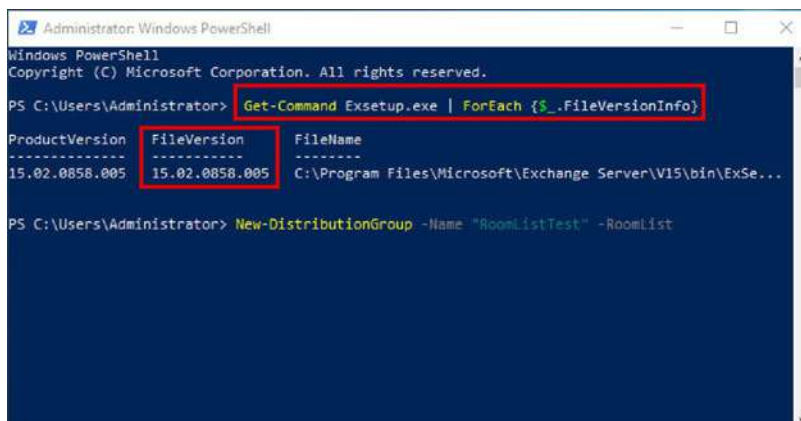
Microsoft Exchange Serverのバージョン確認

1. スタートメニューから「Windows PowerShell」を開いてください。



2. 以下のコマンドを入力して、返された「FileVersion」の番号を確認してください。

Get-Command Exsetup.exe | ForEach {\$_.FileVersionInfo}

A screenshot of a Windows PowerShell terminal window titled 'Administrator: Windows PowerShell'. The terminal shows the command `Get-Command Exsetup.exe | ForEach {$_.FileVersionInfo}` being executed. The output is a table with three columns: ProductVersion, FileVersion, and FileName. The 'FileVersion' column contains the value '15.02.0858.005', which is highlighted with a red box. Below the table, another command `New-DistributionGroup -Name "RoomListTest" -RoomList` is visible.

```
Administrator: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Users\Administrator> Get-Command Exsetup.exe | ForEach {$_.FileVersionInfo}

ProductVersion  FileVersion  FileName
-----
15.02.0858.005  15.02.0858.005  C:\Program Files\Microsoft\Exchange Server\V15\bin\ExSe...

PS C:\Users\Administrator> New-DistributionGroup -Name "RoomListTest" -RoomList
```

出力の「FileVersion」に関連付けられた番号(図の「15.02.0858.005」など)

は、Microsoft Exchange Serverのビルドバージョンです。お使いのコンピューターにインストールされているMicrosoft Exchangeのバージョンが、下表のどのビルド番号に該当するか確認してください。

Microsoft Exchangeのバージョン	ビルド番号
2010	14.03.xxxx.xxx
2013	15.00.xxxx.xxx
2016	15.01.xxxx.xxx
2019	15.02.xxxx.xxx

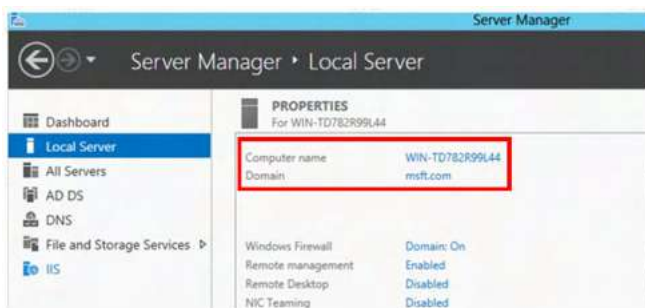
Microsoft Exchange 2013/2016/2019

会議室予約システムを管理するため、次の手順でMicrosoft Exchange 2013/2016/2019を設定してください。

ホスト名の確認

◆ コンピューター名と証明書名が同じ場合

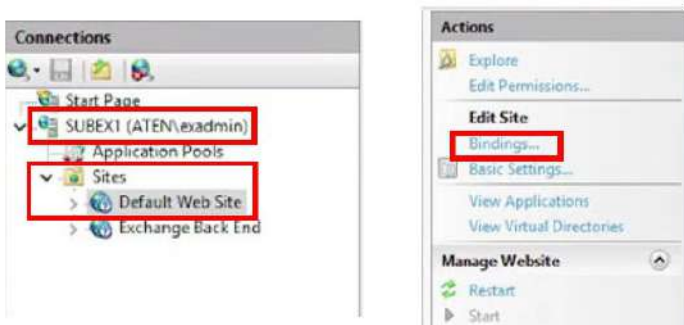
- (1) サーバーマネージャーで[ローカルサーバー]>[プロパティ]を開き、ホスト名とドメインを確認して記録します(RBSコンフィグレーターで使用)。



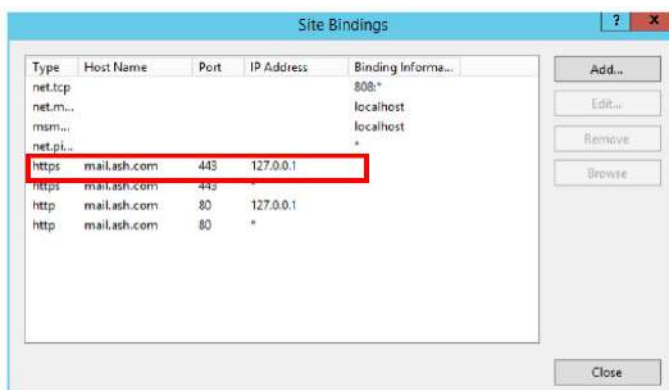
- (2) Windows PowerShellで「ipconfig」を実行し、Exchange ServerのIPアドレスを確認して記録します(VK430の静的IPアドレス設定に使用)。

◆ コンピューター名と証明書名が異なる場合

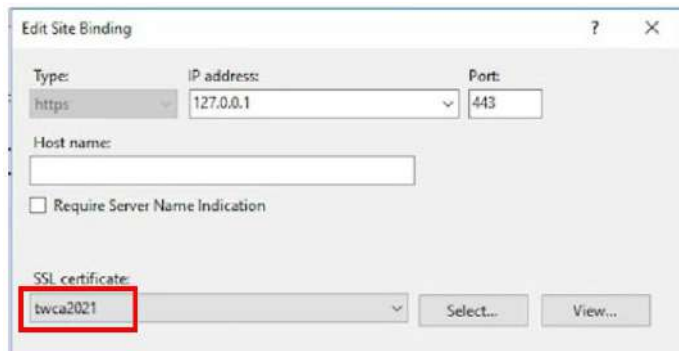
- (1) サーバーマネージャーで[ツール]>[インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー]を開きます。
- (2) [接続]パネルでコンピューター名とデフォルトウェブサイトを選択し、[バインド]をクリックします。



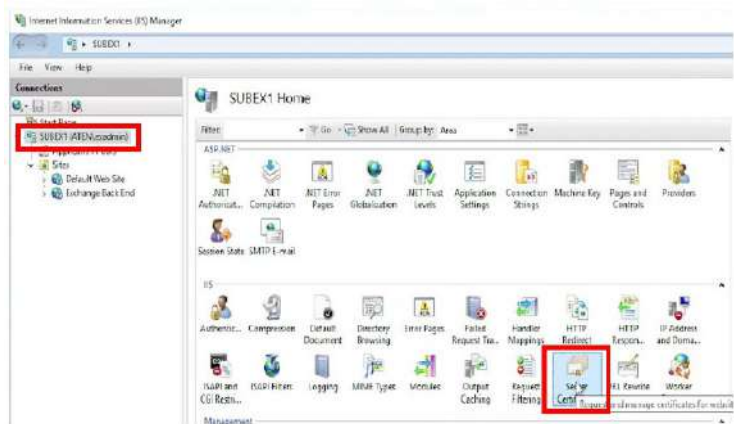
- (3) 「https 443」の行をダブルクリックしてSSL証明書名を確認します。



この例では、SSL証明書は「twca2021」です。



- (4) 「インターネットインフォメーションサービス」画面で、「接続」パネルからコンピューター名をクリックしたら、「サーバーの証明書」をダブルクリックしてください。



全てのホスト名は「発行先」列に一覧表示されます。この例では、「twca2021」のホスト名は「mail.aten.com」です。

Name	Issued To	Issued By	Expiration Date	Certificate Has
ATEN	*.aten.com	TWCA Secure SSL Certificatio...	6/24/2022 11:59:59...	4443C679F740
ATTEND022	*.aten.com	TWCA Secure SSL Certificatio...	6/24/2022 11:59:59...	A3C09683D06F
Microsoft Exchange	SubEX1	SubEX1	11/17/2025 9:49:03...	060AF796A009
Microsoft Exchange 2022	mail.aten.com	mail.aten.com	6/1/2027 2:24:22 PM	B213478EC8E2
Microsoft Exchange Server Au...	mail.aten.com	Microsoft Exchange Server Au...	10/22/2025 9:51:52...	48391CA90E1F
twca2021	mail.aten.com	TWCA Secure SSL Certificatio...	11/19/2022 11:59:5...	889ADA35966F
WMSVC-SHA2	WMSVC-SHA2-SUBEX1	WMSVC-SHA2-SUBEX1	11/15/2030 7:48:25...	0F06871659AA

- (5) 後で、RBSコンフィグレーターでカレンダーサーバーの設定時に使用できるよう、ホスト名を記録しておいてください。

会議室メールボックスの作成

1. EACの[受信者]>[リソース]で「+」をクリックして会議室を作成します。

new room mailbox

A room mailbox is a resource mailbox that's assigned to a physical location. Users can easily reserve rooms by including room mailboxes in meeting requests. Just select the room mailbox from the list and edit properties, such as booking requests or mailbox delegation. [Learn more](#)

*Room name:

*Alias:

Organizational unit:
 X

Location:

Phone:

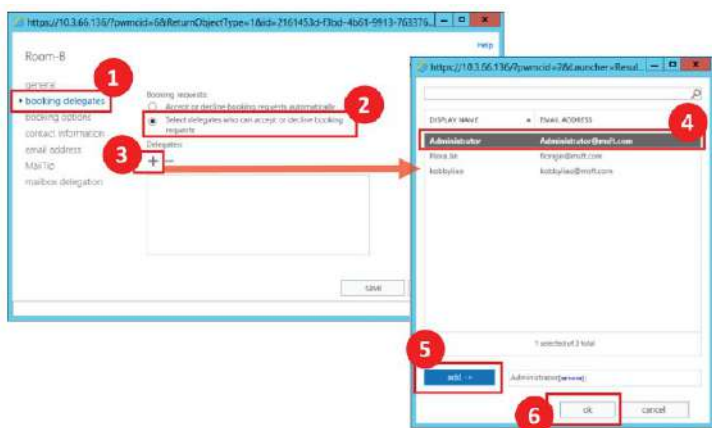
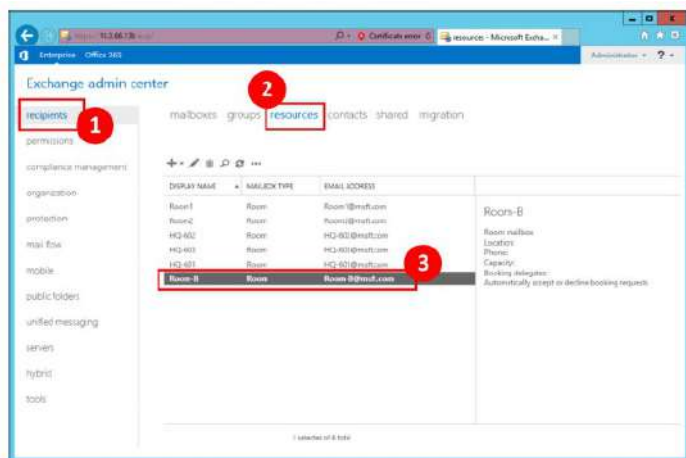
Capacity:

Mailbox database:
 X

Address book policy:

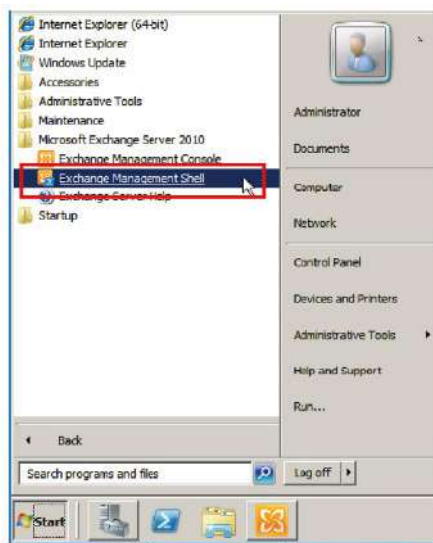
75%

2. 会議室名とエイリアスを入力し、[保存]をクリックします。
3. 作成した会議室をダブルクリックし、代理人を追加します。
4. 追加する代理人を選択し、[追加]→[OK]をクリックして完了します。



会議室一覧(配布グループ)の作成と管理

1. Exchange管理シェルを起動します。



2. 以下のコマンドを使用して、新規会議室一覧を作成してください(配布グループ)。

New-DistributionGroup -Name "ROOM LIST" -RoomList

```
Machine: WIN-IH095Q13L03.mft.com
Only Exchange cmdlets: get-exchcommand
Cmdlets for a specific role: get-help -role <Mailbox* or *Mailbox*
Get general help: help
Get help for a cmdlet: help <cmdlet-name> or <cmdlet-name> -?
Show quick reference guide: quickref
Exchange team blog: get-exblog
Show full output for a cmd: <cmd> | format-list

Tip of the day #46:
Want to control the properties of e-mail messages sent to a specific domain? Use
the RemoteDomain cmdlets. Create a new remote domain by using the New-RemoteDom
ain cmdlet. Type:

New-RemoteDomain -Name "Contoso.com Configuration" -DomainName contoso.com

Then modify the properties that you want for this remote domain by using the Set
-RemoteDomain cmdlet:

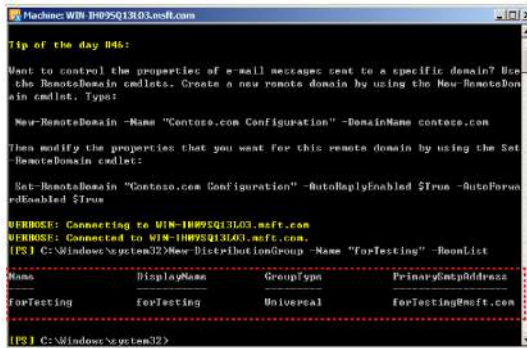
Set-RemoteDomain "Contoso.com Configuration" -AutoReplyEnabled $True -AutoForma
rdEnabled $True

VERBOSE: Connecting to WIN-IH095Q13L03.mft.com
VERBOSE: Connected to WIN-IH095Q13L03.mft.com.
[PS1] C:\Windows\system32>New-DistributionGroup -Name "forTesting" -RoomList
```

注意:

- ◆ コマンドにおける「ROOM LIST」は、作成する会議室一覧の名前です(例:図における「forTesting」)。
- ◆ 会議室一覧は、VK430において会議室サジェスト機能を使って利用可能な会議室を検索する際のフィルターとして使うこともできます。すなわち、同一の会議室一覧(配布グループ)にある部屋だけを会議室予約システムによるサジェストの候補として表示させることができます。セットアップに関する詳細は、p.71「会議室のグルーピング設定」を参照してください。

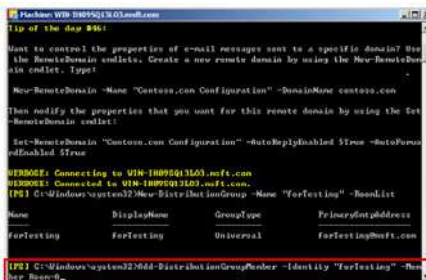
これで、会議室一覧(配布グループ)が正常に作成されました。



```
Machine:WIN-1H95Q13L03.nsoft.com
Tip of the day #45:
Want to control the properties of e-mail messages sent to a specific domain? Use the RemoteDomain cmdlets. Create a new remote domain by using the New-RemoteDomain cmdlet. Type:
New-RemoteDomain -Name "Contoso.com Configuration" -DomainName contoso.com
Then modify the properties that you want for this remote domain by using the Set-RemoteDomain cmdlet:
Set-RemoteDomain "Contoso.com Configuration" -AutoReplyEnabled $True -AutoForwardEnabled $True
VERBOSE: Connecting to WIN-1H95Q13L03.nsoft.com
VERBOSE: Connected to WIN-1H95Q13L03.nsoft.com.
[PS] C:\Windows\system32>New-DistributionGroup -Name "forTesting" -RoomList
Name      DisplayName      GroupType      PrimarySMTPAddress
-----
forTesting forTesting       Universal      forTesting@nsoft.com
[PS] C:\Windows\system32>
```

3. 次のコマンドを入力して、会議室メールボックスを会議室リストに追加してください。

Add-DistributionGroupMember -Identity "ROOM LIST" -Member ROOM ACCOUNT



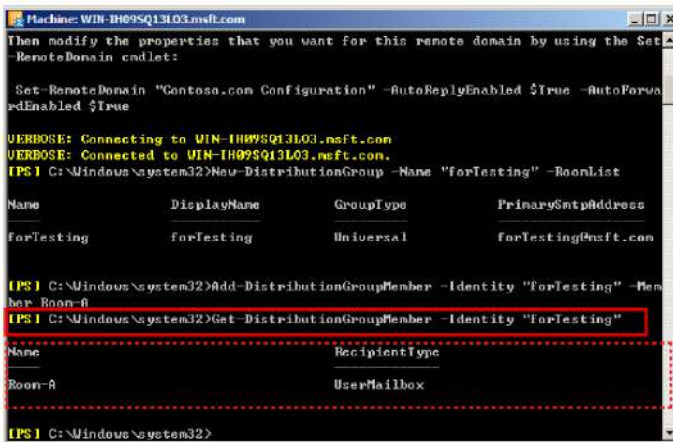
```
Machine:WIN-1H95Q13L03.nsoft.com
Tip of the day #46:
Want to control the properties of e-mail messages sent to a specific domain? Use the RemoteDomain cmdlets. Create a new remote domain by using the New-RemoteDomain cmdlet. Type:
New-RemoteDomain -Name "Contoso.com Configuration" -DomainName contoso.com
Then modify the properties that you want for this remote domain by using the Set-RemoteDomain cmdlet:
Set-RemoteDomain "Contoso.com Configuration" -AutoReplyEnabled $True -AutoForwardEnabled $True
VERBOSE: Connecting to WIN-1H95Q13L03.nsoft.com
VERBOSE: Connected to WIN-1H95Q13L03.nsoft.com.
[PS] C:\Windows\system32>New-DistributionGroup -Name "forTesting" -RoomList
Name      DisplayName      GroupType      PrimarySMTPAddress
-----
forTesting forTesting       Universal      forTesting@nsoft.com
[PS] C:\Windows\system32>Add-DistributionGroupMember -Identity "forTesting" -Member Room-A
```

注意:

- ◆ ここで言う「Member ROOM ACCOUNT」は、追加する会議室メールボックスの名前を示します(例:上図の「Room-A」など)。
 - ◆ 会議室一覧にメールボックスをさらに追加するには、手順4を繰り返してください。
 - ◆ 各会議室一覧には最大100部屋まで含めることができます。
-

4. 会議室メールボックスが正しく作成されたかどうかを確認するには、以下のコマンドを入力して、返ってきた会議室一覧メンバーを確認してください。

Get-DistributionGroupMember -Identity "ROOM LIST"



```
Machine: WIN-IH09S013L03.msft.com
Then modify the properties that you want for this remote domain by using the Set-RemoteDomain cmdlet:

Set-RemoteDomain "Contoso.com Configuration" -AutoReplyEnabled $True -AutoForwardEnabled $True

VERBOSE: Connecting to WIN-IH09S013L03.msft.com
VERBOSE: Connected to WIN-IH09S013L03.msft.com.
[PS I C:\Windows\system32]New-DistributionGroup -Name "forTesting" -RoomList

Name                DisplayName          GroupType            PrimarySmtAddress
-----                -
forTesting           forTesting           Universal            forTesting@msft.com

[PS I C:\Windows\system32]Add-DistributionGroupMember -Identity "forTesting" -Member Room-A
[PS I C:\Windows\system32]Get-DistributionGroupMember -Identity "forTesting"

Name                RecipientType
-----                -
Room-A              UserMailbox

[PS I C:\Windows\system32]
```

現在の設定は、次のコマンドを使って確認することができます。

- ◆ 作成済みのグループを確認する。

Get-DistributionGroup

例えば、次のような一覧が表示されます。



```
PS C:\Users\trifanyang> Get-DistributionGroup

Name                DisplayName          GroupType            PrimarySmtAddress
-----                -
-NameTW-Room List  -NameTW-Room List  Universal            -NameTW-RoomList@rbspn.onmicrosoft.com
-NameTW-RoomList   -NameTW-RoomList   Universal            -NameTW-RoomList@rbspn.onmicrosoft.com
TW-Room20230705040127 TW-Room             Universal            TW-Room@rbspn.onmicrosoft.com
TW-RoomList        TW-RoomList         Universal            TW-RoomList@rbspn.onmicrosoft.com
```

- ◆ 特定の配布グループを削除する。

Remove-DistributionGroup “Meeting Rooms”

[Y]を押すと、変更を確定します。そうすると、「Meeting Rooms」で指定した名前の配布グループが削除されます。

- ◆ 配布グループにある全ての会議室を確認する。

Get-DistributionGroupMemeber -Identity “TW-RoomList”

例：

```
PS C:\Users\tiffanywang> Get-DistributionGroupMember -Identity "TW-RoomList"
Name      RecipientType
-----
TW-Room1  UserMailbox
TW-Room3  UserMailbox
TW-Room2  UserMailbox
```

「TW-RoomList」という名前の配布グループにおける会議室が一覧表示されます。

- ◆ 特定の会議室アカウントを配布グループから削除する。

Remove-DistributionGroupMembr -Identity “distributiongroup”

-Member Room account

[Y]を押すと、変更を確定します。そうすると、「Room account」で指定した名前の会議室が削除されます。

認証方法の決定

カレンダーサーバーの認証方法のうち、アカウントの認証情報を使うか、代理人のアカウント権限を偽装するかを決定してください。2つの方法のメリットとデメリットを比較するには、次の表をご覧ください。

	アカウント認証情報を使用する場合	代理人のアカウント権限を偽装する場合
メリット	異なるリソースアカウントに対して、異なる代理人を柔軟に設定できる。	<ul style="list-style-type: none">◆ リソースアカウントのパスワードを入力する必要がない。◆ さまざまなネットワーク環境に柔軟に対応できる。
デメリット	各会議室に対してリソースアカウントのパスワードが必要になる。	VK430に対する同時接続数が限られる。

代理人メールボックスの作成

認証にアカウント情報を使用するには、以下の手順に従って代理人メールボックスを作成してください。

1. Exchange 管理センター (EAC)に管理者のアカウント情報でログインしてください。EACにアクセスするには、次のURL形式を使用することができます。

`https://<お使いのExchange ServerのIPアドレス>/ecp`

`https://<お使いのExchange Serverのホスト名>/ecp`

2. 「受信者」>「リソース」に移動したら、「+」をクリックしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

The screenshot shows a web browser window titled "User Mailbox - Google Chrome" with the URL "mail.ten.com/ecp/Users/Groups/NewMailboxOnPremises.aspx?p...". The page content is "new user mailbox". The form includes the following fields and controls:

- Initials:
- Last name:
- *Display name:
- *Name:
- Organizational unit:
- *User login name:
- *New password:
- *Confirm password:
- Require password change on next logon
- Note options...

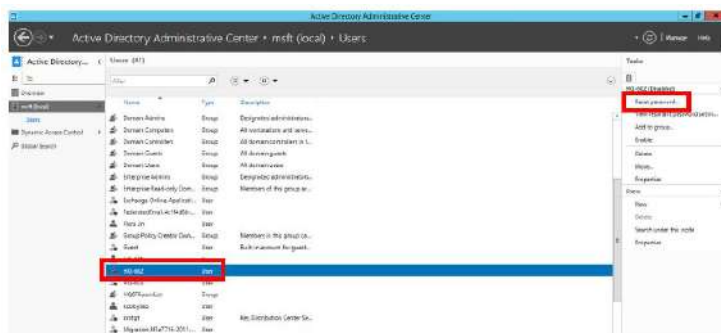
A tooltip box is positioned over the "Confirm password" field, containing the text: "Retype the password to verify that you typed it correctly."

3. 項目に入力して代理人メールボックスを作成してください。
4. 後で、RBSコンフィグレーターでカレンダーサーバーの設定時に使用できるよう、このメールボックスのアドレスとパスワードを記録しておいてください。

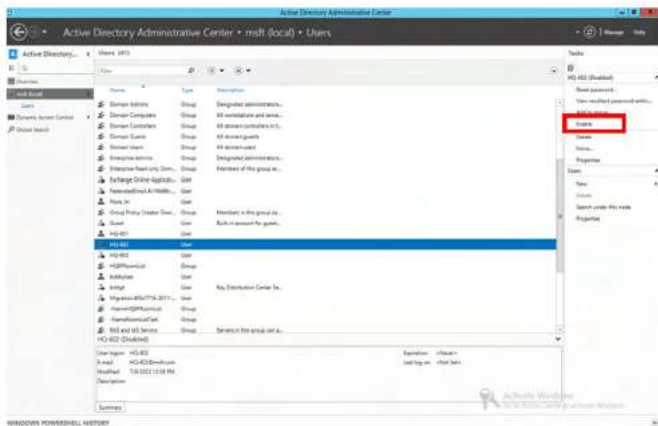
会議室のパスワードのリセット

認証にアカウント情報を使用する場合、以下の手順で会議室パスワードをリセットします(偽装権限を設定する場合はこの手順は不要です)。推奨手順については、p.89「偽装権限の設定」を参照してください。

1. サーバーマネージャーで、「ツール」>「Active Directory 管理センター」に進んでください。
2. 左側の[ユーザー]をクリックし、対象の会議室メールボックスを選択します。
3. [パスワードのリセット]をクリックし、画面の指示に従ってパスワードを設定します。



4. [有効]をクリックして設定を適用します。



偽装権限の設定

アカウント権限を偽装する場合は、以下の手順に従って操作を行ってください。認証にアカウント資格情報を使用することを選択した場合は、会議室のパスワードをリセットします。詳細については、p.86「認証方法の決定」を参照してください。

1. Exchange 管理シェルを起動してください。スタート画面とプログラムを開く方法は、OSのバージョンによって異なる場合があります。



2. 以下のコマンドを実行して管理スコープを作成してください。

注意:

リソースメールボックスの名前はダブルクォーテーションで囲んでください。また、「[ResourceMailboxes](#)」は、設定の一例です。

```
New-ManagementScope -Name "ResourceMailboxes" -
RecipientRestrictionFilter { RecipientTypeDetails -eq
"RoomMailbox" -or RecipientTypeDetails -eq
"EquipmentMailbox" }
```

3. 次のコマンドを実行して、偽装権限の設定を行ってください。

注意:

- ◆ リソースの偽名はダブルクォーテーションで囲んでください。また、「[ResourceImpersonation](#)」は、設定の一例です。
- ◆ 例における「[delegate@xxxx.com](#)」の部分は、ご自身で作成された代理人メールアドレスに適宜置き換えてください。

```
New-ManagementRoleAssignment -Name "ResourceImpersonation"
-Role ApplicationImpersonation -User delegate@xxxx.com -
CustomRecipientWriteScope "ResourceMailboxes"
```

4. 次のコマンドを実行して、偽装権限が正常に付与されているかどうかを確認してください。

```
Get-ManagementRoleAssignment -Role
"ApplicationImpersonation" -GetEffectiveUsers
```

「Role」の引数には「ApplicationImpersonation」を指定し、
「EffectiveUsername」の引数には代理アカウントの名前を指定する必要があります。

Microsoft Exchange 2010

ATEN会議室予約システムを管理するために、次の手順に従ってMicrosoft Exchange 2010の設定を行ってください。

ホスト名の確認

- ◆ コンピューター名と証明書名が同一の場合は、次のようにホスト名を検索してください。そうでない場合は、次の手順に進んでください。
- (1) サーバーマネージャーで、「ローカルサーバー」>「プロパティ」に進んでください。後で RBSコンフィグレーターでカレンダーサーバーを設定するときに使用できるように、ホスト名とドメインを記録しておいてください。



- (2) Windows PowerShell で、「ipconfig」コマンドを実行して、Exchange ServerのIPアドレスを検索してください。このIPアドレスは、RBSコンフィグレーターでVK430に静的IPアドレスを割り当てるときに必要なため、忘れずに記録しておいてください。

```
Administrator: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Users\Administrator> ipconfig

Windows IP Configuration

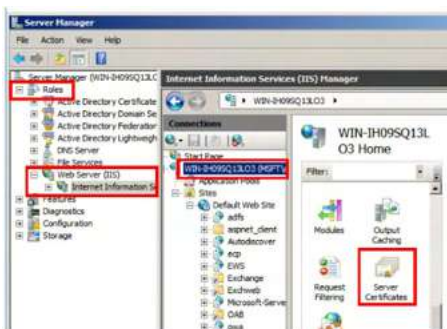
Ethernet adapter 区域接続:

Connection-specific DNS Suffix  . : atn.com
Link-local IPv6 Address . . . . . : fe80::919c:4b6:a159:f66a::11
IPv4 Address. . . . . : 10.3.66.114
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 10.3.66.254

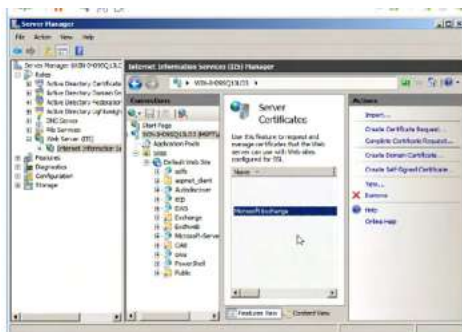
Tunnel adapter {satap.atn.com:
```

◆ コンピューター名と証明書名が異なる場合は、次のようにホスト名を検索してください。

- (1) サーバーマネージャーで、「ロール」>「ウェブサーバー(IIS)」>「インターネットインフォメーションサービス」>「コンピューター名」に進んだら、サーバー証明書をダブルクリックしてください。



- (2) ポップアップウィンドウで、「Microsoft Exchange」をダブルクリックしてください。



そうすると、下図のような画面が表示されます。ホスト名は、「発行

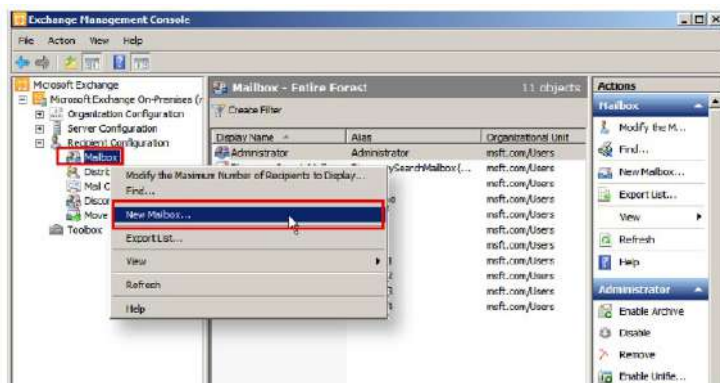
先」欄の下に記載されています。



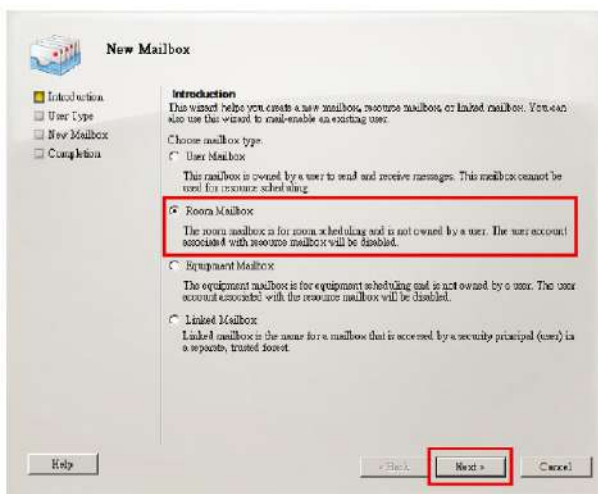
- (3) このホスト名は、RBSコンフィグレーターでカレンダーサーバーの設定に必要なため、忘れずに記録しておいてください。

会議室メールボックスの作成

1. Exchange管理コンソールで、「受信者の構成」>「メールボックス」に移動し、メールボックスを右クリックしてコンテキストメニューを開いたら、「メールボックスの新規作成...」オプションを選択してください。

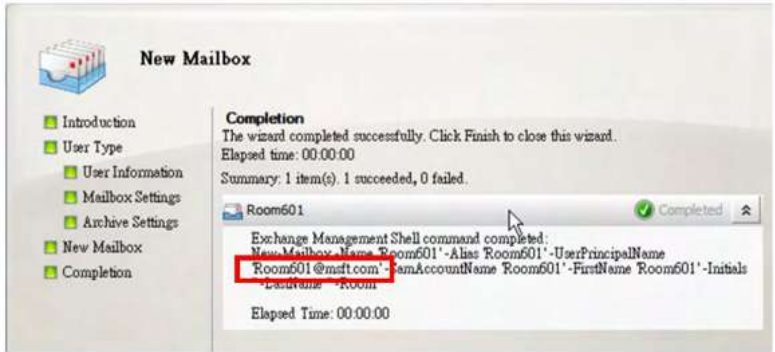


2. ポップアップウィンドウで、「会議室メールボックス」を選択したら、「次へ」をクリックしてください。



そうすると、下図のような画面が表示されます。後の設定で利用できるよ

う、このメールボックスのアドレスを記録しておいてください。



3. メールボックス一覧で、先ほど作成されたメールボックスを右クリックしたら、「プロパティ」をクリックしてください。
4. 「リソースポリシー」タブをクリックして、「+ 追加」をクリックしたら、画面内の指示に従って代理人を追加してください。
5. サーバーマネージャーで、「ロール」>「Active Directoryドメインサービス」>「Active Directory ユーザーとコンピューター」>「ドメイン」>「ユーザー」の順に移動してください。
6. 一覧表示されたユーザーから、会議室を参照して右クリックしたら、「アカウントを有効にする」を選択してください。
7. 作成されたメールボックスのアドレスとパスワードは、会議室予約システムのリソースアカウント情報です。後で、RBSコンフィグレーターにおいてVK430の設定に使用できるように、この情報を記録しておいてください。

会議室配布グループに対する会議室メールボックスの追加

1. スタートメニューからExchange管理シェルを起動してください。

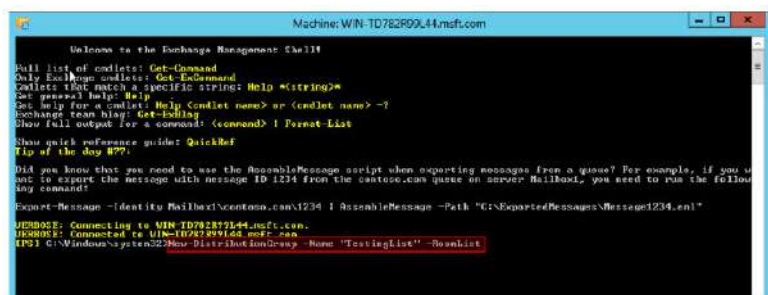


注意:

スタートメニューの外観はWindowsのバージョンによって異なります。

2. 以下のコマンドを使用して、新規配布グループを作成してください。

New-DistributionGroup -Name "ROOM LIST" -RoomList



注意:

- ◆ コマンドにおける「ROOM LIST」は、作成する会議室一覧の名前です。この名前はご自身で設定してください。
- ◆ 会議室一覧は、VK430において会議室サジェスト機能を使って


```
Machine: WIN-TD782R99L44.msft.com

[PS] C:\Windows\system32> Get-DistributionGroupMember -Identity "TestingList"
-----
Name                                     RecipientType
-----
Room-B                                   UserMailbox

[PS] C:\Windows\system32>
```

注意:

コマンドにおける「ROOM LIST」は、確認しようとしている会議室一覧の名前を示します。

現在の設定は、次のコマンドを使って確認することができます。

- ◆ 作成済みの配布グループを確認する。

Get-DistributionGroup

例えば、次のような一覧が表示されます。

```
PS C:\Users\tiffanywang> Get-DistributionGroup
-----
Name                DisplayName          GroupType PrimarySmtpAddress
-----
-NameTW-Room List  -NameTW-Room List  Universal -NameTW-RoomList@rbspm.onmicrosoft.com
-NameTW-RoomList   -NameTW-RoomList   Universal -NameTW-RoomList1@rbspm.onmicrosoft.com
TW-Room20230705040127 TW-Room             Universal TW-Room@rbspm.onmicrosoft.com
TW-RoomList        TW-RoomList         Universal TW-RoomList@rbspm.onmicrosoft.com
```

- ◆ 特定の配布グループを削除する。

Remove-DistributionGroup “Meeting Rooms”

[Y]を押すと、変更を確定します。そうすると、「Meeting Rooms」で指定した名前の配布グループが削除されます。

- ◆ 配布グループにある全ての会議室を確認する。

Get-DistributionGroupMemeber -Identity “TW-RoomList”

例:

```
PS C:\Users\tiffanywang> Get-DistributionGroupMember -Identity "TW-RoomList"
-----
Name      RecipientType
-----
TW-Room1  UserMailbox
TW-Room3  UserMailbox
TW-Room2  UserMailbox
```

「TW-RoomList」という名前の配布グループにおける会議室が一覧表示されます。

- ◆ 特定の会議室アカウントを配布グループから削除する。
Remove-DistributionGroupMember -Identity “distributiongroup”
-Member Room account
[Y]を押すと、変更を確定します。そうすると、「Room account」で指定した名前の会議室が削除されます。

5. 代理人に対して会議室の完全な権限を与えるには、以下のコマンドを入力してください。全ての会議室に対してこの手順を繰り返してください。

```
Add-MailboxPermission -accessRights FullAccess -Identity  
ROOM NAME -User DELEGATE
```


認証方法の決定

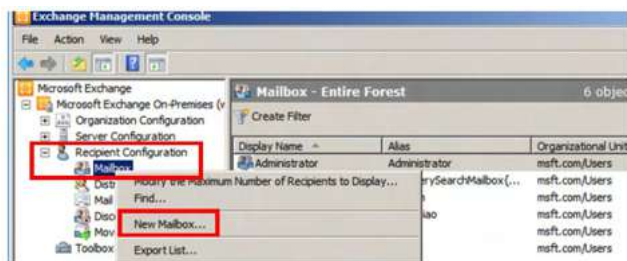
カレンダーサーバーの認証方法のうち、アカウントの認証情報を使うか、代理人のアカウント権限を偽装するかを決定してください。2つの方法のメリットとデメリットを比較するには、次の表をご覧ください。

	アカウント認証情報を使用する場合	代理人のアカウント権限を偽装する場合
メリット	異なるリソースアカウントに対して、異なる代理人を柔軟に設定できる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ リソースアカウントのパスワードを入力する必要がない。 ◆ さまざまなネットワーク環境に柔軟に対応できる。
デメリット	各会議室に対してリソースアカウントのパスワードが必要になる。	VK430に対する同時接続数が限られる。

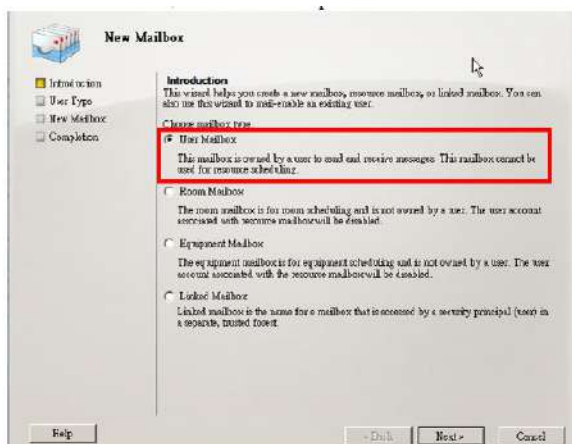
代理人メールボックスの作成

認証にアカウント情報を使用するには、以下の手順に従って代理人メールボックスを作成してください。

1. スタートメニューからExchange管理コンソール()を起動してください。
2. 「受信者の構成」でメールボックスを右クリックしたら、「メールボックスの新規作成...」オプションを選択してください。



3. 「ユーザーメールボックス」を選択したら、「次へ」をクリックして進んでください。



4. 「新しいメールボックス」ダイアログボックスで、以下に示すように情報を入力してください。

5. 後で、RBSコンフィグレーターでカレンダーサーバーの設定時に使用できるように、メールボックスアドレスとパスワードを記録しておいてください。

New Mailbox

- Introduction
- User Type
- User Information**
- Mailbox Settings
- Archive Settings
- New Mailbox
- Completion

User Information
Enter the user name and account information.

Specify the Organizational unit rather than using a default one:
[] [Show]

First name: [RESetup] Initial: [] Last name: []

Name:
[RESetup]

User logon name (User Principal Name):
[RESetup] [@msft.com]

User logon name (pre-Windows 2000):
[RESetup]

Password: [●●●●●●] **Confirm password:** [●●●●●●]

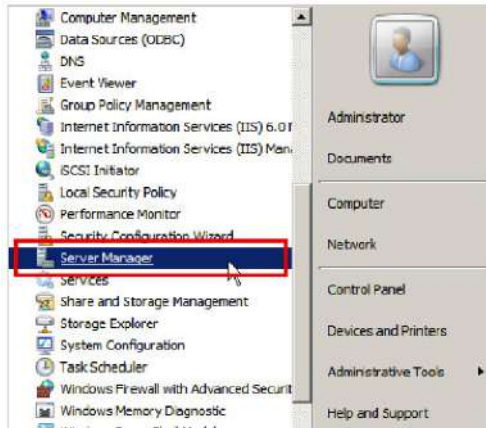
User must change password at next login

[Help] [< Back] [Next >] [Cancel]

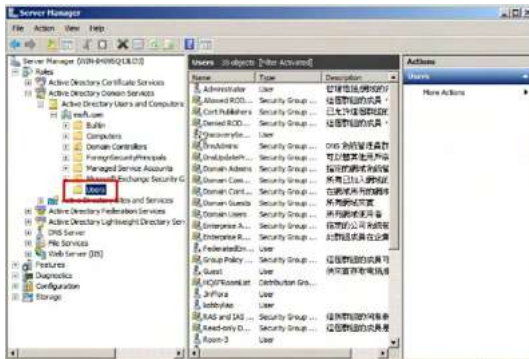
会議室メールボックスに対するパスワードの設定

認証にアカウント資格情報を使用する場合は、以下の手順に従って会議室メールボックスのパスワードを設定してください。アカウント権限を付与することを選択した場合は、この手順をスキップし、代わりに偽装権限の設定に進んでください。推奨手順については、p.104「偽装権限の設定」を参照してください。

1. スタートメニュー>「すべてのプログラム」>「管理ツール」>「サーバーマネージャー」の順に選択してください。

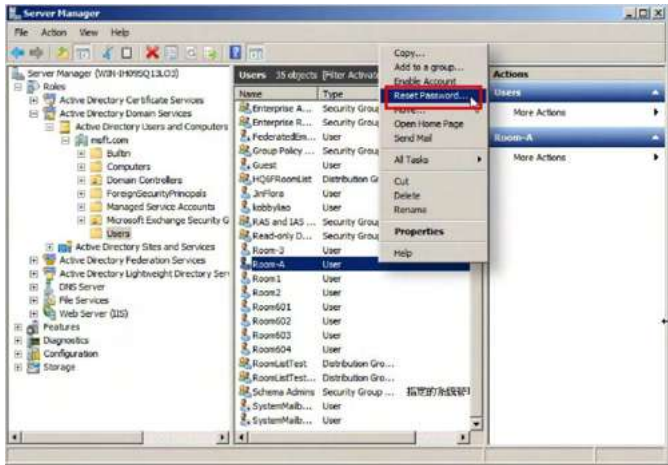


2. サーバーマネージャーで、「ロール」>「Active Directoryドメインサービス」>「Active Directory ユーザーとコンピューター」>「ドメイン」>「ユーザー」の順に移動してください。

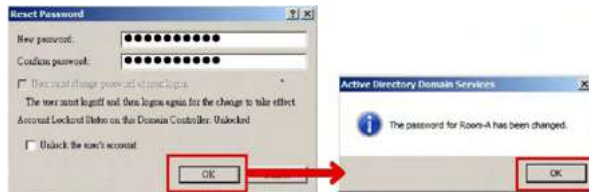


3. スクロールして先ほど作成した会議室メールボックスを探したら、そのメールボックスの上で右クリックしてコンテキストメニューを開き、「パスワード

の「リセット」オプションを選択してください。




4. 新しいパスワードを入力して確認し、「OK」をクリックしてリセットしてください。



注意:

ATEN RBSコンフィグレーターのパネル管理の設定に使用する新しいパスワードを記録しておいてください。p.140「デバイス設定オプション」セクションの「カレンダーアカウント」の説明を参照してください。

偽装権限の設定

1. スタートメニューからExchange管理コンソール()を起動してください。

2. 以下のコマンドを実行して管理スコープを作成します。

```
New-ManagementScope -Name "ResourceMailboxes" -  
RecipientRestrictionFilter { RecipientTypeDetails -eq  
"RoomMailbox" -or RecipientTypeDetails -eq  
"EquipmentMailbox" }
```

注意:

リソースメールボックスの名前はダブルクォーテーションで囲んでください。また、「ResourceMailboxes」は、管理スコープの一例です。

3. 以下のコマンドを使用して、偽装権限を付与します。

```
New-ManagementRoleAssignment -Name  
"ResourceImpersonation" -Role ApplicationImpersonation -User  
delegate@xxxx.com -CustomRecipientWriteScope  
"ResourceMailboxes"
```

注意:

「ResourceImpersonation」は、管理ロール割り当ての一例です。

4. 次のコマンドを実行して、偽装権限が正常に付与されているかどうかを確認します。

```
Get-ManagementRoleAssignment -Role  
"ApplicationImpersonation" -GetEffectiveUsers
```

注意:

「Role」の引数には「ApplicationImpersonation」を指定し、「EffectiveUsername」の引数には代理アカウントの名前を指定する必要があります。

ATEN RBSコンフィグレーターにおけるMicrosoft Exchangeの設定

アカウントの設定

1. RBSコンフィグレーターで、「**カレンダー設定**」>「**Exchange**」に進んでください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

Exchange

Specify the delegated account you created for the resource rooms.

Authentication Method

Host Name

Delegate Account

Delegate Password

Domain

Room Grouping

2. 認証方法を選択してください。
3. 次の項目を設定してください。
 - ◆ **ホスト名**: 完全なコンピューター名またはお使いのExchange Serverのコンピューター名を入力します。サーバーマネージャーに表示されるコンピューター名を確認してください。
 - ◆ **代理人アカウント**: 作成した代理人メールボックスのアドレスを入力します。
 - ◆ **代理人パスワード**: 代理人のパスワードを入力します。
 - ◆ **ドメイン**: コンピューター名と証明書名が同じ場合は、サーバーマネージャーで確認できるドメインを入力します。コンピューター名と

証明書名が異なる場合 (Microsoft Exchange 2013、2016、2019 の場合)、または Exchange Serverのバージョンが2010である場合は、この欄を空白のままにします。

会議室のグルーピング機能のセットアップ

配布グループまたはドメインの範囲内にある会議室だけを表示することで利用可能な会議室一覧 (VK430の会議室サジェスト機能をタップすることで表示) の絞り込みを行うには、この機能を有効にします。

1. 会議室のグルーピング機能のオプションを選択してください。
 - a) RBSコンフィグレーターで、「**カレンダー設定**」>「**Exchange**」に進んでください。
 - b) 「**カレンダーサーバーの設定に基づいて表示する**」または「**Unizonデプロイツリーの設定に基づいて表示する**」のいずれかを選択してください。

◆ **会議室のグルーピング**:この機能を有効にすると、利用可能な会議室の一覧を配布グループまたはドメインの範囲内にある部屋だけに絞り込みます (VK430の「会議室サジェスト」をタップして表示)。

- **無効**:これはデフォルト設定です。
- **カレンダーサーバーの設定に基づいて表示する**:同じ配布グループにある利用可能な会議室を表示します。
- **Unizonデプロイツリーの設定に基づいて表示する**:最後の3番目のレベル内の利用可能な会議室を表示し、これらの会議室を最後の2番目のレベルの場所ごとにグループ化します。例えば、Unizonデプロイツリーを表した下図において、最後の階層は会議室、最後から2

番目はフロア、そして、最後から3番目は都市をそれぞれ表しています。台湾本社にあるVK430を操作して、利用可能な会議室を検索すると(会議室サジェスト機能を使用)、(最後から3番目の階層にある)台湾本社の会議室で利用可能なものが全てフロア別(最後から2番目の階層別)に一覧表示されます。また、フロアのドロップダウンリストで切り替えることもできます。



2. 「カレンダーサーバーの設定に基づいて表示する」を選択した場合は、Unizonで最後から2番目と3番目の階層に名前が設定されていることを確認してください。
3. 「カレンダーサーバーの設定に基づいて表示する」を選択した場合は、特に設定する必要はありません。

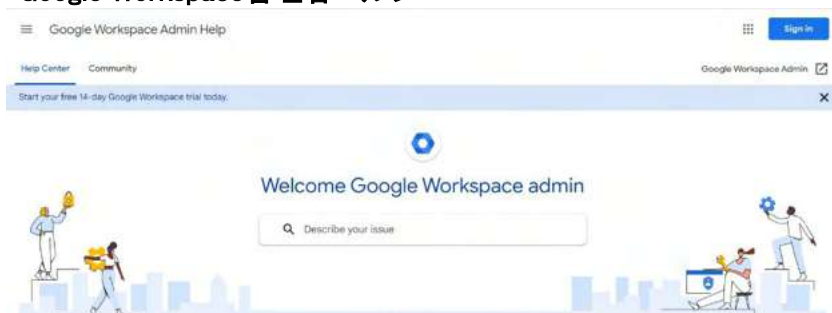
Google Workspace

このセクションでは、ATEN会議室予約システムを通じて施設を管理するために必要な、Google Workspaceの設定手順を説明します。

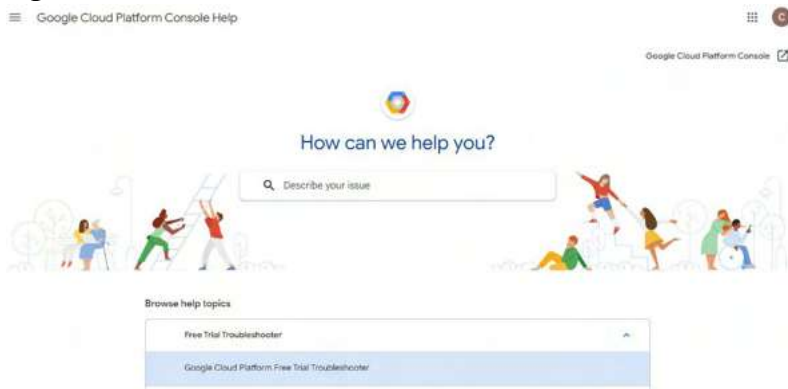
注意:

本セクションの情報および画面例は、Googleにより変更される場合があります。Google Workspaceに関する最新情報は、Google公式オンラインヘルプをご参照ください。

Google Workspace管理者ヘルプ



Google Cloud Platformヘルプ



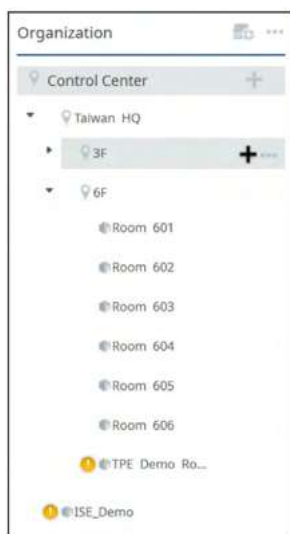
Google Workspace を使用した会議室管理設定

1. Google WorkspaceとCloud Consoleの設定は次の流れで進めます
 - a) Google管理コンソールで、ATEN会議室予約システムで管理する会議室や建物を登録します。(詳細は、p.111「会議室・建物・ユーザーの追加」を参照。)
 - b) Google Calendar APIおよび管理APIを有効にします。(詳細は、p.114「Googleカレンダーと管理者APIの有効化」を参照。)
 - c) サービスアカウントを作成します。(詳細は、p.117「サービスアカウントの作成」を参照。)
 - d) サードパーティー製アプリケーションからのアクセスを許可します(詳細は、p.118「サードパーティー製アプリケーションからのアクセス許可」を参照。)
2. RBSコンフィグレーターでプロジェクトの設定します
 - a) RBSコンフィグレーターで、「**カレンダー設定**」>「**カレンダー**」>「**Google Workspace**」に移動します。
 - b) 以下の項目を設定してください。
 - ◆ **ドメイン名**: 管理者アカウントのドメイン名を入力します。
 - ◆ **管理者アカウント**: Google Workspaceの管理者アカウント(メールアドレス)を入力します。
 - ◆ **プロジェクト名**: 前の手順で保存したプロジェクト名を入力します。
 - ◆ **サービスアカウント**: 前の手順で保存したプロジェクト名を入力します。
 - ◆ **会議室のグルーピング**: この機能を有効にすると、利用可能な会議室の一覧を配布グループまたはドメインの範囲内にある部屋だけに絞り込みます(VK430の「会議室サジェスト」をタップして表示)。
 - **無効**: これはデフォルトの設定です。
 - **カレンダーサーバーの設定に基づいて表示する**: 同じ配布グループ

プにある利用可能な会議室を表示します。

- **Unizonデプロイツリーの設定に基づいて表示する:** 最後から3番目の階層(例:建物)内における利用可能な部屋を表示し、最後から2番目の階層(例:フロア)からの場所ごとに、これらの部屋をグループ化します。

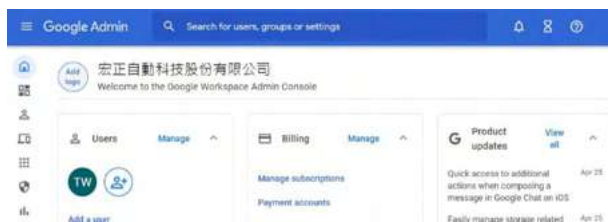
例えば、弊社製統合監視システム ATEN Unizonデプロイツリーを表した下図において、最後の階層は会議室、最後から2番目はフロア、そして、最後から3番目は都市をそれぞれ表しています。台湾本社にあるVK430を操作して、利用可能な会議室を検索すると(会議室サジェスト機能を使用)、(最後から3番目の階層にある)台湾本社の会議室で利用可能なものが全てフロア別(最後から2番目の階層別)に一覧表示されます。また、フロアのドロップダウンリストで切り替えることもできます。



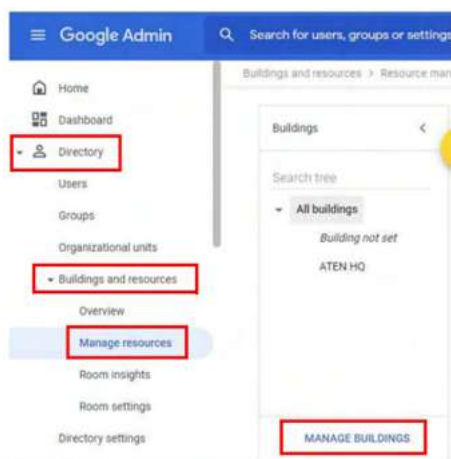
- ◆ **証明書ファイル:** サービスアカウント用に生成した証明書ファイルをアップロードします。
3. プロジェクトファイルをVK430にアップロードして、設定を適用してください。詳細については、p.144「VR610/VK430にプロファイルをアップロードするには」を参照してください。

会議室・建物・ユーザーの追加

1. 「admin.google.com」からGoogle管理コンソールにサインインします。



2. (オプション)Google Workspaceサービスを使用したり、その設定を行ったりするためにサインインする必要があるユーザーのアカウントを追加してください。
3. 建物を追加してください。
 - a) マウスを左側に移動させてツールバーを展開し、「ディレクトリー」>「建物とリソース」>「リソースの管理」>「建物の管理」に移動してください。



- b) 「+」をクリックして、建物を追加してください。

注意:

建物は、会議室サジェスト機能を使ってVK430における利用可能な会議室一覧を検索する際にフィルター条件として使用されるた

め、建物を作成しておくことが重要になります。

Buildings and resources > Resource management > Buildings -

Buildings				
+	Id	Name	Floors	Address
	AtenBuilding	AtenBuilding	1, 2, 3, 4, 5, 6	Address not set

c) ポップアップダイアログで、必要な情報を入力してください。

注意:

フロア名は、会議室サジェスト機能を使ってVK430Iにおける利用可能な会議室一覧を検索する際にフィルター条件として使用されるため、分かりやすい名前に設定してください。

Edit building

Id *
ATEN-HQ

Name *
ATEN HQ

Description

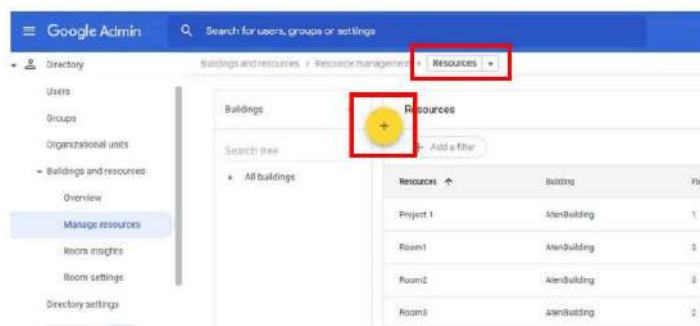
Floors *
3F, 4F, 5F, 6F

Address
No No, No. 125大同路二段警慧里, 汐止區, 新北市, 221, Taiwan

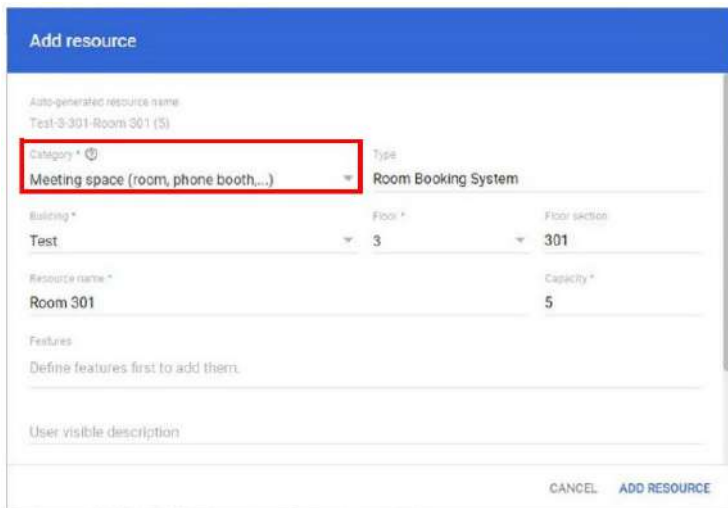
CANCEL UPDATE BUILDING

4. 会議室を追加してください。

- a) ドロップダウンリストから、「リソース」を選択し、「+」をクリックしてください。



- b) ポップアップダイアログウィンドウで、カテゴリーの項目に「会議スペース」を選択し、リソースに対して適切なフロアを選択してください。また、必要に応じて、他の項目にも入力してください。



- c) 「リソースの追加」をクリックしてください。そうすると、リソース一覧に追加された会議室が次のように表示されます。

Resources ↑	Building	Floor	Type
Project 1	AtenBuilding	1	-
Room 301	Test	3	Room Booking Systems
Room1	AtenBuilding	3	-
Room2	AtenBuilding	3	-
Room3	AtenBuilding	2	-
Room4	AtenBuilding	4	-

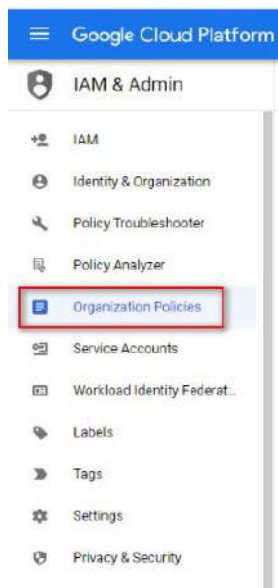
5. 追加した各会議スペースのリソースメールを保存してください。
 - a) リソース一覧に移動し、追加した会議スペースをクリックしてください。
 - b) リソースメールをコピーして、RBSコンフィグレーターで使用するメモ帳に貼り付けてください。

Googleカレンダーと管理者APIの有効化

1. 管理者の認証情報を使用してGoogle Cloudコンソールにサインインします。
2. 新規プロジェクトを作成します。
 - a) 既存のプロジェクトがある場合は、「次から選択」ドロップダウンリストをクリックし、組織を選択して「新規プロジェクト」をクリックします。



- b) プロジェクトが作成されていない場合は、「組織ポリシー」に移動し、「プロジェクトの追加」をクリックします。



c) プロジェクトの詳細を設定してください。


Project name *
CalendarTestv2 ?

Project ID: utopian-bonito-301402. After the project ID is set, it cannot be changed.

[EDIT](#)

mechanism *
gtest.aten.com.tw ▼ ?

Please select an organization to link to the project. Remind you that once the organization is selected, it cannot be changed.

position *
 gtest.aten.com.tw [BROWSE](#)

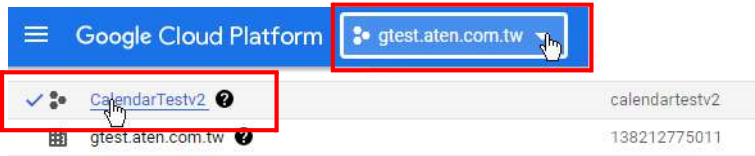
Parent organization or folder

[SFT UP](#) [CANCEL](#)

d) 後で、RBSコンフィグレーターで使用できるよう、プロジェクト名をコピーしてメモ帳などに貼り付けてください。

3. 必要なAPIを追加してください。

a) 組織とプロジェクトを選択してください。



- b) 「APIとサービス」 > 「APIとサービスの有効化」に移動してください。
- c) 「APIライブラリー」ウィンドウで、「Google Calendar API」を検索して有効にしてください。
- d) 「APIライブラリー」ウィンドウで、「Admin SDK API」を検索して有効にしてください。

サービスアカウントの作成

1. Google Cloudコンソールでサービスアカウントを作成してください。
 - a) IAMと管理一覧から、「サービスアカウント」>「+ サービスアカウントの作成」に移動してください。
 - b) サービスアカウントを設定してください。ロールには、「所有者」を選択してください。次に例を示します。

1 Service account details

Service account name
The display name of this service account

Service account ID X C

Service account description
Please describe the purpose of this service account

SET UP

2 Grant project access to this service account (Optional)

Grant the 'CalendarTestv2' access right to this service account so that the service account has the authority to perform specific actions on the resources in the project. [Learn more](#)

Please choose a role condition

Type to filter

Project	owner
Access Context Ma...	Viewer

owner
Full access to all resources.

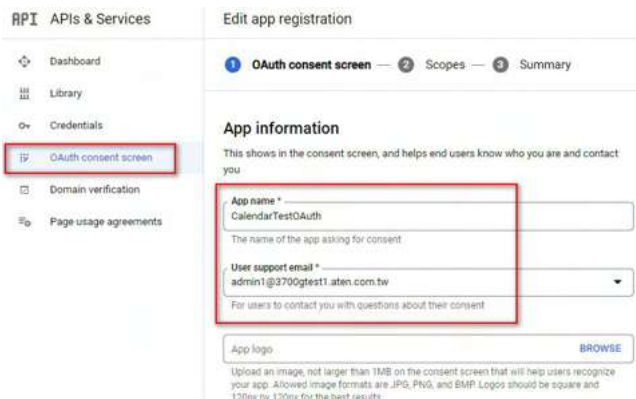
2. サービスアカウントに対して証明書キーを生成してください。
 - a) サービスアカウント一覧から、新しく作成したサービスアカウントの「設定」ボタン (⋮) をクリックし、「キーの管理」をクリックしてください。
 - b) 「キーの追加」ドロップダウンリストから、「新規キーの作成」を選択し

てください。

- c) ポップアップ画面で、キー形式として「JSON」を選択し、「作成」をクリックしてください。キーが作成されると、コンピューターに自動的にダウンロードされます。
- d) キーがコンピューターのどこに保存されているかを把握しておいてください。後でRBSコンフィグレーターにキーをアップロードする必要があります。

サードパーティー製アプリケーションからのアクセス許可

1. Google Workspace Marketplace OAuthクライアントを設定してください。
 - a) コンソールの左側のメニューを開き、「APIとサービス」>「OAuth同意画面」に移動してください。
 - b) ユーザータイプについては、「内部」を選択し、「作成」をクリックします。
 - c) OAuth同意を設定してください。



- d) サービスアカウント一覧から、「クライアントIDの表示」をクリックしてください。
- e) クライアントIDをコピーしてください。

Client ID	117149984845206498199
Service account	CalendarService calendar-service@calendar-testv2.iam.gserviceaccount.com
Creation date	January 12, 2021

2. サードパーティー製アプリケーションからのアクセスを有効にしてください。
 - a) 「admin.google.com」からGoogle管理コンソールにサインインしてください。
 - b) 「**セキュリティ**」>「**アクセスとデータ制御**」>「**API制御**」>「**サードパーティー製アプリケーションへのアクセス管理**」に移動してください。
 - c) 「**アプリの追加**」をクリックし、「**OAuthアプリ**」を選択してください。
 - d) サービスアカウントの設定時に取得したサービスアカウントのクライアントIDを検索してください。次に例を示します。



- e) ポップアップダイアログから「**信頼する**」を選択してください。
3. ドメイン全体の委任を有効にします。
 - a) 「**セキュリティ**」>「**アクセスとデータ制御**」>「**API制御**」>「**ドメイン全体の委任設定の管理**」に移動してください。
 - b) APIクライアントの場合は、「**新規追加**」をクリックしてください。
 - c) ポップアップ画面で、以下の項目を設定してください。
 - ◆ クライアントID: 手順8でコピーしたIDを貼り付けます。
 - ◆ スコープ: 次のURLを半角カンマで区切って入力します。
 - <https://www.googleapis.com/auth/calendar.events>
 - <https://www.googleapis.com/auth/calendar>
 - <https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user>
 - <https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.group>
 - <https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.resource.calendar>

パネルメッセージ

パネルメッセージの設定では、VK430がカレンダーサーバーに接続していないときに管理される切断メッセージと、VK430の設定画面に表示される連絡先情報を定義できます。

パネルメッセージ設定にアクセスするには、RBSコンフィグレーターで「カレンダー設定」>「パネルメッセージ」を選択してください。

切断メッセージ

以下の例のように、切断時のタイトルと表示メッセージを書きます。

The screenshot shows the 'Panel Management' configuration page. The left sidebar has 'Panel Message' selected. The main content area is titled 'Disconnection Message' and includes the following fields:

- Title:** Not connected to the calendar system.
- Content:** Please contact the administrator for assistance.
- Support Contact:** Add a support contact for the system administrator to be shown on the support center page.
- Content:** Please contact the administrator for assistance.

登録すると、カレンダーサーバーに接続されていないときに、メッセージがVK430に表示されます。



サポート連絡先

以下の例のように、VK430の設定画面に連絡先情報が表示できるので、この項目を記載します(緊急連絡またはサポート用)。

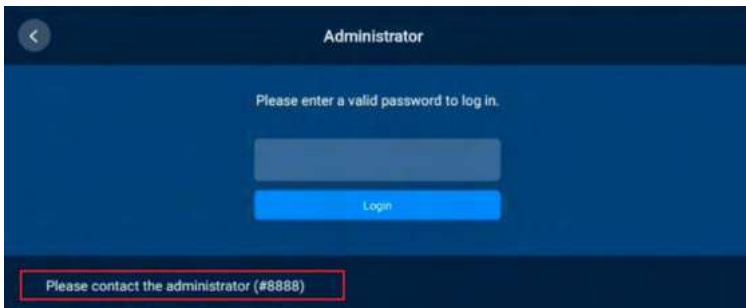
Support Contact

Add a support contact for the system administrator to be shown on the support center page.

Content

Please contact the administrator (#8888)

適用すると、連絡先情報がVK430の設定画面に表示されます。



第5章

VR610とVK430の操作

この章では、VK430やVR610で実行できる操作(会議室の予約やチェックインなど)について説明します。

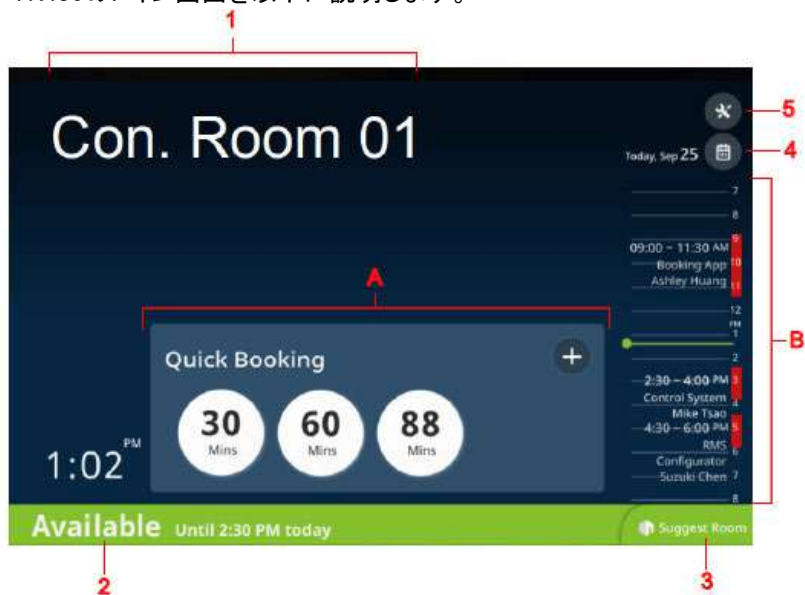
注意:

- 各端末を操作する前に、必要な設定とプロフィールがアップロードおよび設定が完了しているか確認してください。
 - 湿度が高く、寒暖差がある環境では、タッチパネル内部の曇りを引き起こす恐れがあります。その事象を防ぐため、タッチパネルの電源を入れて動作させたままにしておくことを推奨します。
-

VK430の操作


パネルのメイン画面

VK430のメイン画面を以下に説明します。



注意:

VK430のデザインをカスタマイズしたり、RBSコンフィグレーターを使用してロゴまたは背景画像を追加したりするには、p.44「GUIデザイン」を参照してください。

番号	項目	説明
A	クイック予約 / チェックイン	<p>会議室のステータス(使用可能、予約済み、または使用中)に合わせて、以下の機能が利用できます。</p> <hr/> <p>使用可能</p> <p><input type="checkbox"/> クイック予約: 次の使用時間設定を設定して、会議室をすぐに利用します:</p> <p><input type="checkbox"/> 30/60/90/X: 30/60/90/X分間の会議をすぐに開始します。「X」は、次のミーティングまたは業務時間の終わりまでに会議室が利用できる時間(分)を表します。</p> <p>注意: 1回の利用ごとに許可される最大時間は120分であるため、Xは最大で120分しか使用できません。</p> <p><input type="checkbox"/>  : タップすると会議のスケジュールを設定します。詳細については、p.127「会議室の予約」を参照してください。</p> <hr/> <p>予約済み</p> <p><input type="checkbox"/> チェックイン: 予約したユーザーは、タップして「使用中」に変えてください。タップしないまま一定時間が過ぎると、会議室を利用していないと判断されて自動でキャンセルされてしまいます。</p> <p><input type="checkbox"/> 解放: 予約をキャンセルします。他のユーザーが使用できるよう会議室を解放します。</p> <p><input type="checkbox"/> 会議情報: 右上の情報アイコンをタップすると会議の詳細を確認できます。また、「会議の削除」ボタンをタップするとシステムから会議記録を削除します。このボタンは、会議がパネルから予約された場合のみ表示されます。</p> <hr/> <p>使用中</p> <p><input type="checkbox"/> チェックアウト: 予定よりも早く会議室の利用が終わったらチェックアウトをタップしてください。システムが空き時間として利用できるようになります。</p> <p><input type="checkbox"/> 延長: 予定よりも後に予約が無い場合は、利用時間を延長できます。</p> <p><input type="checkbox"/> 会議情報: 右上の情報アイコンをタップすると会議の詳細を確認できます。また、「会議の削除」ボタンをタップするとシステムから会議記録を削除します。このボタンは、会議がパネルから予約された場合のみ表示されます。</p>
B	本日の会議スケジュール	その日に予定されているすべての会議を表示します。

番号	項目	説明
1	会議室表示名	会議室名を表示します。
2	会議室の状態	会議室の状態を表示します。 <input type="checkbox"/> 使用可能 : 会議室が使用可能であることを示します。 <input type="checkbox"/> 予約済み : 会議室が予約されているものの、まだチェックインされていないことを示します。 <input type="checkbox"/> 使用中 : 会議室が利用中であることを示します。
3	おすすめの会議室	空きがある会議室を提案します。詳細については、p.128「会議室サジェスト機能の使用」を参照してください。
4	その他の日付	会議室予約システム内でスケジュールされたすべての会議を表示します。p.125「会議スケジュールの表示」を参照してください。
5	設定	管理者設定にアクセスします。p.129「管理者設定」を参照してください。

会議スケジュールの表示

本日の会議スケジュール

ATEN VK430の日次スケジュールエリアをタップ&ドラッグするだけで、当日中の会議予定を確認できます。



本日以外の会議スケジュール/他の部屋での会議

他の日付または他の会議室のスケジュールを表示するには、カレンダーアイコン(📅)をタップします。以下のようなページが表示されます。




会議室や日付の項目をタップすると、それぞれの会議スケジュールの日程を表示します。

会議室を予約してスケジュールリングを行うには、**+**をタップしてください。詳細は、p.127「会議室の予約」を参照してください。

会議室の予約

カレンダーの使用

会議室を予約するには、VK430のメイン画面で📅をタップし、ポップアップ画面で+または+をタップします。そうすると、次のようなページが表示されます。



The screenshot shows a 'Room Booking' screen with the following elements:

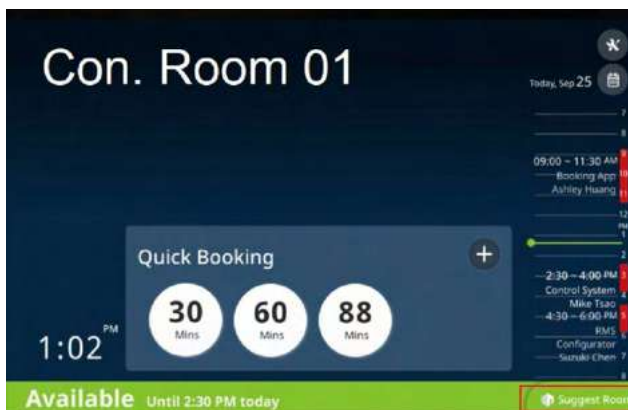
- Back arrow (top left)
- Time: 12:51 PM (top right)
- Title: Room Booking
- Room selection: 602 Meeting Room (with a 'Change Meeting' button)
- Start time: 2021/01/06 12:12
- End time: 2021/01/06 12:12
- Purpose: Panel-booked Meeting
- Message: Note
- Buttons: Cancel (white) and Book (blue)

1. 利用する会議室を選択します。
2. 開始と終了時刻を指定します。
3. 他の項目に必要事項を入力します。
4. 「予約」をタップして、操作を終了します。

会議室サジェスト機能の使用

会議室サジェスト機能は、すぐに部屋を使いたいユーザーに向けて、予定が入っていない時間帯や会議室をユーザーに提案します。

1. メイン画面の右下にある、「**会議室の候補**」をタップします。



2. 会議予定時間を選択します。



3. 予定で使用する時間に基づいて、以下のように利用できる会議室を表示します。



4. 会議室を選択すると予約が完了します。あとは時間になったら会議室にて端末からチェックインをしてください。

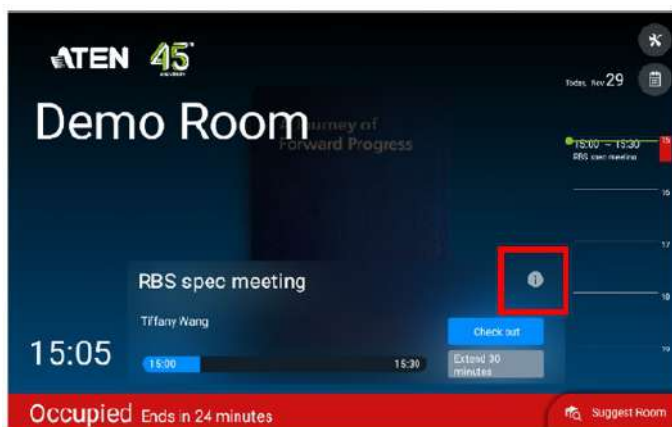
予約の取り消し

VK430から誤った会議室を予約してしまった場合にも、パネルからキャンセルできます。

1. スケジュールされた会議のリストから会議をタップします。




または、チェックインパネルから情報アイコンをタップします。



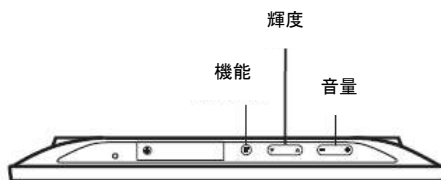
2. 「会議の削除」アイコンをタップし、「OK」をタップして予約をキャンセルします。

管理者設定

VK430の設定画面では、ネットワークとパスワードを設定できます。
アクセスするには、VK430のメイン画面からをタップし、パスワードを入力してください。


基本パネル設定へのアクセスの有効化/無効化

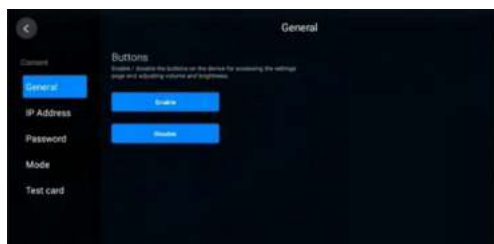
本体には輝度・音量・機能の変更ボタンがありますが、画面操作からボタン操作を無効にできます。



RBSパネル トップパネル

機能・輝度・音量の各ボタンを無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。


1. VK430でをタップします。
2. 有効な認証情報でログインします。そうすると、このような画面が表示されます。

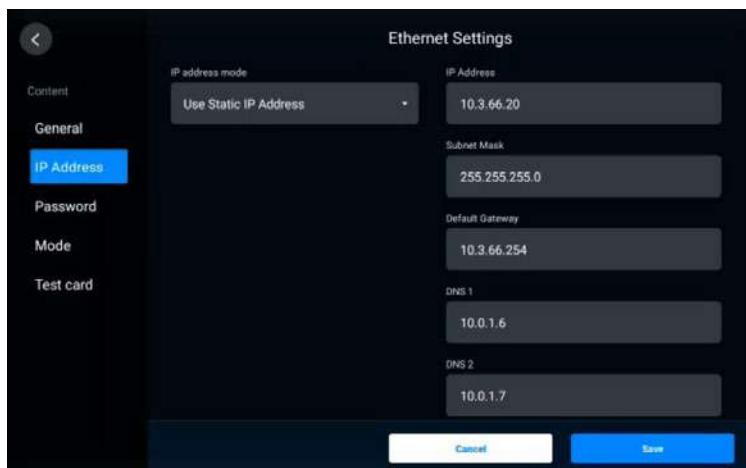


3. 「無効」をタップします。そうすると、確認メッセージが表示されます。
4. 「はい」をタップして設定を確定したら、デバイスを再起動します。

ネットワークの設定

VK430のIPアドレスをDHCPサーバー利用または固定IPアドレスに設定するには、以下の手順に従って設定にアクセスしてください。

1. VK430のメイン画面でをタップします。
2. パスワードを入力してログインします。
3. 左サイドバーから「IPアドレス」をタップします。イーサネット設定画面が表示されます。




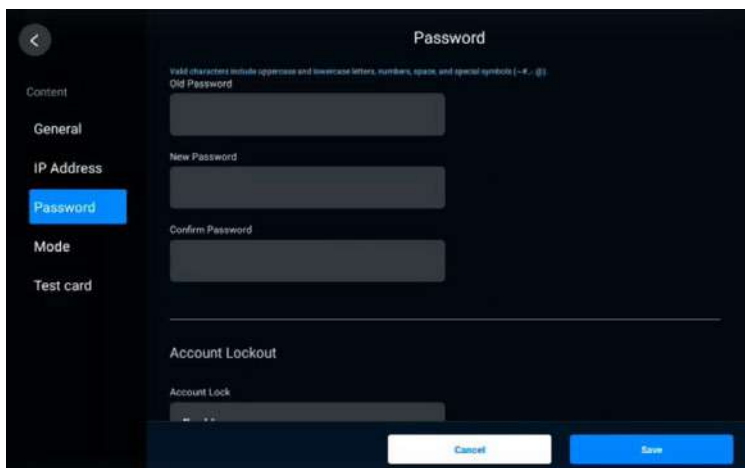
Field	Value
IP address mode	Use Static IP Address
IP Address	10.3.66.20
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	10.3.66.254
DNS 1	10.0.1.6
DNS 2	10.0.1.7

4. 必要に応じて設定を行います。
5. 「保存」をタップして設定を適用します。

パスワードの設定


パスワードを変更するには:

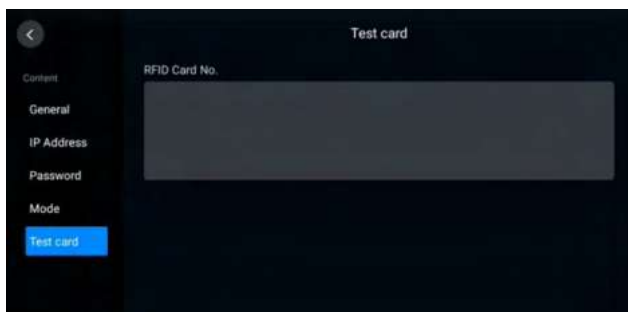
1. RSBパネルでをタップします。
2. パスワードを入力してログインします。この設定ページが表示されます。
3. 「パスワード」をタップして、パスワード設定にアクセスします。旧パスワードと新しく設定するパスワードをすべて正しく入力すると、変更が出来ます。



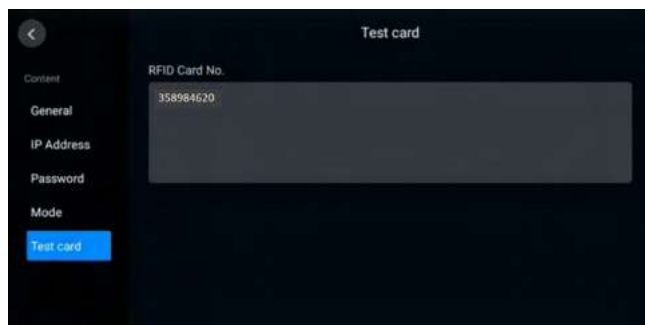
カード番号の取得

VK401でIDカードを確認したり、既存のカードがVK401で認識できるか確認したりするには、カードのテスト機能を使用します。

1. 少なくとも1台のVK430本体にVK401が取り付けられていることが必須です。VK401またはVK430単体ではカードデータの確認はできないのでご注意ください。詳細は、p.14「VK430にアクセス・インスペクターを取り付けるには」を参照してください。
2. VK430で  をタップし、管理者パスワードを入力してログインします。
3. 左パネルから「カードのテスト」をタップします。そうすると、このような画面が表示されます。




4. VK401でカードをスキャンします。一連の数字が表示された場合、そのカードはVK401で利用が可能です。



デモモードの有効化

デモモードは、カレンダーサーバーとつながなくても、VK430やVR610で操作感などを確認できるオフラインのモードです。予約はできないのでご注意ください。デモモードを有効にするには、次のいずれかの方法を使用します。

- パネル設定画面()からパスワードを入力し、「デモモード」>「デモモードの有効化」をタップしてください。
- VK430またはVR610に接続しているLANケーブルを外します。
 1. 設定後に本体を再起動すると、このような画面が表示されます。




2. 「デモモード」ボタンをタップし、「はい」をタップするとデモモードに入ります。有効にすると、下図のように赤いデモモードボタンが上部に表示されます。



デモモードの無効化

デモモードを無効にするには、次のいずれかの方法を使用します。

- パネルのメイン画面から、上部の「デモモード」ボタンをタップし、「はい」をタップしてアクションを確認してください。
- パネル設定画面からパスワードを入力し、「モード」>「デモモードの終了」をタップしてください。
- 設定が変更したら、カレンダーサーバーと接続してご利用ください

VR610ディスプレイの操作

コンポーネントの概要



VK430には、画面デザインによって以下のパーツが表示されます。

番号	コンポーネント	機能・操作
1	部屋の状態	<input type="checkbox"/> 各部屋の空き状態をリストまたはマップで表示します。 <input type="checkbox"/> 使用可能な部屋は緑色で示されます(デフォルト)。 <input type="checkbox"/> 予約済みの部屋にはオレンジ色、使用中の部屋には赤色のバーが、表示されます(デフォルトカラー)。
2	ページバー	複数ページがあることを示します。画面をスワイプすると、次ページに進みます。
3	表示モード切替	タップするとリストビューとマップビューが切り替わります。
4	お知らせ	社内または来訪者向けのメッセージを表示します。
5	QRコード	QRコードをスキャンすると詳細情報を取得できます。
6	ビデオ	埋め込みビデオを再生します。
7	ニュース	最新のニュースを表示します。ニュースを非表示にすることもできます。

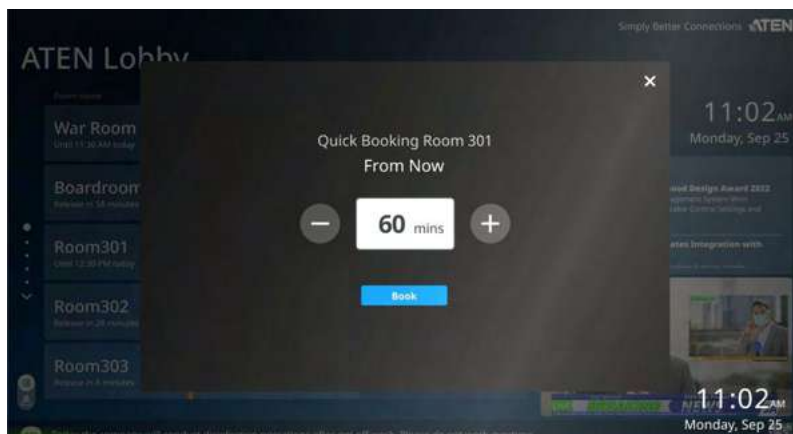
番号	コンポーネント	機能・操作
8	日付と時刻	現在の日付と時刻を示します。
9	会社のロゴ	会社のロゴを表示します。
10	スローガン	ブランドのスローガンを表示します。
11	施設	会場の利用可能な施設を示します。

VR610に接続しているディスプレイから会議室予約

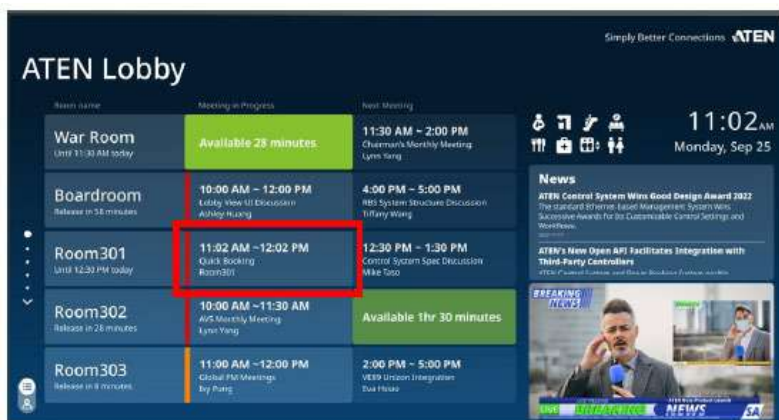
1. VK430で、必要な時間帯で利用可能な部屋を探します。例としてRoom301の「Available 88 minutes(88分間まで利用可能)」という緑ボタンをタップします。



2. タップすると、クイック予約ボックスが表示されます。



3. 利用時間を設定し、「予約」をタップします。そうすると、予約が完了し、ディスプレイに反映されます。



第6章 デバイス管理

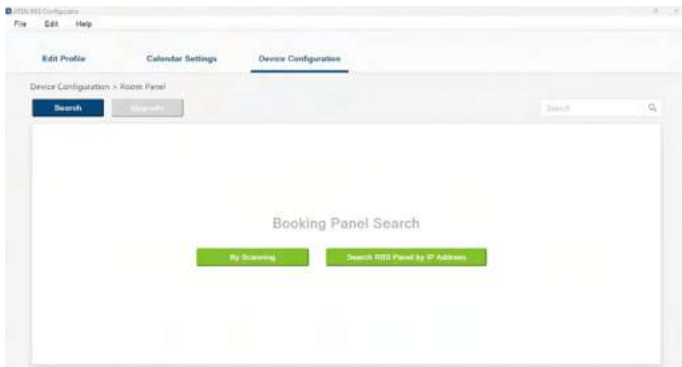
ATEN RBSコンフィグレーターの「デバイス設定」タブで、VK430やVR610のデータ更新や追加などができます。PCをVK430やVR610と同じネットワークに接続して操作します。

表示端末・VK430の管理(RBSコンフィグレーター経由)

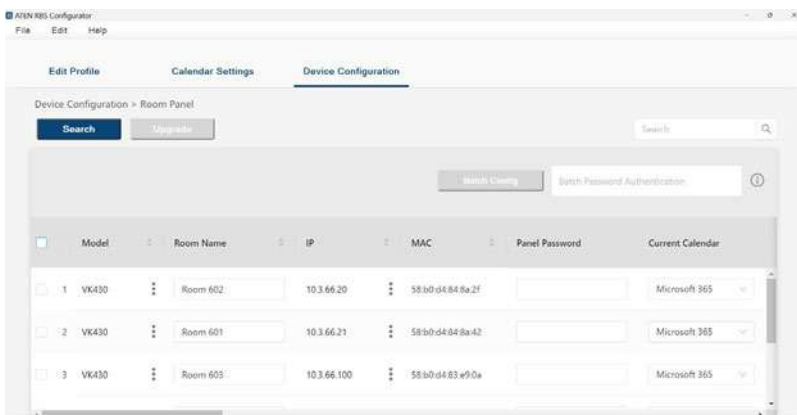
RBSコンフィグレーターでデバイスを読み込むには

メンテナンスなどで端末追加やデータを更新するには次の流れで操作します。

1. RBSコンフィグレーターで「デバイス設定」タブをクリックし、ポップアップメニューから「VR610」または「ルームパネル」を選択します。

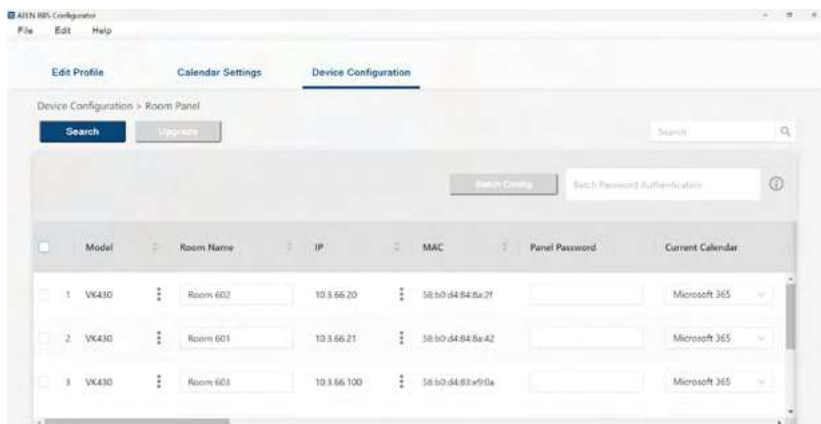


2. 次のいずれかの方法を使用して、対象デバイスを検索します。
 - **自動スキャン**:「スキャンで検索」ボタンをクリックすると、同一サブネット内のすべての予約端末を自動的に検索します。
 - **IPアドレスによる検索**:「IPアドレスでVK430を検索」IP範囲または特定のIPアドレスを入力してLAN内の予約端末を検索します。






デバイス設定オプション

デバイスが見つかるとリストに並び、設定オプションが表示されます。例として以下にVK430が検索結果に出てきたリストを示します。



項目	説明
型番	予約端末の型番を表示します。 <input type="checkbox"/> をクリックすると、デフォルト設定にリセットするメニューが選べます。

項目	説明
ロケーション名/会議室名	本体がどの会議室を管理しているかを表示します。
IPアドレス	<input type="checkbox"/> 端末のIPアドレスを表示します。 <input type="checkbox"/>  をクリックすると、ネットワーク設定を手動で変更できます。
MAC	各端末のMACアドレスを表示します。
パネルパスワード	端末の設定変更をする時の認証パスワードです。端末操作時にパスワードを求められたらこの文字列を入力してください(デフォルト:password)。
現在のカレンダー	端末のスケジュールを参照しているカレンダーサーバーを表示します。
会議室名	この列は液晶型端末のみに適用されます。命名方法を選択します。手動で指定するか、カレンダーサーバーから適用します。
カレンダーアカウント	<p>この列は液晶型端末にのみ適用されます。データを同期するカレンダーサーバーのアカウントを表示または設定します。</p> <p> をクリックするとサーバーアカウントを変更できます。</p> <p>注意: ATEN Unizonでリモート管理する場合はすべての液晶端末が、同じカレンダーサーバーのアカウントでデータを共有するよう設計・設定してください。</p>
カレンダー接続	この列は液晶型端末にのみ適用されます。登録中のカレンダーサーバーと接続がオンラインかどうかを表示します。
プロフィール	プロフィール(画面デザイン)をドロップダウンメニューで表示します。
本人確認	<p>この列は液晶型端末にのみ適用されます。</p> <p>会議室にチェックインするための本人確認方法を使用するか設定します。</p> <p><input type="checkbox"/> なし: 会議室へのチェックインに本人確認は必要ありません。</p> <p><input type="checkbox"/> PIN: チェックインにPINを使用します。</p> <p><input type="checkbox"/> スキャン: チェックインには有効なIDカードが必要です。(VK401増設必須)</p> <p><input type="checkbox"/> スキャン + PIN: チェックインにIDカードとPINの両方で認証します。</p>

項目	説明
サインオン確認	<input type="checkbox"/> この列は液晶型端末にのみ適用され、本人確認設定(上記参照)が有効な場合にのみ利用可能です。 <input type="checkbox"/> サインオン機能を無効・有効にします。サインオン確認とは、システムで生成する出席記録(メール)で、会議出席者に送信されます。サインオン確認には、出席者の名前、メールアドレス、チェックイン時間のリストが含まれています。
チェックインを許可する	<input type="checkbox"/> この列は液晶型端末にのみ適用され、本人確認が有効な場合にのみ利用可能です。 <input type="checkbox"/> 会議室のチェックインの権限を表示・設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 会議主催者:主催者だけが会議室にチェックインできます。 <input type="checkbox"/> 会議主催者と招待者:主催者と会議メンバーが会議室にチェックインできます。 <input type="checkbox"/> 会議室へ入室権限を持つ人:グループで権限を付与された人でかつ、ATEN Unizonを通じて予約した会議室であればチェックインする権限が与えられます。詳細については、ATEN Unizonユーザーマニュアルを参照してください。
音量	予約端末の音量を表示・調整します。
輝度	この列はVK430のみ、輝度を表示・調整します。
言語	予約端末の言語設定を表示・調整します。
タイムゾーン	予約端末のタイムゾーンを表示・調整します。
FW / APPバージョン	予約端末のファームウェアとRBSアプリのバージョンをそれぞれ表示します。
パスワードの変更	 をクリックすると予約端末のパスワードを変更します。
自動化	手動再起動の方法や、予約端末の再起動スケジュールを設定したりします。
最終更新	予約端末が最後に更新された時間を表示します。

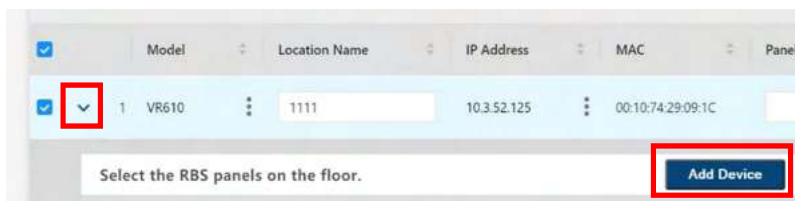
予約端末にVK430を追加するには

予約端末に部屋の予約情報を表示させるには、端末同士の同期設定が必要です。同期するには、デバイス設定リストから対象の端末を選び、対応する会議室を割り当ててください。

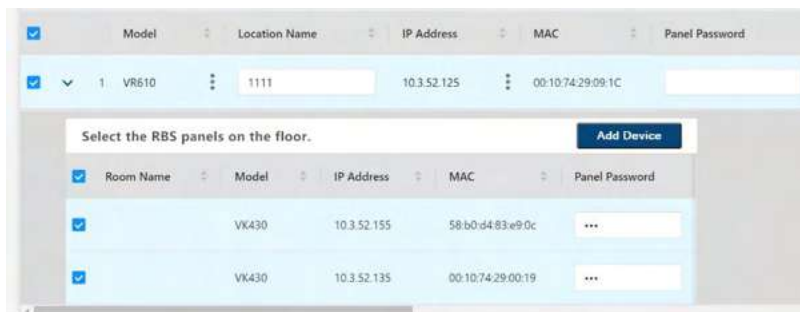
1. RBS設定で、「デバイス設定」>「VR610」に移動します。ターゲットのVR610デバイスが表示されない場合は、「検索」をクリックしてデバイスを追加します。
2. ターゲットの予約端末をクリックして選択します。



3. 矢印をクリックして、「デバイスの追加」ボタンをクリックします。



4. 画面の指示に従ってVK430を追加します。



5. 対象の予約端末にプロフィールをアップロードして、設定を有効にします。詳細については、p.144「予約端末にプロフィールをアップロードするには」を参照してください。

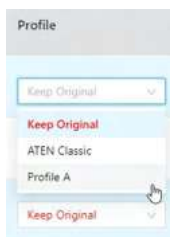
予約端末にプロフィールをアップロードするには

任意の予約端末に対して、以下の手順でプロフィールをアップロードできます。

1. RBSコンフィグレーターで対象の端末を検出します。手順の詳細については、p.139「RBSコンフィグレーターに対するデバイスの読み込み」を参照してください。
2. 対象の予約端末を、クリックして選択します。

	Model	Room Name	IP Address
<input checked="" type="checkbox"/>	1 VK430	601 Conference Room	10.3.66.21
<input type="checkbox"/>	2 VK430	602 Conference Room	10.3.66.20
<input checked="" type="checkbox"/>	3 VK430	605 Conference Room	10.3.66.18

3. 下図のように、「プロフィール」列のドロップダウンリストから目的のプロファイルを選択して、プロフィールをアップロードします。



注意:

「オリジナルを保持」は、VK430の現在のプロフィールを別のプロフィールに置き換えたくない場合にのみ選択してください。

4. 選択したVR610/VK430に適用する設定をすべて変更します。
5. 下図のように、選択したデバイスのアクセスキーまたはログインパスワードを「パスワード」/「パネルパスワード」列に入力します。

Panel Password

.....

.....|

注意:

予約端末を同じパスワードを統一したい場合は、共通パスワードを「パスワード一括認証」欄に入力すれば、同じパスワードを繰り返し設定しなくて済みます。

Search

Batch Password Authentix ⓘ

6. 「**アップロード**」をクリックします。

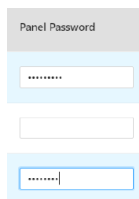
一括設定

一括設定機能を使用すると、同じプロファイルまたは設定を、複数の端末に対して一括でアップロードすることができます。

1. 一括設定の対象となるVR610/VK430を、クリックして選択します。

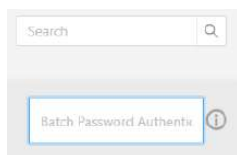
	Model	Room Name	IP Address
<input checked="" type="checkbox"/>	1 VK430	601 Conference Room	10.3.66.21
<input type="checkbox"/>	2 VK430	602 Conference Room	10.3.66.20
<input checked="" type="checkbox"/>	3 VK430	605 Conference Room	10.3.66.18

2. 下図のように、選択したVR610/VK430のアクセスキー/ログインパスワードを、「パネルパスワード」列に入力します。

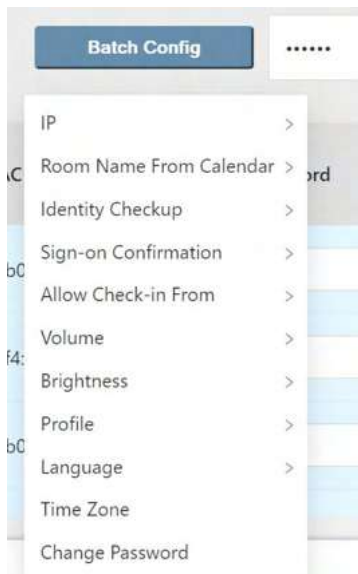


注意:

予約端末を同じパスワードで統一している場合は、共通パスワードを「パスワード一括認証」欄に入力すれば、パスワード入力を繰り返さなくて済みます。



3. 「一括設定」で予約端末に適用したいプロファイルを選択します。



注意:

使用可能なオプションはVK430とVR610で異なります。

4. 必要な設定変更がすべて完了したら、「**アップロード**」をクリックします。

VK430のファームウェアアップグレード

端末のファームウェアをアップグレードするには、以下の手順に従います。

注意:

端末に対してPoEで十分に給電されているか確認してください(DC12V, 17.8W, 60.70BTUまたはPoE 20W, 68.24BTU)。電源供給が不十分な場合、ファームウェアのアップグレードが失敗する場合があります。

1. VK430の製品ページからファームウェアパッケージをダウンロードします。
2. ダウンロードしたzipファイルを解凍します。
3. USBドライブまたはRBSコンフィグレーターを使用してアップグレードします。
 - **USBドライブを使用する場合**
 - (a) 解凍したパッケージ内の「SD_Upgrade」フォルダーにある「update.zip」ファイルを、USBドライブのルートディレクトリに保存します(例:E:/)。
 - (b) USBドライブをVK430のUSB Type-Aポートに挿入します。
 - (c) 機能ボタンを押して「設定」ページにアクセスします。
 - (d) 「システム」>「システム更新」をタップします。
 - (e) 画面の指示に従ってファームウェアをアップグレードします。
 - **RBSコンフィグレーターを使用する場合**
 - (a) RBSコンフィグレーターで、「デバイス設定」>「ルームパネル」に移動し、ファームウェアをアップグレードしたいVK430を選択します。

<input type="checkbox"/>	Model	Room Name	IP Address
<input checked="" type="checkbox"/>	1 VK430	601 Conference Room	10.3.66.21
<input type="checkbox"/>	2 VK430	602 Conference Room	10.3.66.20
<input checked="" type="checkbox"/>	3 VK430	605 Conference Room	10.3.66.18

(b) 下図のように、選択した端末のパスワードを入力します。

Panel Password

.....

.....

.....|

注意:

予約端末を同じパスワードで統一している場合は、共通パスワードを「パスワード一括認証」欄に入力すれば、パスワード入力を繰り返さなくて済みます。

Search 🔍

Batch Password Authent... ⓘ

-
- (c) 「アップグレード」をクリックし、「FWアップグレード」を選択して、
 (a) 解凍したパッケージ内の「SD_Upgrade」フォルダーにある「update.zip」を参照します。
 (d) 「アップグレード」をクリックして終了します。

VR610のファームウェアアップグレード(RBSコンフィグレーター経由)

1. VR610の製品ページからファームウェアパッケージをダウンロードします。
2. ダウンロードしたzipファイルを解凍します。
3. RBSコンフィグレーターで、「デバイス設定」>「VR610」に移動します。
4. アップグレードしたい端末を選択します。

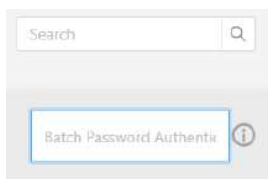


5. 下図のように、選択したVR610デバイスのログインパスワードを「パスワード」列に入力します。

Panel Password

注意:

予約端末を同じパスワードで統一している場合は、共通パスワードを「パスワード一括認証」欄に入力すれば、パスワード入力を繰り返さなくて済みます。



6. 「**アップグレード**」をクリックし、「FWアップグレード」を選択して、ファームウェアファイル「update.zip」を参照します。
7. 「**アップグレード**」をクリックします。

アプリのアップデート

VK430アプリをアップデートするには、以下の手順に従います。

注意:

端末に対してPoEで十分に給電されているか確認してください(DC12V,17.8W, 60.70BTUまたはPoE 20W, 68.24BTU)。電源供給が不十分な場合、ファームウェアのアップグレードが失敗する場合があります。

1. VK430の製品ページからRBSアプリパッケージをダウンロードします。
2. ダウンロードしたパッケージを解凍します。
3. RBSコンフィグレーターで、「**デバイス設定**」に移動し、更新したいVK430を選択します。

	Model	Room Name	IP Address
<input checked="" type="checkbox"/>	1 VK430	601 Conference Room	10.3.66.21
<input type="checkbox"/>	2 VK430	602 Conference Room	10.3.66.20

4. 下図のように、選択したVK430のパスワードを入力します。

A screenshot of a web form titled "Panel Password". It contains three input fields. The top field is highlighted with a light blue border and contains seven dots. The middle field is empty. The bottom field is also highlighted with a light blue border and contains seven dots.

注意:

予約端末を同じパスワードで統一している場合は、共通パスワードを「パスワード一括認証」欄に入力すれば、パスワード入力を繰り返さなくて済みます。


A screenshot of a search interface. At the top is a search bar with the text "Search" and a magnifying glass icon. Below it is a button labeled "Batch Password Authentication" with an information icon (i) to its right. The button is highlighted with a light blue border.

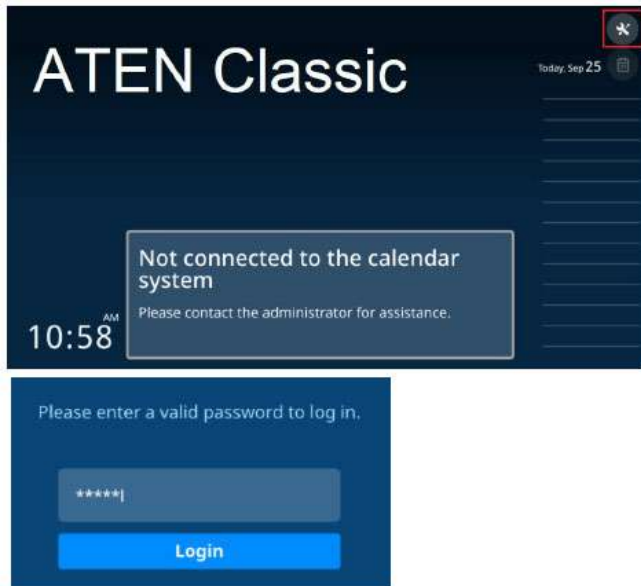
-
5. 「アップグレード」をクリックしたら、「**アプリのアップグレード**」を選択して、アプリファイル「RoomBookingSystem_V.x.x.xxx.apk」を参照します。
 6. 「**アップグレード**」をクリックします。

ログインパスワードの設定とパネルパスワードの管理

パネルログイン

操作を開始する前に、VK430が起動してネットワークに接続しているか確認してください。

1. メインページで、をタップします。そうすると、ログインページが表示されます。



2. パスワードを入力して「ログイン」をタップし、VK430にログインします。

注意:

初回ログインの際には、デフォルトのパスワードを使用してログインし、パスワードを変更する必要があります。

3. ログイン後に「パスワードの変更」をタップすると、画面の指示に従って


パネルのパスワードを変更できます。

4. 「保存」をタップして、操作を完了します。

パネルパスワードの変更

VK430のパスワードは、1台ごとまたは、一括変更ができます。

■1台のVK430のパスワードを変更するには

1. メインページで  をタップします。そうすると、「全般設定」画面が表示されます。
2. 左側の「パスワード」をタップしてパスワードを変更します。
3. 「保存」をクリックして、変更を適用します。

■パスワードを一括変更するには

操作の前に、変更したいVK430の電源が入っているか確認してください。同じネットワークに接続したATEN RBSコンフィグレーターから操作します。

1. RBSコンフィグレーターで、「デバイス設定」タブに移動し、次の2つの方法のいずれかでパスワードを変更するVK430を検索してください。
 - 自動スキャン**: 同一サブネット内にあるすべてのVK430を自動的に検索します。
 - IP**: IP範囲または特定のIPアドレスを入力して、LAN内のVK430を検索します。
2. パスワードを変更するVK430がリストに列挙されているか確認します。

<input type="checkbox"/>	Model	Room Name	IP Address
<input checked="" type="checkbox"/>	1 VK430	601 Conference Room	10.3.66.21
<input type="checkbox"/>	2 VK430	602 Conference Room	10.3.66.20
<input checked="" type="checkbox"/>	3 VK430	605 Conference Room	10.3.66.18

3. 下図のように、選択したVK430のログインパスワードを「パネルパスワード」列に入力します。

Panel Password

.....

.....|

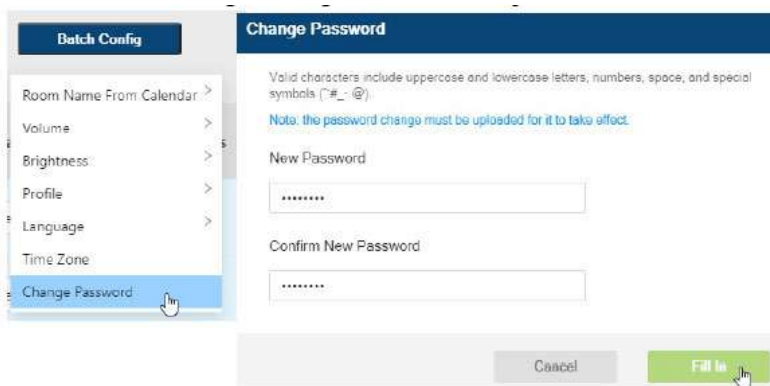
注意:

予約端末を同じパスワードで統一している場合は、共通パスワードを「パスワード一括認証」欄に入力すれば、パスワード入力を繰り返さなくて済みます。

Search

Batch Password Authentik ?

4. 「一括設定」>「パスワードの変更」をクリックしたら、パスワードを設定し、「入力」をクリックします。



「アップロード」をクリックすると、選択したVK430にパスワード変更を適用します。

VR610の管理(ウェブコンソール経由)

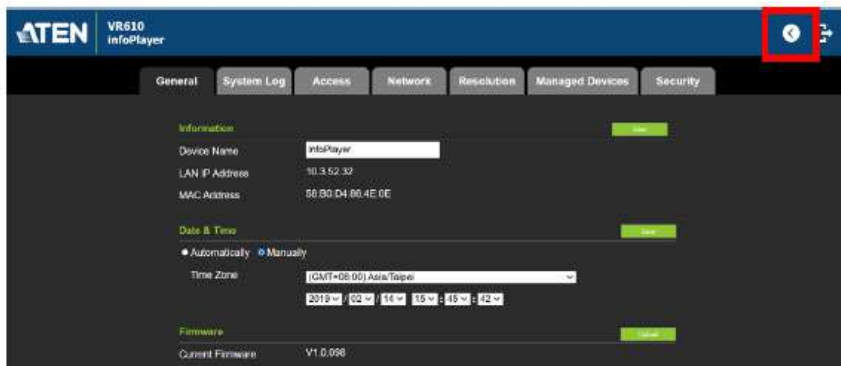
VR610はブラウザから設定できます。ネットワークやインターネット越しに、どこからでもアクセスできるため、システム管理者は簡単にログインできます。


VR610のブラウザ操作でできる操作は次のとおりです。

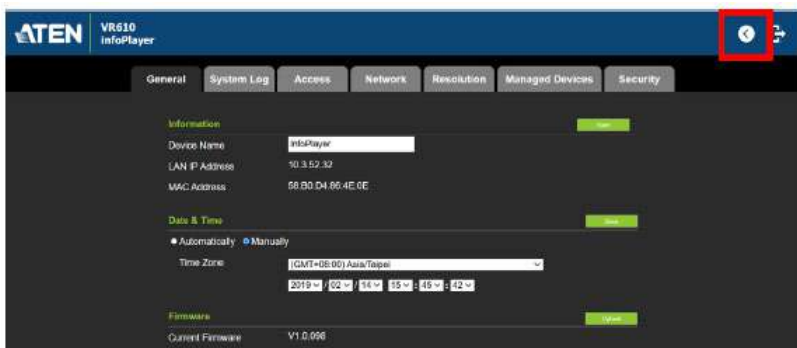
- 全般設定(デバイス名、時間、ネットワーク設定など)の変更
- デバイスファームウェアのアップグレード
- ログのエクスポート
- アクセスキー(パスワード)の変更
- 表示解像度の変更
- SSL証明書のアップロード


ウェブコンソールの概要

ブラウザからデバイスのIPアドレスを入力してアクセスします。そうすると、ダッシュボードが表示されます(下図参照)。



「設定」ページに移動するには、をクリックします。そうすると、「全般設定」画面が表示されます。



ツールバーで  をクリックすると、ダッシュボードに戻ります。


ダッシュボード

ダッシュボードを使用すると、次の情報を確認できます。

- デバイスのIPアドレスとMACアドレス
- ファームウェアバージョン
- 管理対象デバイスの接続状態

ダッシュボード:



ダッシュボードにアクセスするには、ウェブコンソールにログインします。そうすると、ダッシュボードがデフォルトで開きます。すでにログインしている場合は、ツールバーで  をクリックしてダッシュボードに戻ります。

全般設定

「全般設定」ページでは、デバイス名やシステム時刻の設定、またはシステムファームウェアのアップグレードができます。

General	System Log	Access	Network	Resolution	Managed Devices	Security
Information Save						
Device Name	InfoPlayer					
LAN IP Address	10.3.52.32					
MAC Address	58-B0:D4:86:4E:0E					
Date & Time Save						
● Automatically ● Manually						
Time Zone	(GMT+08:00) Asia/Taipei					
	2019	/	02	/	14	12 : 29 : 34
Firmware Upgrade						
Current Firmware	V1.0.098					

□ 情報

- **デバイス名:** デバイス名を入力して変更します。デフォルト名は「infoPlayer」です。
- **LAN IPアドレス:** デバイスのIPアドレスを示します。
- **MACアドレス:** デバイスのMACアドレスを示します。

□ 日付と時刻

- **自動:** デバイスが指定されたタイムゾーンとNTPサーバーの日付と時刻を自動的に同期するには、このオプションを選択します。
 - **タイムゾーン:** タイムゾーンを選択します。設置場所に最も近い都市を選択します。


NTPサーバー設定の構成方法

VR610の時計を自動同期させる方法としてNTPサーバーによる同期方法があります。インターネットにアクセスできる場合は、優先NTPサーバーと代替NTPサーバーを設定します。デバイスがクロズドのネットワークに配備されているかつ、ネットワーク内にNTPサーバーがある場合は、優先カスタムサーバーIPと代替カスタムサーバーIPを設定します。

- **優先NTPサーバー**:最初に時刻データを取得しに行くNTPサーバーを設定します。ネットワーク遅延を最小限に抑えるために、VR610が設置されている場所に近いNTPサーバー(日本国内のNTPサーバーなど)を使用してください。
- **代替NTPサーバー**:優先NTPサーバーからデータ取得ができない場合にアクセスを試みる代替サーバーを設定します。
- **優先顧客サーバーIP**:デバイスが閉域ネットワークにセットアップされている場合は、プライベートNTPサーバーを使用するために、このオプションを選択します。
- **代替顧客サーバーIP**:デバイスが優先サーバーに接続できない場合に代替サーバーを設定するには、このオプションを選択します。
- **時刻調整**:デバイスが割り当てられたNTPサーバーと時計を同期する間隔を設定します。
- **手動**:デバイスは選択されたタイムゾーンまたは指定された時間でシステムを同期します。
- **ファームウェア**
 - デバイスのファームウェアバージョンを示します。
 - ファームウェアバージョンを変更するには、別途ファームウェアファイルを準備の上、「アップロード」をクリックして画面の指示に従ってアップロードを完了します。

システムログのエクスポート

システムログをエクスポートするには：


1. ウェブコンソールのツールバーから、をクリックし、「設定」ページに移動します。
2. 「システムログ」をクリックします。そうすると、このページが表示されます。



3. 「エクスポート」をクリックします。そうすると、ログファイルが自動的にダウンロードされます。

アクセスキーとロックの設定

不正アクセスを防ぐために、初期パスワードからの変更、またはアカウントのロックアウト設定を行ってください。：


1. VR610のウェブコンソールで、次のいずれかの方法で、アクセス設定ページにアクセスします。
 - VR610のウェブコンソールで、「アクセス」タブをクリックします。
 - 「ダッシュボード」ページで  をクリックし、「アクセス」タブをクリックします。

そうすると、このページが表示されます。

2. アクセスキー(パスワード)を変更するには：
 - a) 現在のアクセスキーと新しいアクセスキーを入力します。
 - b) 新しいアクセスキーを確認します。
 - c) 「**保存**」をクリックして設定を適用します。新しいアクセスキーは次のログインから有効になります。
3. アカウントのロックアウトを設定するには：
 - a) 「**アクセスロック**」を有効にします。
 - b) 「**失敗したログイン試行回数**」と「**ロック時間**」を指定します。
 - c) 「**保存**」をクリックして設定を適用します。

デバイスのネットワーク設定

VR610はDHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する機能が初期設定で有効になっています。IPアドレスを手動で変更するには、以下の手順に従います。

1. ウェブコンソールのツールバーで  をクリックして、「設定」ページに移動します。
2. 「**ネットワーク**」タブをクリックします。そうすると、このページが表示されます。

The screenshot shows a network configuration window with tabs for General, System Log, Access, Network, Resolution, Managed Devices, and Security. The 'LAN' section is active, and the 'Get IP Address' dropdown is set to 'Use DHCP'. The following fields are filled with values:

Field	Value
Get IP Address	Use DHCP
IP Address	10.3.52.32
Subnet Mask	255.255.254.0
Default Gateway	10.3.53.254
Preferred DNS Server	10.0.1.7
Alternate DNS Server	10.0.1.6

3. 「IPアドレスの取得」ドロップダウンリストをクリックし、「手動(DHCPオフ)」を選択します。


The screenshot shows the same network configuration window, but the 'Get IP Address' dropdown is now set to 'Manually (DHCP off)'. The other fields remain the same as in the previous screenshot:

Field	Value
Get IP Address	Manually (DHCP off)
IP Address	10.3.52.32
Subnet Mask	255.255.254.0
Default Gateway	10.3.53.254
Preferred DNS Server	10.0.1.7
Alternate DNS Server	10.0.1.6

4. IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、および代替DNSサーバーを入力します。
5. 「保存」をクリックして設定を適用します。

ディスプレイの解像度と回転の設定

VR610に接続する液晶ディスプレイの解像度と向きを設定するには:

1. ウェブコンソールツールバーで  をクリックし、「設定」ページに移動します。
2. 「**解像度**」タブをクリックします。そうすると、このページが表示されます。



3. 必要に応じて以下の設定を行います。

◆ モード

- **EDID**: VR610に接続したディスプレイの推奨解像度を自動的に検出して表示を試みるには、このオプションを選択します。
- **定義済み**: 特定の解像度で映像出力させるには、このオプションを選択します。

- ◆ **現在の解像度**: 接続している液晶ディスプレイにて表示している解像度を示します。ディスプレイの主電源がOFFだったり、HDMIケーブルの接続が外れている場合は「0x0」と表示されます。
- ◆ **画面の回転**: 時計回りの方向でのディスプレイの回転角度を変更します。

VK430の接続状態の表示


VR610のウェブコンソールからVK430の接続状態を確認するには、「**ダッシュボード**」または「**管理デバイス**」タブに移動します。

□ ダッシュボード



The screenshot shows the 'VR610 Information' dashboard. It is divided into two main sections: 'General' and 'Managed Devices'. The 'General' section lists: LAN IP Address (10.3.52.125), MAC Address (00:10:74:29:09:1C), Date & Time (2025/01/22 13:28:47), and FW Version (V1.0.098). The 'Managed Devices' section shows: Online (1), Offline (1), and Total (2).

General		Managed Devices	
LAN IP Address	10.3.52.125	Online	1
MAC Address	00:10:74:29:09:1C	Offline	1
Date & Time	2025/01/22 13:28:47	Total	2
FW Version	V1.0.098		

- 「管理デバイス」タブ:ウェブコンソールのツールバーで  をクリックして設定ページに移動し、「管理デバイス」タブをクリックします。




The screenshot shows the 'Managed Devices' tab in the web console. It features a navigation bar with tabs: General, System Log, Access, Network, Resolution, Managed Devices (selected), and Security. Below the navigation bar is a section titled 'Connection Room Panel' containing a table with the following data:

Room Name	IP Address	Status
#1 测试	10.3.52.155	Online
#2 10.3.52.135	10.3.52.135	Offline

SSLの有効化

別途、SSL証明書を用意し、SSL設定を有効にするとコンピューターとVR610のウェブインターフェース間のブラウジングセッションを保護ができます。VR610でSSL暗号化を有効にするには、信頼できる認証機関からSSL証明書を購入して取得し、VR610に証明書をアップロードします。

SSL証明書をアップロードするには:

1. ウェブコンソールのツールバーで  をクリックして、「設定」ページに移動します。
2. 「セキュリティ」タブをクリックします。そうすると、このページが表示されます。



3. 「アップロード」をクリックして証明書を適用します。

安全にお使いいただくために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ また、弊社ウェブサイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面（台車、簡易的なスタンドやテーブルなど）を避けるようにしてください。装置が落下すると、深刻な損傷が生じます。
- ◆ 注意：不適切なタイプのバッテリーに交換した場合、爆発する危険性があります。使用済みのバッテリーは、必ず適切な指示に従って廃棄してください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しない

てください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。

- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、全ての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロットなどに押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。全ての保守については、適格な保守担当者に問い合わせてください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - ◆ 電源コードが破損した。
 - ◆ 装置の上に液体をこぼした。
 - ◆ 装置が雨や水にぬれた。
 - ◆ 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - ◆ 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - ◆ 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。他のコントロールの不適切な調整は、修理する資格のある技術者による広範な作業を必要とする損傷をもたらす可能性があります。

- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源装置の制限を把握し、これを超えないようにしてください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。

仕様

VK401

動作周波数	13.56MHz
インターフェース	
コネクタタイプ	ポゴピン
通信規格	ISO 14443A/B ISO 15693 Mifare FeliCa(カードUID)
検知距離	最大30mm(タグタイプによる)
動作環境	
動作温度	0~40°C
ケース	
ケース材料	プラスチック
重量	36g
サイズ(W×D×H)	56×70×23.3 mm

VK430

プロセッサ	クアッドコア
メモリー	
SDRAM	2GB
Flash	16GB
パネル仕様	
ディスプレイタイプ	TFT-LCD
サイズ	10.1インチ
タッチパネル	静電容量方式
解像度	1280×800
アスペクト比	16:10
色深度	8ビット
コントラスト比	800:1
バックライト	LED
視野角	± 85°（水平）、±85°（垂直）
輝度	500cd/m ²
インターフェース	
イーサネット	RJ-45 メス×1、10/100/1000 BaseT
USB	USB Type-A×1
電源入力	
PoE	802.3(PoE+の場合)
消費電力	DC12V:17.8W:60.70BTU POE:20W:68.24BTU
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-10～55℃
湿度	10～80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	プラスチック
重量	0.68 kg (1.5 lb)
サイズ(W×D×H)	263×177.8×24.5mm

注意:

ATEN 会議室予約システムを実行するのにライセンスは必要ありません。ただし、カレンダーサービスによっては、アカウントに対して追加料金が発生する場合があります。

VR610

プロセッサ	デュアルCPU
メモリー	
SDRAM	4GB
フラッシュ	16GB
インターフェース	
ビデオ入力	Mini HDMI メス × 1 (最大1080p@60Hz)
ビデオ出力	HDMI メス × 1 (最大4K@60Hz)
センサー入力	ステレオミニジャック × 1 (近接センサー用)
イーサネット	RJ-45 メス × 1 (10 / 100 / 1000 BaseT)
USB	USB 3.0: USB Type-A メス × 1 (青色) USB 2.0: USB Type-A メス × 1 USB-C: USB-C メス × 1
電源仕様	
Power over Ethernet (PoE)	802.3(PoE+の場合)
消費電力	DC12V:18.04W:61.5BTU/h POE:20.3W:69.27BTU/h 注意: ● ワット単位の測定値は、外部負荷がない場合の装置の標準的な消費電力を示します。 ● BTU/h単位の測定値は、デバイスに完全に負荷がかかった状態の消費電力を示します。
動作環境	
動作温度	0~40°C
保管温度	-20~60°C
湿度	10~85% RH、結露なきこと

本体		
ケース材料	メタル	
重量	0.50kg	
フェイスプレート サイズ (W×D×H)	153.1 × 133.4 × 30.6mm	
注意	一部のラックマウント製品では、標準の物理的寸法であるW×D×HがL×W×Hの表記になっていることにご注意ください。	
対応入力解像度	640 × 480 @ 60/67/72/75Hz	1080p 60Hz
	720 × 400 @ 70Hz	480p 60Hz (4:3) / (16:9)
	800 × 600 @ 56/60/72/75Hz	720p 60Hz
	1024 × 768 @ 60/70/75Hz	1080i 60Hz
	1280 × 800 @ 60Hz	640x480 @ 60Hz (4:3)
	1280 × 1024 @ 60/75Hz	576p 50Hz (4:3)/(16:9)
	1400 × 1050 @ 60Hz	720p 50Hz
	1440 × 900 @ 60Hz	1080i 50Hz
	1600 × 1200 @ 60Hz	1080p 24/25/30/50Hz
	1680 × 1050 @ 60Hz	3840 × 2160p 24/25/30/50/60Hz
	1920 × 1080 @ 60/120/240Hz	1920 × 1080 @ 144Hz
	1920 × 1200 @ 60Hz/60 Hz (Reduced Blanking)	2560 × 1440 @ 144Hz